



光り輝く 未来のために ～よりよい教育環境を目指して～

君津市学校再編基本計画（最終案）



平成28年3月
君津市教育委員会

はじめに

我が国の教育には、先人の方々が築き上げた長い歴史があります。

江戸時代、小規模な寺子屋や藩校から始まり、明治初期に「学制」が定められたことで、学校制度が小学・中学・大学の三段階となり、「小学校令」において、小学校が義務化されました。

明治後期から大正になると、尋常小学校が6年間の義務化、高等学校・専門学校・師範学校等の設置による小学校卒業後の選択肢の拡大と、現在の近代的な学校制度へと変遷し始めました。

その後、昭和に入り、第2次世界大戦の終戦を機に、日本国憲法の公布とともに、現在の教育の原点である「教育基本法」「学校教育法」が制定され、「6－3－3－4制」をはじめとする教育制度へと大きく変容していきました。

戦後70年を過ぎた日本は、その時々々の情勢により、時代に合った教育改革を適宜行い、社会の形成者としての人づくりを担う学校は、このような歴史を歩んできたわけです。

また、戦後の高度成長に伴い、人口急増による学校の大規模化が始まり、学校の新設・分離が進みました。本市でも、昭和46年の市制施行時には小学校18校、中学校9校だったものが、南子安小、北子安小、周西南中、八重原中、外箕輪小という5校の新設・開校を経て、学校数が増加しました。

しかし、時々々の流れとともに産業構造の変化や中山間部における過疎化に伴う人口減少、少子化の影響を受け、昭和63年に香木原小、平成11年に鹿野山小、平成14年に福野小、そして、平成23年には蔵玉小が長い歴史に幕を下ろし、現在は小学校17校、中学校11校の計28校となりました。

このように、これまでも地域住民の熱い要望や大局的な理解のもとで、本市においても、その時々々に合った学校の新設や統合など、必要な学校再編が行われてきました。

さて、学校や子どもたちを取り巻く教育環境が複雑化・多様化している昨今、いじめや不登校、子どもの貧困問題等、教育課題が山積している状況です。

その変化の激しい社会の中で、子どもたち一人ひとりが困難な状況を乗り越え、

主体的・創造的に自らの人生を切り拓きながら、力強く生きていくための、生涯にわたり学び続ける力となる「確かな学力」を身に付けることが、学校教育に求められています。この「確かな学力」を身に付けるためには、育成すべき資質・能力に応じて目標や内容を見直すことや、課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習「アクティブ・ラーニング」の充実を目指すこと、グローバル社会で求められる力の育成としての小学校からの国際理解教育のあり方など、さらに模索していく必要があります。

一方、いじめ、不登校等の問題行動が、日々メディアで取り扱われ、道徳教育・人権教育のより一層の推進が、学校教育に強く求められています。各学校では、いじめ防止対策推進法を基にした「学校いじめ防止基本方針」を策定しており、組織の構築によるいじめ根絶に努めていくとともに、互いを正しく理解し、支え合い、「思いやりの心」を育む活動を積極的に推進することも求められています。これは、インクルーシブ教育システムにも通じています。

さらに、不登校の要因ともいわれる幼稚園・保育園から小学校へ進学する際の「小1プロブレム」や、中学校へ進学するにあたっての「中1ギャップ」は、義務教育での大きな課題といえます。

学校と地域の絆づくり・活力あるコミュニティの形成として、放課後児童クラブ（福祉）・放課後子ども教室（教育）の一体型を中心とする取組み「放課後子ども総合プラン」の整備も求められるなど、子どもたちの豊かな成長のためには、家庭・地域・学校・行政が連携・協働し、地域総がかりでの教育の実現が不可欠です。

また、喫緊の課題としては、急速な少子化に伴う児童生徒数の減少と、学校の小規模化が確実に進行していることが挙げられます。国においても、学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方を示し、市町村に対して、それぞれの地域の実情に応じた最適な学校教育のあり方や学校規模を主体的に検討することを提唱しています。学校の小規模化は、児童生徒一人ひとりへのきめ細かな対応など一定の利点がある一方、部活動や学級編制、学校行事等の集団生活の中で社会性を育むという面で、学校教育活動に影響を及ぼしています。

本来、小・中学校の目的は、児童生徒の能力を伸ばしつつ、社会的自立の基礎、国家・社会の形成者としての基本的な資質を養うことです。そのためには、知識や技能の習得だけでなく、集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することにより、思考力・判断力・表現力・問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが大切です。そのような目的の実現のためには、一定の規模の児童生徒数が確保されていることや、バランスのとれた教職員集団の配置など、適正な学校規模を確保することが重要であり、今まさに、保護者や地域の方々とともに、本市における教育改革として、学校再編を進めていくときであると考えます。

教育委員会では、学識経験者等の外部委員により組織した学校再編有識者会議や、地区説明会・アンケート等でいただいたご意見を踏まえて、学校再編基本方針及び学校再編基本計画（マスタープラン）を策定しました。

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」によると、本市においても、今後10年間を見るだけでも児童生徒数の大幅な減少が見込まれています。このことから、学校の適正規模・適正配置、学校の統合、小中一貫教育やコミュニティ・スクールの導入、通学区域の見直し、時代の変化や地域の特性を見据えた新しいタイプの学校づくりを視野に入れた「活力ある魅力的な学校づくり」のために、学校再編を推進し、子どもたちにとって、よりよい教育環境づくりに努めてまいります。

平成28年 3月
君津市教育委員会

目 次

I 計画策定に当たって

1	計画の趣旨	1
2	計画の目標年次	1
3	計画の性格	1

II 学校再編の基本的な考え方

1	学校再編の基本コンセプト	2
2	活力ある魅力的な学校づくり	2
3	学校の適正規模・適正配置	3
(1)	君津市の児童生徒数の現状	3
(2)	今後の学校別児童生徒数の状況	7
(3)	君津市の幼稚園の現状	9
(4)	君津市の学校規模の現状と今後の予測	10
(5)	学校の小規模化のメリット・デメリット	12
(6)	適正規模のあり方について	14
(7)	適正配置のあり方について	16
(8)	通学区域の見直し	16
(9)	通学手段の検討	16
(10)	周西幼稚園の今後と幼児教育・保育について	16
4	今後の進め方	17

III 活力ある魅力的な学校づくりの推進

1	適正規模・適正配置	18
2	通学区域の見直し	19
3	小中一貫教育	20
4	コミュニティ・スクール	23
5	国際理解教育	26
6	インクルーシブ教育システム	29
7	キャリア教育	32
8	スポーツ教育	35
9	周西幼稚園の今後（幼児教育・保育のあり方）	37

IV 資料編

1	君津市学校再編基本計画策定までの経過と市民参加の状況	40
2	君津市学校再編有識者会議設置要綱	42
3	君津市学校再編有識者会議委員名簿	44
4	君津市学校再編有識者会議委員意見概要	45
5	君津市小・中学校の適正規模等に関する意識調査概要	50
6	君津市立小・中学校児童生徒数と学校数の推移	54
7	各学校個票	57
8	君津市内中学校部活動数	86
9	君津市教科担任講師配置及び免許外申請にて対応している学校一覧	87
10	君津市小学校区	89
11	君津地区小学校区	90

I 計画策定に当たって

1 計画の趣旨

君津市では、【まちづくりは人づくり】を基本理念とし、「君津市総合計画」に「豊かな学びと文化が人を育むまち」を目指す指標として位置づけています。これを受け、教育委員会では、平成25年3月に教育振興基本計画『第二次きみつ教育 創・奏5か年プラン』を策定し、「未来を創造し、希望を持ち、着実に前進できる君津っ子の育成」に向け、家庭・地域・学校・行政の連携と協働のもと、教育施策を推進しています。

そのような中、本市の人口減少に伴う児童生徒数及び学級数の減少により、多くの学校が小規模校となってきたことから、平成27年11月には、市長が主宰する「総合教育会議」の中で策定した「教育大綱」の基本目標に、「子どもたちのために、よりよい学校をつくります。」を掲げ、「活力ある魅力的な学校づくり」を目指すことを明記し、小・中学校の適正規模・適正配置を見直すこととしたところです。

本計画の策定に当たっては、学識経験者等の外部委員により組織した学校再編有識者会議、地区説明会などにおける学校・地域関係者等の貴重なご意見を参考に、今後、長期的かつ幅広い視点に立った「活力ある魅力的な学校づくり」を目指すこととしました。

2 計画の目標年次

本計画は、平成28年度を初年度として、10年後の平成37年度までを目標年次とします。

3 計画の性格

本計画は、今後10年間の学校再編に関する基本的な考え方を示すものであり、実施に当たっては、引き続き、保護者や地域の方々からのご意見をいただきながら、まず、平成28年度からの取組みを具体的に示した「第1次実施プログラム(※1)」を作成し、このプログラムに基づき、学校再編を推進していきます。第2次実施プログラム以降についても、学校・地域関係者等の理解が進んだものから、順次作成していきます。なお、社会の変化や教育を取り巻く状況の変化が著しいことを踏まえ、時々の実情等を勘案しながら、必要な見直しも行っていきます。

(※1) 実施プログラム

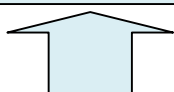
学校の統合や小中一貫教育などの具体的な再編メニューの**対象校**、**実施時期**等を示した実施計画です。

Ⅱ 学校再編の基本的な考え方

1 学校再編の基本コンセプト

学校再編を進める上では、児童生徒の教育環境の改善を中心に捉えますが、「地域とともにある学校づくり」の視点も踏まえて、基本コンセプトを次のとおり定めます。

**「子どもたちにとってよりよい教育環境」を目指し、
学校の活性化を推進する**



1 活力ある魅力的な学校づくり

2 学校の適正規模・適正配置

3 時代に合った新しいタイプの学校

2 活力ある魅力的な学校づくり

活力ある魅力的な学校づくりを推進するためには、子どもたちが集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばすことができる学校の適正規模・適正配置が必要です。

また、教育環境が複雑化・多様化し、様々な教育課題が山積している中、小中一貫教育や特色ある学校づくり等、時代に合った新しいタイプの学校づくりが求められています。

さらには、家庭・地域・学校・行政が連携・協働し、地域総がかりでの教育の実現のために、地域が積極的に学校運営に関わるコミュニティ・スクールの導入や、幼稚園・保育園、高等学校や特別支援学校とより一層連携して、地域と目標を共有し、一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」を目指します。

なお、特色ある学校づくりと並行して、「人づくり」の根幹とも言える道徳教育については、全小・中学校において、より一層推進していきます。

3 学校の適正規模・適正配置

(1) 君津市の児童生徒数の現状

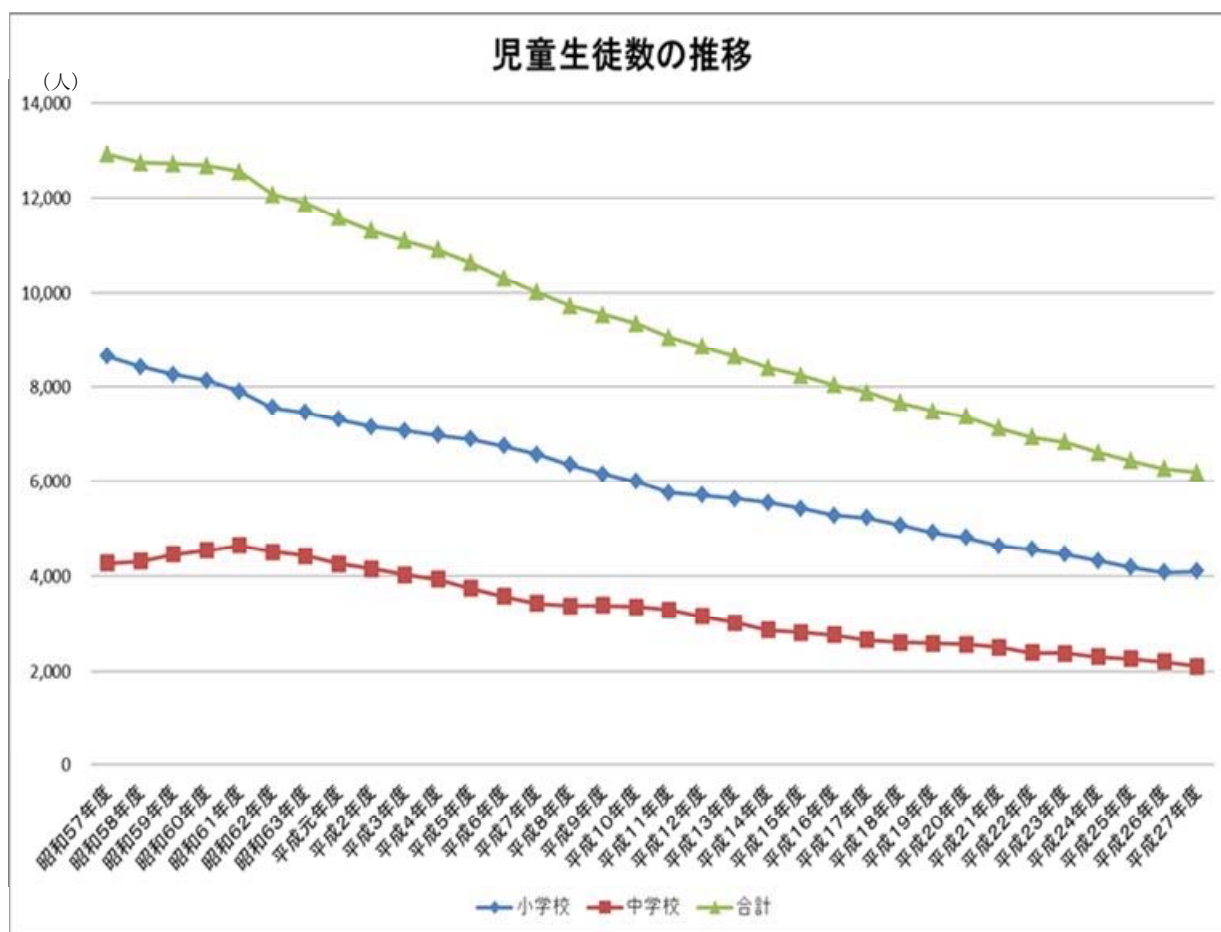
① 児童生徒数の推移

本市の人口は、昭和40年代に急激な増加を見た後、緩やかな増加を続けていましたが、平成7年をピークにその後は減少に転じています。人口構成では、15歳未満の年少人口だけでなく、15歳から65歳までの生産年齢人口も減少していますが、その一方で65歳以上の高齢者人口は増加しています。

本市の小・中学校の児童生徒数は、図1のとおり、昭和57年度の12,906人（小学校8,645人、中学校4,261人）をピークに、徐々に減少し、平成8年度には9,727人（小学校6,350人、中学校3,377人）と1万人を割っています。

平成27年度は、6,192人（小学校4,094人、中学校2,098人）で、昭和57年度と比較すると6,714人、52.0%の減少となっています。

図1（本市の児童生徒数の推移）



② 学校数と児童生徒数の比較

学校数については、市制施行の昭和46年度には、小学校18校、中学校9校でしたが、その後、新たに小学校が3校、中学校が2校開校するとともに、4校の小学校が統合され、平成27年度では、小学校が17校、中学校が11校となっています。

児童生徒数は、ピーク時と比較し、小学校、中学校ともに50%以上の減少となっていますが、学校数については、ピーク時と比較して小学校が3校、15%の減少となっています。中学校については、変化がありません。

<学校数>

区 分	ピーク時 (A)	平成27年度 (B)	減少数 (C=B-A)	減少率 (D=C/A)
小学校	20校(S58年)	17校	▲3校	▲15.0%
中学校	11校(S62年)	11校	0校	0.0%
小・中合計	31校(S62年)	28校	▲3校	▲9.7%

<児童生徒数>

区 分	ピーク時 (A)	平成27年度 (B)	減少人数 (C=B-A)	減少率 (D=C/A)
小学校	8,751人(S56年)	4,094人	▲4,657人	▲53.2%
中学校	4,534人(S62年)	2,098人	▲2,436人	▲53.7%
小・中合計	12,906人(S57年)	6,192人	▲6,714人	▲52.0%

③ 小学校の地区別児童数の推移

過去10年間における地区別児童数（図2・表1）を見ますと、平成27年度は平成18年度と比較すると、上総地区が44.0%と最も大きく減少しており、ついで小糸地区の38.7%、小櫃地区の38.4%の減少となっています。

図2（地区別児童数の推移）

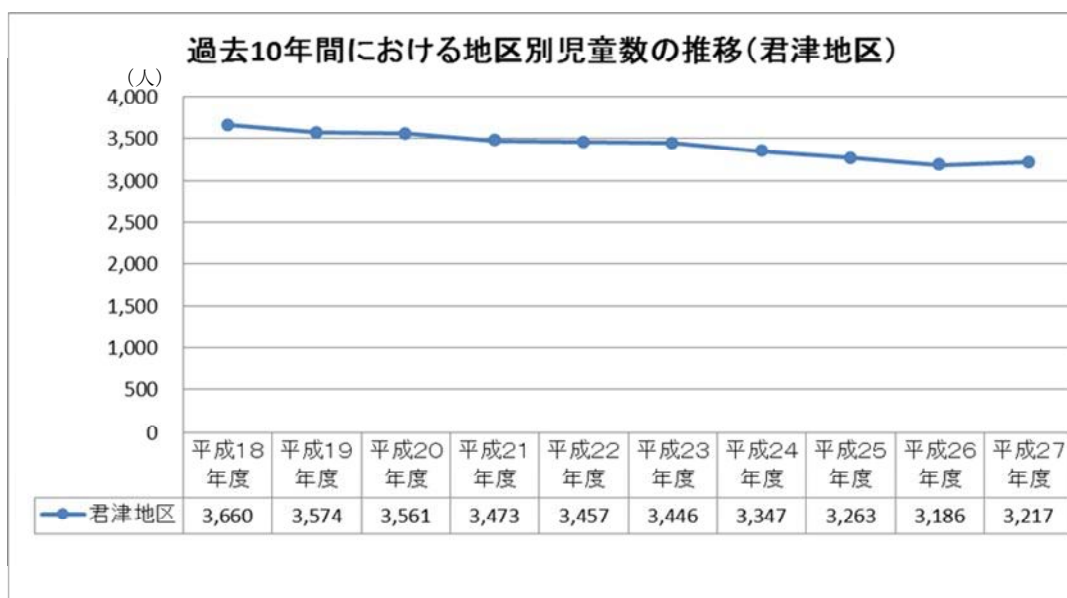
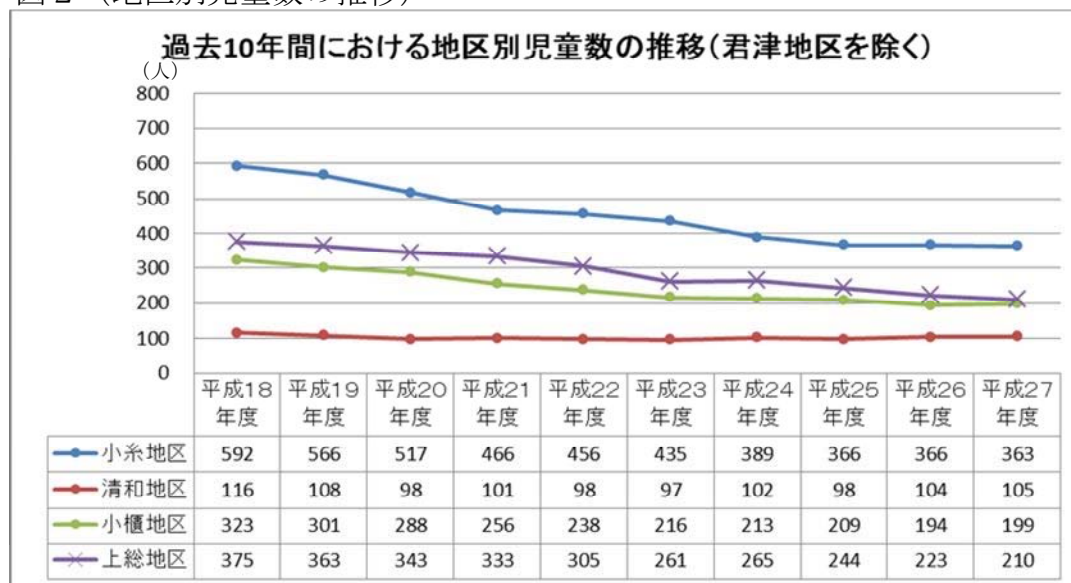


表1（地区別児童数の減少率）

君津地区	▲ 12.1%	小櫃地区	▲ 38.4%
小糸地区	▲ 38.7%	上総地区	▲ 44.0%
清和地区	▲ 9.5%		

④ 中学校の地区別生徒数の推移

過去10年間における地区別生徒数（図3・表2）を見ますと、上総地区が45.2%と最も大きく減少しており、ついで小櫃地区の42.2%の減少、小糸・清和地区でも30%を超える減少となっています。

図3（地区別生徒数の推移）

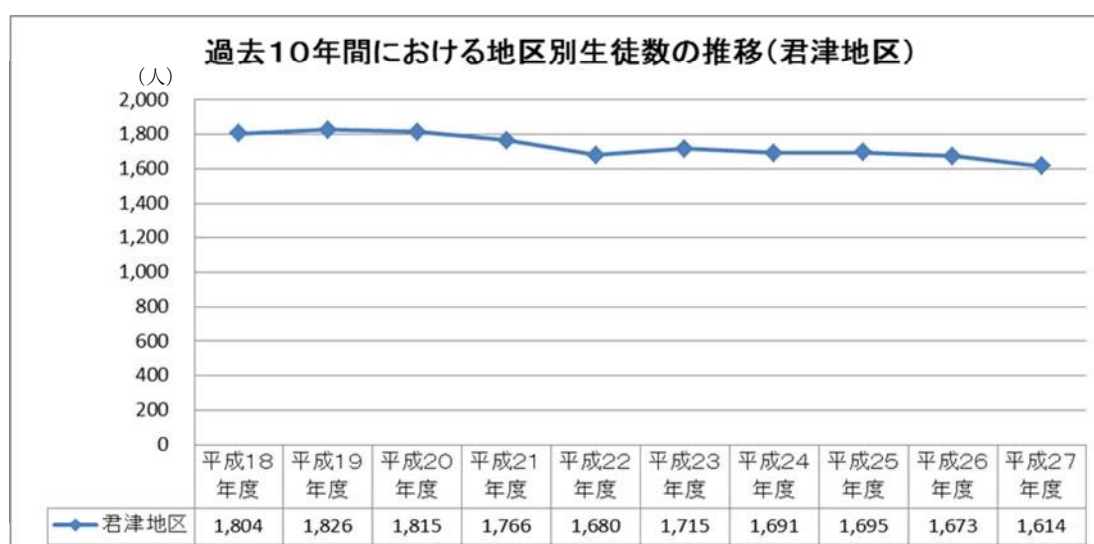
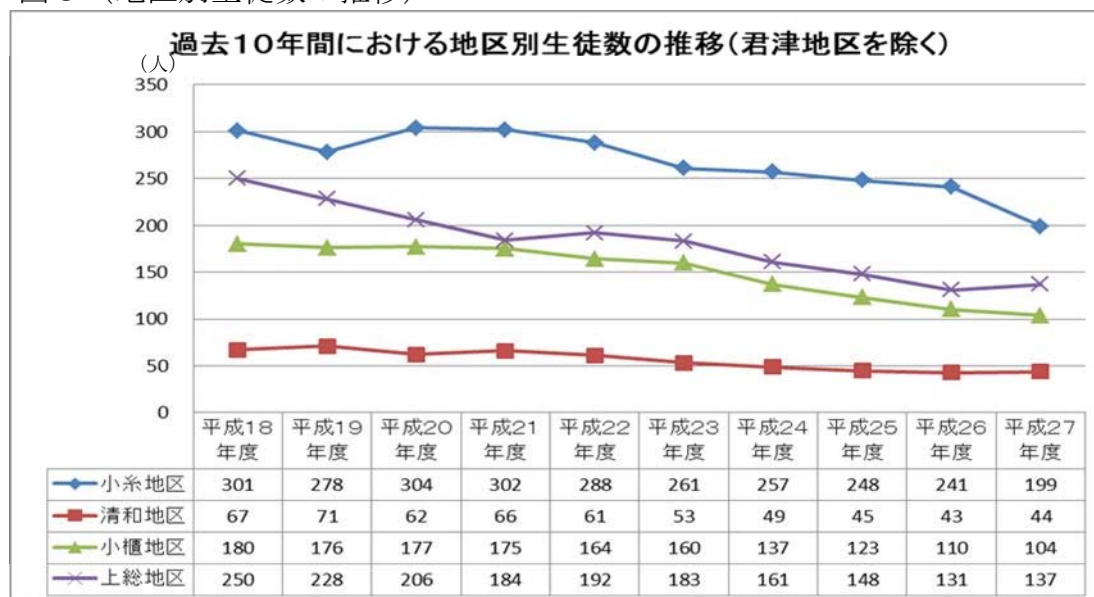


表2（地区別生徒数の減少率）

君津地区	▲10.5%	小櫃地区	▲42.2%
小糸地区	▲33.9%	上総地区	▲45.2%
清和地区	▲34.3%		

(2) 今後の学校別児童生徒数の状況

今後5年間の学校別児童生徒数の推計を見ますと、君津地区の一部の小・中学校において増加となるものの、地区別に見ますと、全ての地区が減少傾向にあります。

特に小糸・清和・小櫃・上総地区で大幅な減少となる見込みです。

① 学校別児童生徒数の推計

【小学校】

(人)

地区名	学校名	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
君津	八重原小	282	12	265	10	266	10	263	10	257	10	263	11
	南子安小	670	21	626	20	597	19	587	19	579	19	583	19
	周西小	636	19	598	18	581	18	569	18	548	18	535	18
	大和田小	310	12	318	12	320	12	327	12	346	12	365	13
	坂田小	221	9	227	8	225	8	226	9	235	10	242	11
	貞元小	211	8	243	9	271	10	304	11	327	12	333	12
	周南小	473	18	466	14	447	13	435	13	430	14	410	14
	北子安小	229	8	233	8	236	8	243	9	241	10	254	11
	外箕輪小	185	6	189	6	178	6	184	6	182	6	176	6
小糸	中小	263	10	245	10	219	9	202	8	194	8	166	7
	小糸小	100	6	86	6	79	6	78	6	68	6	75	6
清和	秋元小	58	6	53	5	52	5	48	5	40	4	40	4
	三島小	47	5	45	5	43	4	35	4	34	4	34	4
小櫃	小櫃小	199	7	195	7	177	6	176	6	164	6	155	6
上総	久留里小	106	6	101	6	97	6	92	6	82	6	75	6
	松丘小	60	6	56	6	56	6	49	5	43	5	45	4
	坂畑小	44	5	49	4	50	5	48	5	48	4	47	5

【中学校】

(人)

地区名	学校名	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
君津	君津中	562	18	572	15	582	16	566	16	545	16	528	15
	周西中	300	9	277	8	267	8	262	8	273	9	269	9
	周南中	210	8	205	6	216	7	239	7	243	7	230	6
	周西南中	304	9	318	10	320	10	330	10	305	9	305	9
	八重原中	238	9	246	7	235	6	236	6	229	6	222	6
小糸	小糸中	199	6	202	6	195	6	200	6	179	6	173	6
清和	清和中	44	3	47	3	52	3	57	3	54	3	52	3
小櫃	小櫃中	104	4	100	3	102	4	104	4	106	4	92	3
上総	久留里中	69	3	65	3	59	3	52	3	54	3	56	3
	松丘中	45	3	39	3	30	3	31	3	30	3	31	3
	亀山中	23	3	21	3	20	3	23	3	25	3	23	3

② 年少人口の推計

平成52年までの本市の年少人口推計（表3）を見ましても、50.3%の大幅な減少となる見込みです。その他の階層（図4）においては、生産年齢人口が39.0%の減少、高齢者人口は20.7%の増加となり、総人口は26.2%の減少となる見込みです。

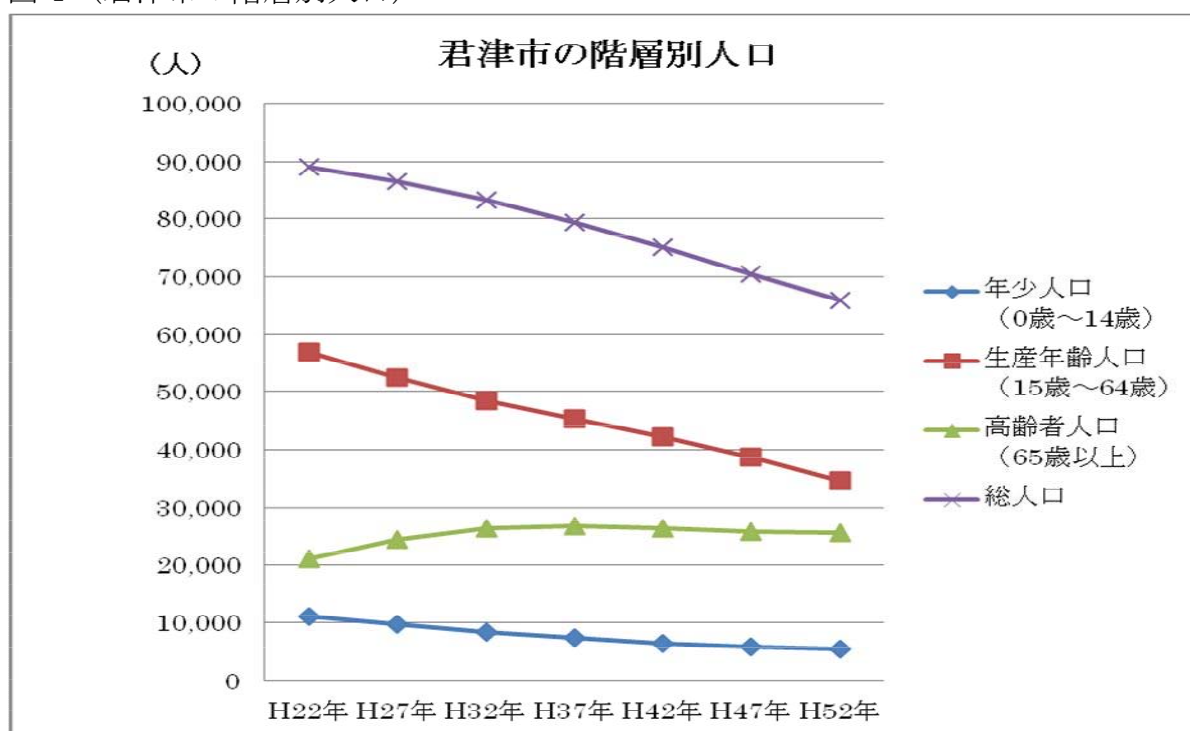
表3（君津市年齢階層別人口の30年間の推計）

（人）

	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年
年少人口 （0歳～14歳）	11,013	9,655	8,444	7,411	6,529	5,944	5,475
生産年齢人口 （15歳～64歳）	56,913	52,472	48,465	45,301	42,278	38,762	34,697
高齢者人口 （65歳以上）	21,242	24,399	26,427	26,786	26,430	25,892	25,635
総人口	89,168	86,526	83,336	79,498	75,237	70,598	65,807

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

図4（君津市の階層別人口）



(3) 君津市の幼稚園の現状

① 周西幼稚園について

周西幼稚園は、昭和41年度に定員80人2学級（4歳児40人、5歳児40人）で開園し、園児数は、年長27人、年少18人、計45人でスタートしました。

その後、人口急増により昭和47年度の入園希望者が184人に達し、収容不能になり、敷地も借地であったため、昭和48年4月に現在の場所に移転し、定員を200人、6学級とする園舎を新築しました。

そして、幼児期にふさわしい生活・遊びを通して「生きる力」の基礎を育み、幼児教育の充実に努めています。

② 園児数の推移

(人)

園 名	定員	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 27年度／定員
周西幼稚園	200	104	107	102	83	67	33.5%

ここ数年、園児数は減少傾向であり、平成26年度には100人を割りました。平成27年度の園児数は67人で、定員に対する割合は、33.5%となっています。

③ 市内私立幼稚園の園児数の推移

(人)

園 名	定員	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 27年度／定員
A	240	157	143	137	125	105	43.8%
B	150	115	106	108	115	127	84.7%
C	315	165	207	218	212	223	70.8%
D	340	308	284	266	256	252	74.1%
4園計	1,070	745	740	729	708	706	66.0%

なお、市内の各私立幼稚園とも定員割れとなっており、定員に対する割合は43.8%から84.7%で、4園の平均は、66.0%となっています。

(4) 君津市の学校規模の現状と今後の予測

(参考) 国が示す学校規模

	小学校	中学校
学 級 数	1 2 ～ 1 8 学級	1 2 ～ 1 8 学級

(国の基準) 学校教育法施行規則、義務教育諸学校等の施設費の
国庫負担等に関する法律施行令

① 小学校の学校規模

学校規模 年度	～ 1 1 学級	1 2 学級 ～ 1 8 学級	1 9 学級～
平成 2 7 年度	1 2 校 (70.6%) 単学級校 5 校 (41.7%) 複式学級 2 校 (16.7%)	3 校 (17.6%)	2 校 (11.8%)
平成 3 2 年度	1 2 校 (70.6%) 単学級校 4 校 (33.3%) 複式学級 4 校 (33.3%)	4 校 (23.5%)	1 校 (5.9%)

【平成 2 7 年度】

平成 2 7 年 5 月現在、最小規模校の児童数は 4 4 人であり、最大規模校の児童数は 6 7 0 人で、その差は 1 5 . 2 倍、6 2 6 人となっています。

1 1 学級以下の小規模校は 1 2 校で、全体の 7 0 . 6 % を占めています。そのうち、単学級 (※ 1) がある小学校は 5 校あり、1 1 学級以下の学校に占める割合は 4 1 . 7 %、また、複式学級編制 (※ 2) がある小学校は 2 校で 1 6 . 7 % となっています。学校規模の標準とされる 1 2 学級以上 1 8 学級以下の学校数は 3 校で、全体の 1 7 . 6 % となっています。

(※ 1) 単学級

一学年がひとつの学級のことを言います。

(※ 2) 複式学級編制

複数の学年の児童生徒をひとつの学級に編制することを言います。

【平成 3 2 年度】

平成 3 2 年度では、最小規模校の児童数は 3 4 人、最大規模校の児童数は 5 8 3 人で、その差は 1 7. 1 倍、5 4 9 人となることが予想されます。

1 1 学級以下の小規模校は 1 2 校で、全体の 7 0. 6 % を占めます。そのうち、単学級がある小学校は 4 校あり、1 1 学級以下の学校に占める割合は 3 3. 3 %、また、複式学級編制がある小学校は 4 校で 3 3. 3 % となると予想されます。

学校規模の標準とされる 1 2 学級以上 1 8 学級以下の学校数は 4 校で、全体の 2 3. 5 % となることが予想されます。

② 中学校の学校規模

年度 \ 学校規模	～ 1 1 学級	1 2 学級 ～ 1 8 学級	1 9 学級～
平成 2 7 年度	1 0 校 (90. 9%) 単学級校 4 校 (40. 0%)	1 校 (9. 1%)	0 校 (0. 0%)
平成 3 2 年度	1 0 校 (90. 9%) 単学級校 5 校 (50. 0%)	1 校 (9. 1%)	0 校 (0. 0%)

【平成 2 7 年度】

平成 2 7 年 5 月現在、中学校において最小規模校の生徒数は 2 3 人、最大規模校の生徒数は 5 6 2 人で、その差は 2 4. 4 倍、5 3 9 人となっています。

1 1 学級以下の小規模校は 1 0 校で、全体の 9 0. 9 % を占めています。そのうち、単学級がある中学校は 4 校あり、1 1 学級以下の学校に占める割合は 4 0. 0 % です。

学校規模の標準とされる 1 2 学級以上 1 8 学級以下の学校数は 1 校で、全体の 9. 1 %、1 9 学級以上の大規模校はありません。

【平成 3 2 年度】

平成 3 2 年度では、中学校において最小規模校の生徒数は 2 3 人、最大規模校の生徒数は 5 2 8 人で、その差は 2 3. 0 倍、5 0 5 人となることが予想されます。

1 1 学級以下の小規模校は 1 0 校で、全体の 9 0. 9 % を占めます。そのうち、単学級がある中学校は 5 校あり、1 1 学級以下の学校に占める割合は 5 0. 0 % になると予想されます。

学校規模の標準とされる 1 2 学級以上 1 8 学級以下の学校数は 1 校で、全体の 9. 1 %、1 9 学級以上の大規模校はないことが予想されます。

(5) 学校の小規模化のメリット・デメリット（学校における調査結果）

① 児童生徒の視点から

児童生徒から見た学校の小規模化のメリット・デメリットについては、次のようなことがあげられます。

内 容	メリット	デメリット
学習面	・個別に指導を受ける機会が多い。 ・体験的な学習において、一人ひとりの活動の機会が多くなり、達成感を味わうことができる。	・磨き合うことや、鍛え合う場が少ない。 ・競争相手が少なく、向上心に欠けることがある。
生活面	・きめ細かな生活指導を受けることができる。 ・ゆったりとした環境の中で、落ち着いて過ごすことができる。	・係活動や当番活動など一人ひとりの負担（仕事量）が大きい。 ・人間関係が固定化され、新たな出会いが少ない。
学校行事	・一人ひとりが活躍できる場面が多くなる。 ・少人数のため、一体感を持つことができる。	・人数が少ないため、活動内容が制限されてしまう。 ・競争心を燃やしたり、団結したりすることが難しい。
クラブ・部活動	・試合に出場する機会が増える。	・選択する部活が少なく、団体種目（野球、サッカー、バスケットボール等）に参加することができない。
集団生活	・異学年との交流機会が多くなり異年齢でのよりよい人間関係が構築しやすい環境である。	・限られた人間関係の中で生活しているので、新しい人間関係を築くことが苦手である。

メリットとしては、学習面や生活面で、個別に指導を受ける機会が多くなることや、学校行事で少人数のため一人ひとりの活躍できる場面が多くなります。

デメリットとしては、学習面や生活面で、磨き合うことや鍛え合う場が少なくなることがあります。また、固定化された人間関係の中で生活しているため、一旦それが崩れたときに修復したり、新しい関係を築いたりする力が育成されにくくなります。クラブ活動や部活動の面では選択する種目が少ないため、自分のやりたいことができないことがあります。

② 学校運営の視点から

学校運営から見た学校の小規模化のメリット・デメリットについては、次のような事があげられます。

内 容	メリット	デメリット
学習指導	・理解するまで時間をかけて指導することができる。 ・個々を評価する場面が増え、達成感を味わわせやすい。	・集団の中での磨き合いや気づきの場面が少なく、発表や意見が限定され、学習に深まりが見られないことがある。
生徒指導	・一人ひとりの様子をよく把握することができ、個に応じた対応をすることができる。 ・一人ひとりに多くの職員が関わることができ、情報共有することで連携した指導ができる。	・人間関係が固定化されてしまうため序列化されやすく、問題が生じた場合には、解消が難しくなることがある。 ・価値観の養成が乏しいため、特定の児童生徒の影響が大きくなることがある。
学校行事	・一人ひとりが活躍する場を多く設けることができる。 ・役割と責任を持たせることができ、充実感を味わわせやすい。	・児童生徒による運営が難しく、教師や保護者の支援が必要となり一人ひとりの負担が大きい。 ・対外的な行事への参加が難しいことがある。
指導、研修、校務	・学校全体で共通理解のもと指導にあたることができる。	・一人あたりの公務分掌が多く、それに伴う出張回数も増え、子どもと関わる時間が少なくなる。
地域連携	・保護者や地域住民との交流の機会が多く、学校運営への理解や協力を得やすい。 ・地域行事が多く、児童生徒が地域の一員として参加する場が多い。	・PTA活動における保護者一人あたりの負担が大きくなる。 ・学校行事と地域行事の兼ね合いが難しい。

メリットとしては、学校全体で共通理解のもと、学習指導や生徒指導において、一人ひとりを大切にしたい指導ができることや、つまずきや問題行動に対して早期に対応することができます。

デメリットとしては、学習活動や学校行事等において集団的な活動をする場合、内容が制限されてしまうことです。また、PTA活動では、役割分担等の保護者の負担が大きくなる場合があります。

（６）適正規模のあり方について

学校の適正規模については、子どもたちが集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、次の点を考慮して推進します。

○学校教育環境の向上

- 多様な人間関係を育むことができる学校規模を目指す。
- 学校行事やクラブ活動等、様々な活動ができる教育環境を整える。

○適正規模の確保

- 単学級や複式学級を解消する。

また、小規模校のメリット・デメリットから、教育環境面、指導体制面、学校運営面の視点で、理想的な学校規模について次のように考えます。

① 教育環境面

- ・クラス替えができ、人間関係が固定化されることのない規模であること。
- ・多様な価値観を持つ仲間と触れ合える規模であること。
- ・学校行事やクラブ活動等、様々な活動を行える規模であること。
- ・仲間同士で切磋琢磨でき、適度な競争意識を持つことができる規模であること。

② 指導体制面

- ・多様な学習・指導形態をとることができる規模であること。
- ・児童生徒一人ひとりの特性を把握できる規模であること。
- ・運動会、体育祭、音楽集会など、ある程度の集団で活動できる規模であること。
- ・施設や設備を有効に活用できる規模であること。

③ 学校運営面

- ・教職員が互いに指導方法等を相談・研究できる規模であること。
- ・教職員が学校の教育目標や諸課題を共通理解できる規模であること。
- ・学年運営を効果的に進めることができる規模であること。

学校規模に関する国の基準は、小・中学校ともに12学級から18学級となっていますが、上記に示した点を考慮すると、本市においては、クラス替えのできる1学年2学級以上の学級数が必要となり、小学校においては12学級以上、中学校においては、国と異なり6学級以上の規模が適正であると考えます。

以上の点を踏まえ、本市の適正規模を次のように捉えます。

君津市の適正規模の基準

小学校：12学級から18学級（1学年 2学級から3学級）
中学校： 6学級から18学級（1学年 2学級から6学級）

(7) 適正配置のあり方について

学校の適正配置については、在校生、保護者、卒業生、地域住民など関係者の様々な思いや考えがあるということを踏まえ、次の点を考慮して推進します。

○地域社会への配慮

→学校と地域社会との関わりを大切にする。

→地域コミュニティの拠点としての役割とともに、地域の活性化に配慮する。

○児童生徒数の推計等の詳細な把握

→現状だけでなく、先を見通した検討を行う。

→児童生徒にとって、統合等による負担がかからないように配慮する。

○通学の安全性の確保

→児童生徒の通学状況を把握し、安全性が保たれるように配慮する。

以上の点を踏まえ、本市の適正配置を次のように捉えます。

君津市の適正配置の基本的な考え方

子どもたちのよりよい教育環境を目指して、地域の様々な事情を総合的に考慮しながら、学校の統合、通学区域の見直し、時代に合った新しいタイプの学校への転換などを推進します。

(8) 通学区域の見直し

学校の適正規模・適正配置とともに、通学距離、通学時間など地域の実情等を踏まえながら、通学区域の見直しについても推進します。

(9) 通学手段の検討

統合や通学区域の見直しによって、通学距離、通学時間が長くなります。児童生徒への負担と安全面から、スクールバスの運行など、通学手段について配慮します。

(10) 周西幼稚園の今後と幼児教育・保育について

社会状況の変化に伴う保護者ニーズの多様化や幼児人口の減少など、周西幼稚園を取り巻く環境も大きく変容してきました。また、施設の経年劣化も進んでいます。こうした状況から、園児の安全や幼児教育に望まれる適正な規模での集団活動の確保などの課題を踏まえ、平成29年度の園児の新規募集を一時休止し、市として将来を見据えた幼児教育・保育のあり方について、子育て部門と協議・連携し、多角的な視点から発展的に検討します。

4 今後の進め方

学校再編を進めるにあたっては、学校施設の状況を把握し、既存の学校施設・設備を最大限有効活用するとともに、地域振興施策や「公共施設マネジメント基本方針」等との整合性を図りながら進めます。

なお、学校再編基本方針・基本計画については、その内容に影響を及ぼす社会情勢の変化や教育制度の変更等があった場合、適宜見直しを行います。また、対象校についての評価・検証を適宜行い、それを常にフィードバックすることで、適正な学校再編を推進し、地域から信頼される、活力ある魅力的な学校づくりを行います。

教育を取り巻く社会状況が常に変化する中、教育の安定に配慮しつつも、学校改革、学校再編は「不断のテーマ」と考えます。本基本計画の進捗状況や社会状況の変化を評価・検証の結果を踏まえ、平成38年以降の学校再編、すなわち、次期基本計画策定の要否についても検討します。

学校再編スケジュール(イメージ)

年度	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
基本方針(※1)			(平成27年10月策定)									
基本計画(※2) (マスタープラン)			(10年先まで見込んだ計画)									
第1次 実施プログラム(※3)			(実施期間は状況により変動)									
第2次 実施プログラム												
第3次 実施プログラム												

(※1) 基本方針・・・・・・学校再編の基本となる方針について示したものです。

(※2) 基本計画・・・・・・基本方針に基づき、学校再編に必要な再編メニューなど、今後10年間の学校再編に関する基本的な考え方について示したものです。

(※3) 実施プログラム・・・・学校の統合や小中一貫教育などの具体的な再編メニューの対象校、実施時期等を示した実施計画です。

Ⅲ 活力ある魅力的な学校づくりの推進

1 適正規模・適正配置

(1) 目 標

「子どもたちにとってよりよい教育環境」を目指し、全ての学校が、本市の適正規模の基準を満たすよう、学校の適正配置を推進します。

【学校規模適正化の方向性】

児童生徒数の減少が見込まれる中、今後10年先を見据えた上で、市内のどこでも等しく、より質の高い教育、学校生活が享受できるよう、活力ある魅力的な学校づくりを目指し、学校の規模や配置の適正化を図ります。

(2) 具体的内容

- ① 児童生徒が多くの人や教師に出会い、豊かな人間関係を築き、社会性を養うとともに、自らの個性や能力を伸ばさせることが期待でき、また、クラス替えなど教育的配慮という観点からも、学校の適正規模を、小学校は12学級から18学級、中学校は6学級から18学級とします。
- ② 適正規模・適正配置を進めるにあたり、市全体の学校配置バランスを考慮しながら、具体的な活性化策（学校の統合、小中一貫教育校の設置、コミュニティ・スクールの導入など）を検討します。併せて、通学に関しては、児童生徒の負担や安全面など、地域の実態を踏まえた適切な通学条件や通学手段の確保について配慮します。
- ③ 学校の統合については、複式学級や単学級の解消への対応が急がれる学校から検討しますが、「地域とともにある学校づくり」の視点も踏まえ、必要に応じて、例えば、自治会長をはじめとする地域代表やPTA代表、学校関係者等で構成する地域懇談会を設けるなど、地域の実情にも配慮しながら進めていくことも必要であると考えます。
- ④ 地域コミュニティの活性化や市街地における、いわゆる学区のねじれなど、各地域が抱える様々な実情や課題に応じた、具体的な対策を総合的に検討します。

2 通学区域の見直し

(1) 目 標

通学距離が小学校で概ね4キロメートル以内、中学校で概ね6キロメートル以内、また、通学時間が概ね60分以内を目安とし、学校の適正規模等を踏まえ、児童生徒の安全に配慮した通学区域の見直しを推進します。

(2) 具体的内容

- ① 学校の適正規模等を踏まえ、通学区域の見直しを行います。
 - ・他校と隣接する地域
 - ・学校の統合が予定される地域
- ② 通学距離を考慮し、通学区域の見直しを行います。
 - ・他校の児童生徒と交差し、自校に通っている地域
 - ・他校付近を通過し、自校に通っている地域

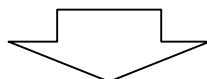


(3) 通学区域の見直しの考え方

通学距離や通学時間の長短のみではなく、児童生徒の安全な登下校や、地域の実情等を踏まえながら、通学区域の見直しを行います。

(4) 通学区域の見直しに伴う課題の解決に向けて

児童生徒の安全な登下校に配慮し、対策を検討していきます。



- ① 通学距離が基準を超える児童生徒の通学については、スクールバス等の導入を視野に入れていきます。
- ② 通学路に関係する道路施設について、関係部署との協議を行い、登下校の安全対策を推進していきます。



(5) 通学区域の弾力化

- ① 通学区域の見直しを行う際は、通学区域制度を基本にしつつ、弾力的な対応も検討します。
- ② 特色ある教育実践を行う学校のうち、教育委員会が指定した学校については、一定の就学条件を設けて、学区外からの通学を認める「特認校制度(※1)」を設けます。

(※1) 特認校制度

学校の特色を理解し、子どもを学ばせたいという希望者に対して、市内にある現在の住所のまま所定の条件のもと、特認校として指定された学校に入学・転入学できる制度です。

3 小中一貫教育

(1) 目 標

小学校から中学校の9年間の学び（学習面）と育ち（生活面）のつながりを重視するための円滑な接続を目指して、義務教育9年間を一貫したカリキュラムで行う小中一貫教育校（施設一体型、隣接型・分離連携型）の設置を推進します。

小中一貫教育が求められている背景として、小学校から中学校に進学する際の接続が円滑なものになっていないことが考えられます。その一つの要因として、小・中学校間の接続期における学習指導、生徒指導の違いが挙げられます。

《学習指導(例)》授業形態が小学校では学級担任制、中学校では教科担任制である。

《生徒指導(例)》中学校では小学校と比較して生徒に課せられる規則が多い。

他にも、部活動の加入等により、朝・放課後、休日の練習等による生活リズムの急激な変化が考えられ、これらの違いから、小・中学校のギャップを強く感じるという「中1ギャップ」問題が生じています。

したがって、その解消に向け、無理のない接続にするための方策が必要となっています。

〈小中一貫教育施設の種類〉

施設一体型

(施設が同敷地内に設置)



小学校と中学校の校舎が同敷地内に設置され、全部又は一部が一体的に設置されている学校です。校長が1人で小・中学校を併任し、その他に、副校長1人、教頭2人を置く場合があります。(従来通り学校ごとに校長を置くこともあります。)

隣 接 型

(施設が異なるが隣接している)



(小学校)

(中学校)

小学校と中学校の校舎が隣接する敷地に別々に設置されている学校です。従来通り、学校ごとに校長を置く場合や、施設一体型のように、校長が1人で小・中学校を併任し、副校長や教頭を置く場合もあります。

分離連携型

(施設が異なり離れている)



(中学校)

小学校と中学校の校舎が隣接していない異なる敷地に別々に設置されている学校です。

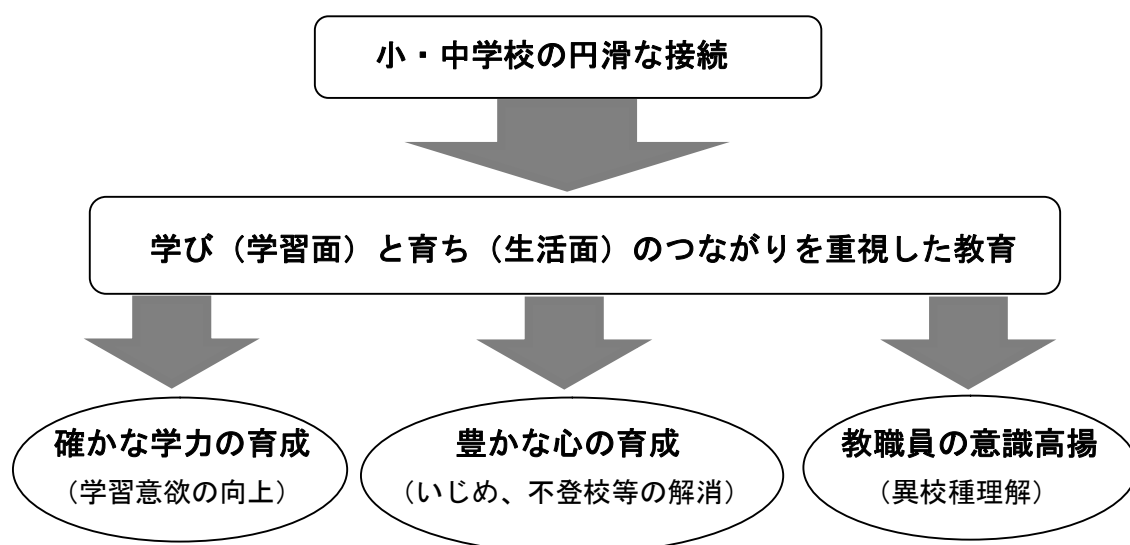


従来通り、学校ごとに校長、教頭を置き、連携していきます。

(小学校) (小学校) (小学校)

(2) 小中一貫教育校について

- ① 中学校区内の小・中学校が共通の「目指す児童生徒像」や「教育目標」を設定し、その実現を図ります。
- ② 教科指導等の連続性や小学校から中学校への円滑な接続を図るため、9年間を一貫したカリキュラムで学びます。
- ③ 学び（学習面）の連続性・一貫性により、学力・学習意欲の向上を目指します。
- ④ 育ち（生活面）の連続性により、中1ギャップなどの生徒指導上の諸問題をはじめ、中学校の新しい環境への生活面における不安解消を目指します。
- ⑤ 小学1年生から中学3年生までの幅広い異学年での交流により、社会性・協調性を身に付ける児童生徒を育成します。

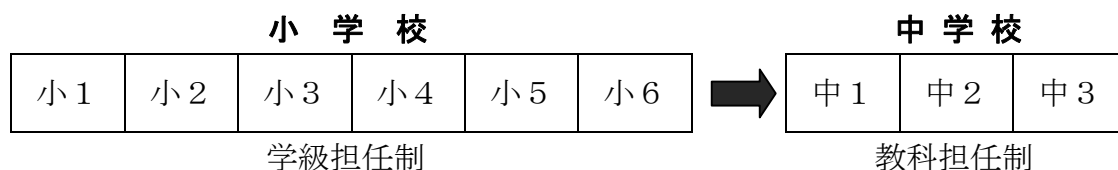


(3) 具体的内容

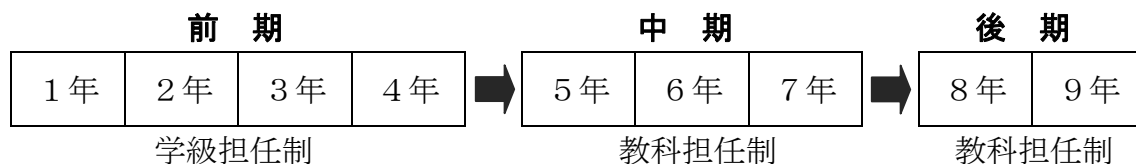
- ① 9年間の教育目標を設定し、現行の「小学6年－中学3年」の区切りにとらわれず、「前期4年－中期3年－後期2年」という区切りなど、発達段階に応じたの系統性を確保した教育課程を編成します。(施設一体型タイプ)
- ② 「君津市版小中一貫カリキュラム」を策定し、これを準用した上で、一貫教育の実施に必要な教育課程を創設します。
- ③ 中学校教員が、小学校で専科授業を行ったり、小学校教員が中学校でティーム・ティーチングを行ったりするなどして、相互の授業に関わり、きめ細かな指導を行います。
- ④ 児童生徒の交流、職員間の連携を密に行い、特色ある学校づくりを行います。

【例】

《現行6－3制》 隣接型・分離連携型タイプ



《4－3－2制》 施設一体型タイプ



他に、施設一体型において**5－4制**という区切りで行われるタイプもあります。

(4) 配置計画

- ① 施設一体型「小中一貫教育校」を設置します。(1～2校程度)
- ② 隣接型「小中一貫教育校」を設置します。(1～2校程度)
- ③ 分離連携型「小中一貫教育校」を設置します。(4～6校程度)

4 コミュニティ・スクール

(1) 目 標

保護者代表や地域の様々な人々が、より積極的に学校運営に参画できる「コミュニティ・スクール」（学校運営協議会制度）を導入し、子どもたち・地域の人々・学校がともに生き生きと活躍できる「地域とともにある学校づくり」を推進します。

(2) コミュニティ・スクールについて

① コミュニティ・スクール

- ・「学校運営協議会」を設置し、学校運営に地域の人々がより深く、より積極的に参画できる仕組みをもつ学校です。

② 学校運営協議会

- ・学校関係者、保護者代表のほか、地域ボランティア、産業分野、社会教育関係者など様々な人々で構成し、委員の選出方法などについては、地域の実情に合った活動しやすいものとなるよう、教育委員会規則で定めます。
- ・学校運営協議会では、学校運営の基本方針等について話し合いを行い、学校運営がより充実し地域に開かれたものにするための学校の良きパートナーとして機能します。

③ コミュニティ・スクールの成果

- ・安全で安心な環境の中で、子どもたちの授業や学校行事など、各教育活動の充実を図ります。
- ・コミュニティ・スクールによって、地域の人々が活躍できる機会の提供、地域の人々の交流促進などを図ります。
- ・学校と地域の人々の力・ネットワークの循環が生まれ、「地域とともにある学校」として、学校の教育活動の充実のみならず、生き生きとした地域づくりにつながります。

④ 拠点校について

- ・拠点校を指定しコミュニティ・スクールを展開します。
- ・拠点校においては、君津市の状況に沿った取組を行うため、文部科学省の示すコミュニティ・スクールの内容をやや緩和した取組みからはじめ、段階的に文部科学省の示す内容への発展を目指します。
- ・拠点校以外の小・中学校でも、拠点校での取組を検証し、コミュニティ・スクールの要素を生かした地域とともにある学校づくりを進めます。

〈参考〉コミュニティ・スクールのイメージ図（文部科学省資料より）



（３） 具体的内容

① 学校・地域との風通しよい関係を深めます。

学校運営方針や課題、地域の状況などについて、学校運営協議会での意見交換などを通じて、学校と地域が風通しよく共通理解を深められるようにします。

② 地域の人々の力を生かした幅広い教育活動を展開します。

学習サポートや部活サポートなど、地域の人々の様々なネットワークを生かし、日常の教育活動を充実させます。

また、地域にある各機関や団体の力で、地域の歴史、自然、文化を学ぶ「ふるさと学」や地域の職場体験学習等の機会を充実させ、地域の特色を生かした教育活動を展開します。

③ 地域の人々の交流を深めます。

地域コミュニティの拠点としての学校の役割を生かし、様々な活動を通じて、地域の人々の交流を深めます。

④ 学校と地域がともに生き生きとする活動を展開します。

地域の人々の力を学校の教育活動に生かすだけでなく、学校や子どもたちの力を地域行事などの活動に生かし、学校と地域がともに発展しあう活動を展開します。

〈参考〉ともに発展しあう学校と地域のイメージ



(4) 配置計画

「コミュニティ・スクール拠点校」を指定します。（１～２校程度）

5 国際理解教育

(1) 目 標

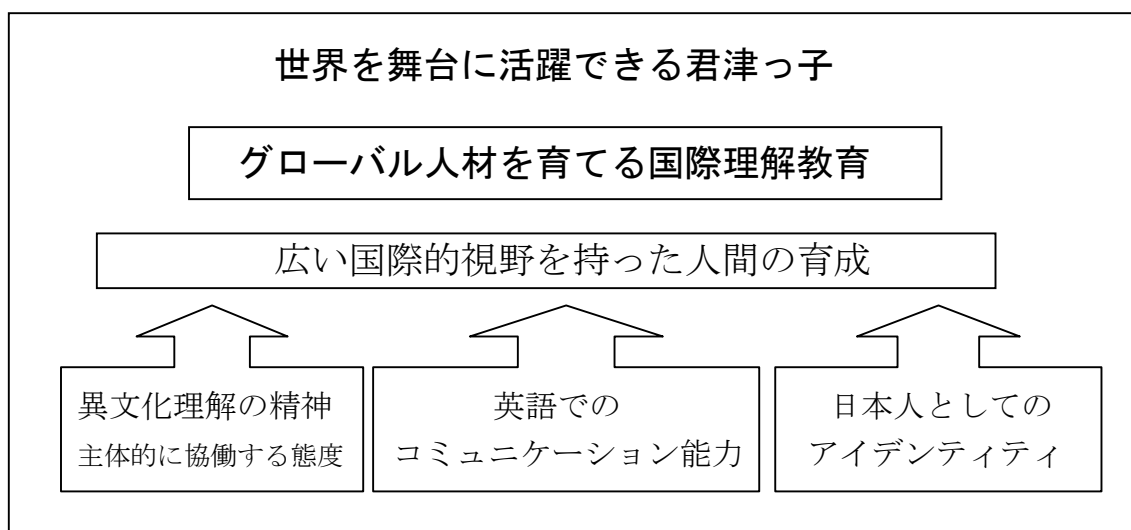
小・中学校の連携を図り、9年間を見通した教育課程の中で、グローバル人材を育てる国際理解教育を推進します。

(2) 国際理解教育拠点校について

豊かな国際感覚や実践的なコミュニケーション能力を養い、グローバル社会に対応できる、広い国際的視野を持った人間の育成を目指します。

本市では、英語教育を「きみつ教育 創・奏5か年プラン」の主要事業の一つに位置づけています。これまで、「世界を舞台に活躍できる君津っ子」の育成を目指して、市独自の施策に取り組んできました。その土台の上に以下の3点に力を入れた教育課程を編成します。

- ① 異文化理解の精神を身に付け、言語や文化の異なる人々と主体的に協働できる態度を育成します。
- ② 英語教育の充実を図り、国際共通語として英語でのコミュニケーション能力を育成します。
- ③ 日本人としてのアイデンティティや日本の伝統や文化への理解を深める教育の充実を図ります。



(3) 具体的内容

- ① 交流や体験的な学習を積極的に取り入れて異文化理解を深めます。またユネスコスクールの理念を参考に、国際社会が抱える問題や国際協力について学習し、国際的な視野を広げます。

○ユネスコスクールとは

ユネスコ憲章(※1)に示されたユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校です。文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールを「持続可能な開発のための教育(E S D)」の推進拠点校と位置づけています。

○E S Dとは(Education for Sustainable Developmentの略)

地球的な視野に立って、環境、貧困、人権、開発といった様々な地球規模の問題について、自分のこととして捉え、その解決に向けて自分から行動を起こす力を身に付けるための教育です。この考え方はグローバル人材の育成にもつながる重要なもので、文部科学省の教育施策の中でE S Dを推進することが明記されています。

- ② 小・中学校を通じて一貫した学習到達目標を設定して、互いの考えや気持ちを英語で伝え合うコミュニケーション能力を育成します。

<中学校>

- 具体的な学習到達目標(CAN-DO形式)を設定し、「話す」「書く」言語活動の充実
- 会話・プレゼンテーション・スピーチ・ディベートを中心とした授業
- ICT教材の活用



<小学校>

- モジュール学習(※2)の中で「繰り返し学習」
- 低学年からの外国語活動(国際化推進コーディネーター(※3))
- 中学校英語科教員との連携
- 英語以外の教科を英語で体験的に学習(体育・音楽・家庭科等)

English Learner から English User へ

- ③ 日本の伝統や文化に触れ、理解を深めるとともに、それを英語で発信する活動につなげていきます。

各領域・各教科の年間計画で日本の伝統・文化に関する内容を位置づけ、全教育活動を通して推進します。

＜学習活動のポイント＞

○本物に触れる活動を重視

- ・伝統工芸や伝統芸能の継承者や和楽器の演奏者等に直接関わったり、指導を受けたりする活動を通して、その良さを感じ取らせます。

○地域の素材や人材の活用

- ・祭り囃子、手巻き寿司など地域に伝わる文化を取り上げます。
- ・生け花、茶道、俳句、落語など公民館活動との連携や高等学校の書道部、和太鼓部の部員などを講師として招くなど、地域の人材を生かした学習活動を展開します。

○学んだことを発表する活動の工夫

- ・地域や外国の人などに伝える活動を通して、「地域」「君津」「日本」のすばらしさを再確認するとともに、その一員としての自覚と誇りを育てます。

小・中学校9年間を見通した計画の中で

「地域」→「日本」→「世界」へと視野を広げていきます。

(4) 配置計画

- ・中学校区単位の小・中学校で国際理解教育を推進します。
- ・中学校を拠点校として指定します。（1～2校程度）

(※1) ユネスコ憲章（抜粋）第1条目的及び任務

この機関の目的は、国際連合憲章が世界の諸人民に対して、人権、性、言葉又は宗教の差別なく確認している正義、法の支配、人権及び基本的自由に対する普遍的な尊重を助長するために教育、科学及び文化を通じて諸国民の間の協力を促進することによって平和及び安全に貢献することです。

(※2) モジュール学習

10～15分程度の短い時間を単位として、繰り返し教科指導を行う効果的な短時間学習です。

(※3) 国際化推進コーディネーター

本市独自に雇用している日本人英語指導講師。小学校英語活動の指導にあたっています。

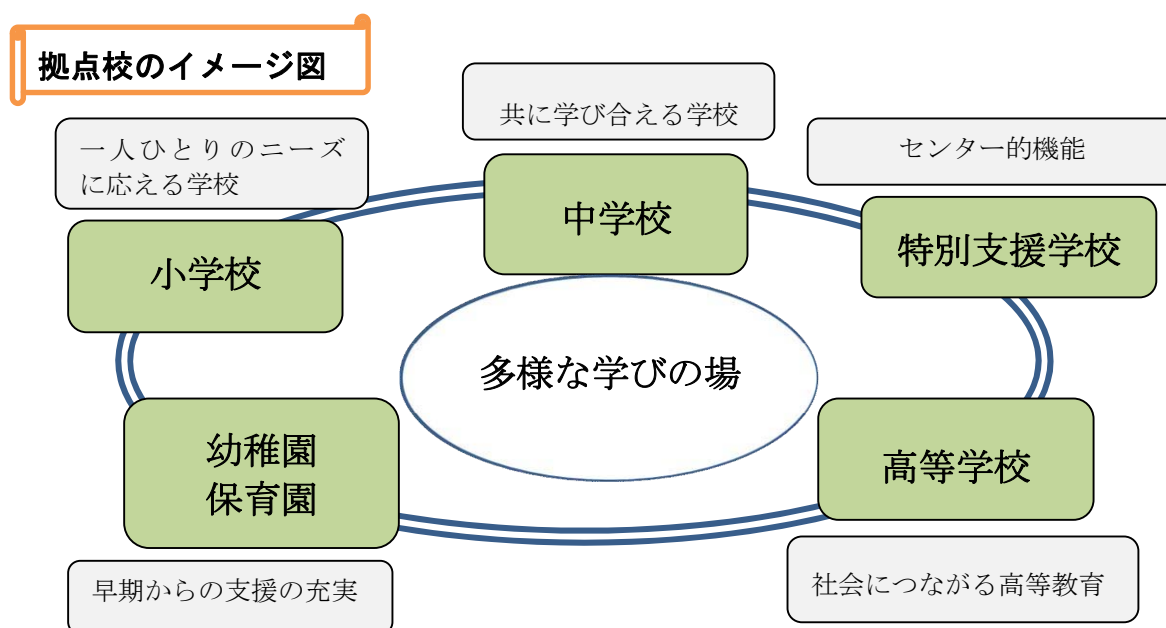
6 インクルーシブ教育システム（※1）

（1）目 標

誰もが互いに人格と個性を尊重して支え合い、多様なあり方を認め合うために、子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行い、同じ場で共に学ぶことを追求するインクルーシブ教育システムの構築を推進します。

（2）インクルーシブ教育システム拠点校について

- ① 障害のある子どもと障害のない子どもが、同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、それぞれに授業が分かり、学習に参加している実感・達成感を得ながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けていけるように体制を整えます。
- ② 今日的な課題であるいじめ問題や不登校の問題に対し、道徳教育・人権教育を充実させて人権意識を高め、誰もが互いに認め合うことができ、どの子どもも安心できる居場所づくりを行います。
- ③ 通常学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒（※2）一人ひとりの教育的ニーズに合った支援を行います。さらに、特別な教育的ニーズに対応するため特別支援学校とも連携を深めます。
- ④ 幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校で教職員の連携を図り、連続した支援を行います。



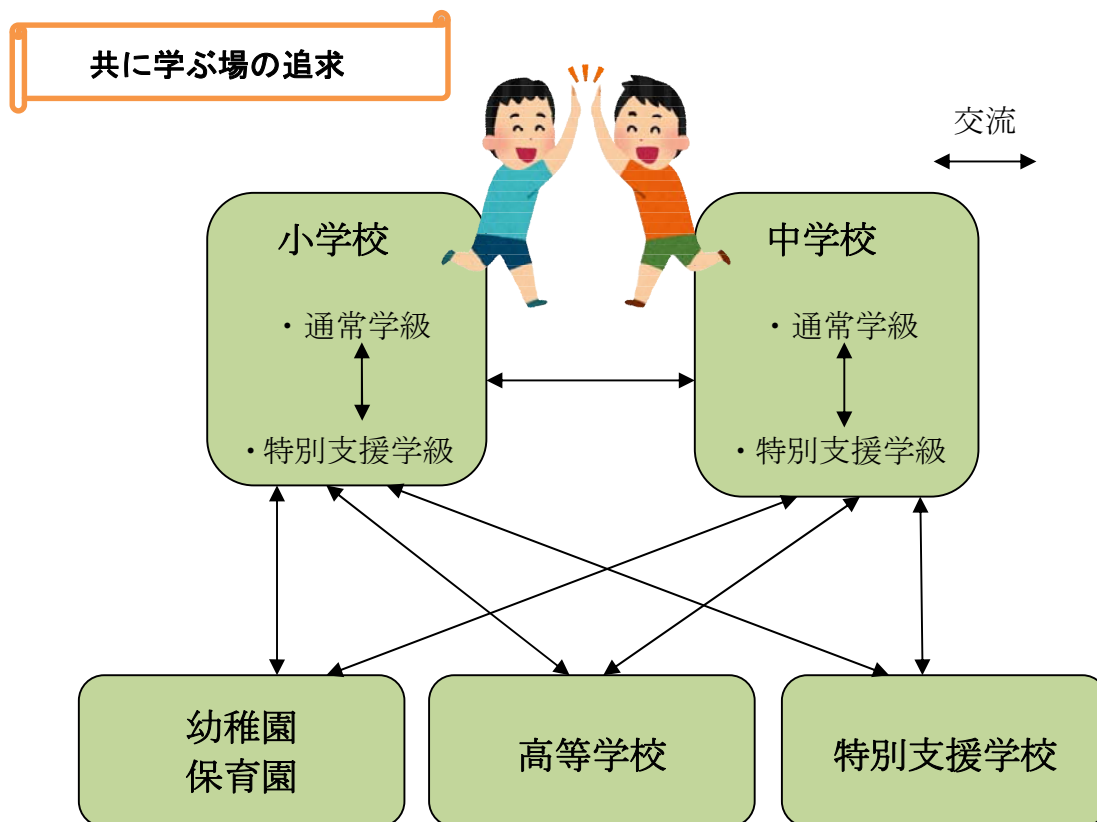
(3) 具体的内容

① 道徳教育・人権教育の充実

- ・自他のよさを認め、思いやりの心を育てる道徳教育を推進します。
- ・異校種や異年齢での交流による体験的な学習を通して、自己理解・他者理解を図ります。
- ・人権擁護委員や福祉施設など、他機関との連携を図り、体験的な学習を推進します。

② 共に学ぶ場の設定と学校間連携の推進

- ・校内で、通常学級と特別支援学級との交流や環境整備の充実を図ります。
- ・個別の教育支援計画・指導計画を継続・蓄積して活用し、幼年期から青年期への連続した支援を行います。
- ・幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校と特別支援学校との間で、交流及び共同学習を推進します。そのため、交流及び共同学習を学校の教育課程に位置づけたり、年間指導計画を作成したりするなど計画的・組織的に取り組みます。



③ 教職員のスキルアップ

- ・授業のユニバーサルデザイン化（※３）の視点を取り入れ、全員が分かる・できる授業づくりを工夫します。
- ・特別支援教育コーディネーター（※４）、特別支援学級担任、通級指導教室（※５）の担当の専門性を高め、校内の支援体制を整えます。
- ・君津特別支援学校・千葉盲学校・千葉聾学校のセンター的機能（※６）を活用して、専門的な研修を行います。また、専門的な視点から児童生徒を理解し、よりよい支援を行います。

（４） 配置計画

- ・「インクルーシブ教育システム拠点校」を指定します。（１～２校程度）

（※１）インクルーシブ教育システム

人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発揮することができ、自由な社会への効果的な参加を可能とすることを目的とし、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みのことです。

（※２）発達障害の可能性のある児童生徒

平成２４年１２月の文部科学省による「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」により、通常の学級に在籍する児童生徒のうちの６．５％に発達障害の可能性があると公表されています。

（※３）授業のユニバーサルデザイン化

障害のある子にとっては、ないと困る支援、障害のない子にとっては、あると便利な支援の工夫をし、どの子にも学ぶ喜び、分かる楽しさを感じさせる授業づくりを行うことです。

（※４）特別支援教育コーディネーター

校内の「特別支援教育」を推進するために、各校に配置されることが義務づけられています。学校内の関係者や関係機関との連絡・調整、保護者に対する学校の相談窓口、校内支援体制づくりのまとめ役、担任の先生方の支援、校内研修の企画や運営などを行います。

（※５）通級指導教室

比較的軽度な障害がある児童生徒に、障害の状態に応じた指導を通級で行う教室のことです。

（※６）特別支援学校のセンター的機能

特別支援学校が、幼児児童生徒や教員の相談・支援・情報提供等を行うことです。

7 キャリア教育（※1）

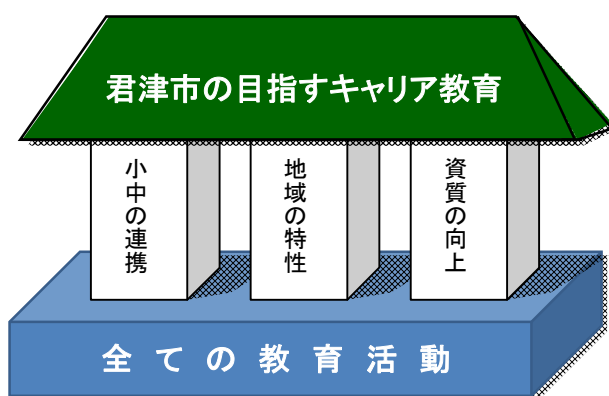
（１）目 標

子どもの郷土愛を育む中で、勤労観・職業観を身に付けさせ、社会で自立し、働くことを通じて社会に貢献できるように発達段階に応じたキャリア教育を推進します。

（２）キャリア教育拠点校について

ふるさと君津に誇りと愛着を持ち、社会人・職業人として自己実現を図るために必要な、望ましい勤労観・職業観の育成を目指します。以下の３点に力を入れた教育課程を編成します。

- ① 小中一貫したカリキュラムによる学びの連続性・一貫性により、効果的な学習を目指します。
- ② 地域の特性を生かしたキャリア教育を実践する中で、ふるさと君津に誇りと愛着を育む実践を展開します。
- ③ 職場体験学習やボランティア活動等、児童生徒が直接社会に関わる機会を設け、社会で必要とされる能力・態度・資質を身に付けさせる教育の充実を図ります。



君津市版キャリア教育イメージ図

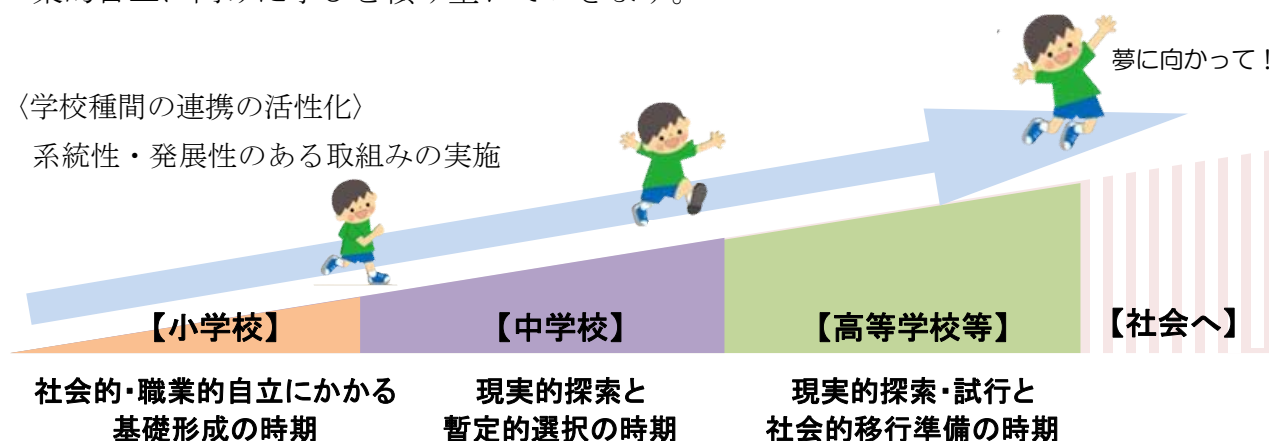
（３）具体的内容

- ① 一貫性のある連続した取組みで社会的自立を支援します。

学年間または学校種間の移行を円滑に行い、連携・接続を図ることで社会的・職業的自立に向けた学びを積み重ねていきます。

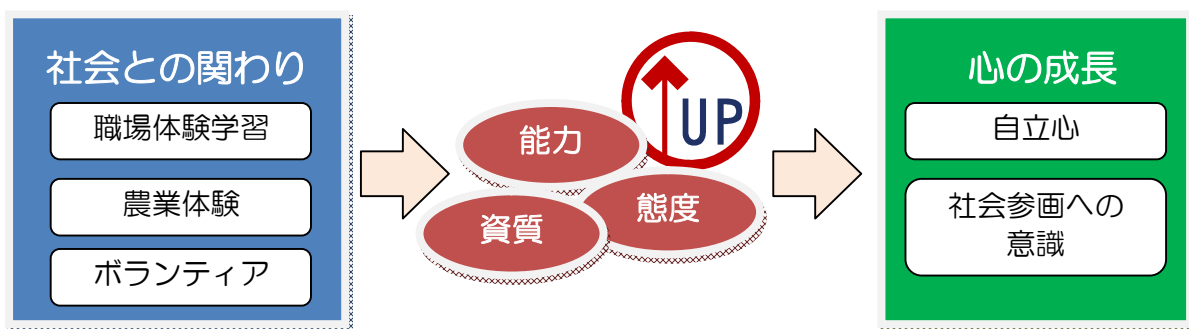
〈学校種間の連携の活性化〉

系統性・発展性のある取組みの実施



② 職場体験学習などで、社会との関わりを持たせる中で、自立と社会参加の意識を育てます。

- ・地域の産業を生かした職場体験学習や職場見学の充実を図ります。
- ・各種体験で得た達成感を、振り返り活動等で深化し、自信・意欲へつなげることでキャリア発達(※2)を促します。



③ 地域の教育力を生かした教育を実践します。

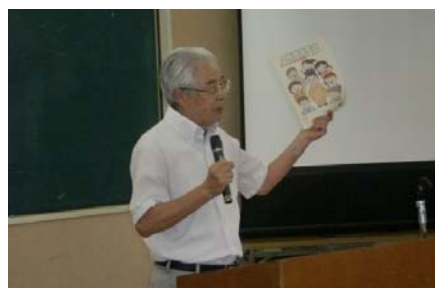
- ・高校などの異校種との連携による教育実践の充実を図ります。

- ・植物の栽培
- ・園芸講座
- ・介護体験
- ・工作教室
- ・英語教室
- ・PC学習 など



小中高連携農業体験

- ・学習の理解をより深めるためにゲストティーチャー(※3)による授業を行います。



-
-
- ・ 伝統文化や産業など、地域の学習素材を生かした教育の充実を図ります。

- ＊ 地域に伝わる伝統芸能についての学習
- ＊ 地域の産業についての学習および体験



- ④ 全ての教育活動において、ソーシャルスキル(※4)や高い倫理観を身に付けさせるなど、キャリア教育の視点に立った取組みの充実を図ります。

- ・ アクティブ・ラーニング(※5)の視点を取り入れた授業の展開

- ＊ 様々なテーマについて、児童生徒が、主体的に学習する中で、課題対応能力を養ったり、社会の仕組みを学んだりします。

(例) 「地域の広報誌をつくろう」
「君津の特産品を開発しよう」など

- ・ コミュニケーション能力の育成

- ＊ ソーシャルスキルトレーニングの充実を図ります。

(講師…子どもと親のサポートセンター、NPO法人 等)

- ＊ 「豊かな人間関係づくり実践プログラム(※6)」を意図的・計画的に実施します。

- ・ キャリア教育の視点からの整理

- ＊ 全ての教育活動をキャリア教育の視点から整理し効果的な学習を展開します。

(4) 配置計画

- ・ キャリア教育拠点校を指定します。(2～3中学校区程度)

(※1) キャリア教育

社会で暮らすための、生きる力を育むことに直結した学習のことです。職業に関することなども扱うので自立のための教育だと言えます。

(※2) キャリア発達

社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことです。

(※3) ゲストティーチャー

指導者として特別に学校に招いた一般の方のことです。

(※4) ソーシャルスキル

社会の中で他人と交わり、共に生活していくために必要な能力のことです。

(※5) アクティブ・ラーニング

教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学習者の能動的な学習への参加を取り入れた学習法のことです。

(※6) 豊かな人間関係づくり実践プログラム

県教育委員会で、道徳性を高める実践的人間教育を推進するために開発されたより良い人間関係を築いていくための教材のことです。

8 スポーツ教育

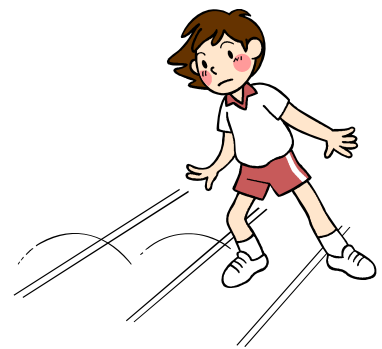
(1) 目 標

学校の教育活動全体を通じて体育・健康に関する指導の充実を図り、生涯にわたって積極的に運動やスポーツに親しむ資質や能力を育むとともに、健康の保持増進のための実践力を育成するスポーツ教育を推進します。

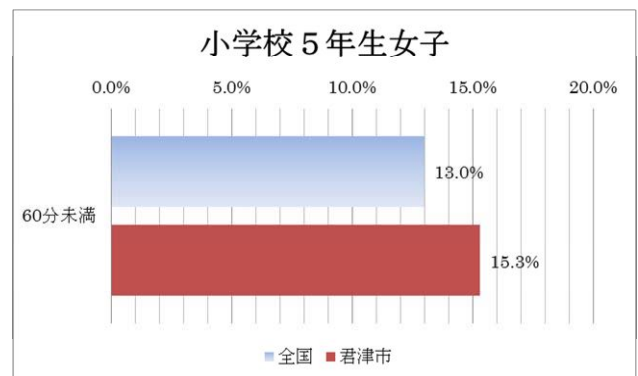
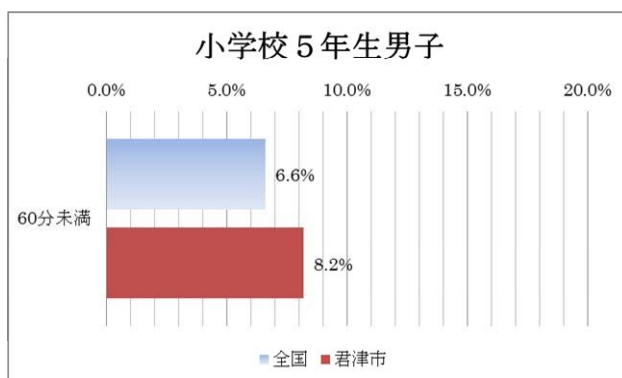
君津市では、「健康的な生活習慣を身に付け、心身ともに健やかな体をつくる君津っ子」の育成に向け、様々な事業を実施してきました。その結果、市内児童生徒の体力の状況は全国・県と比較しても高いレベルを維持することができています。

しかし、比較可能な種目を昭和60年の全国平均記録と比較をすると、まだまだ下回っている種目が多く、特に投力については、低下傾向に歯止めがかかっていない状況です。（※1）

また、小学校においては、1週間の総運動量（体育の授業以外）が60分に満たない児童の割合が全国平均を上回るなど、運動をする子としない子の二極化傾向が解消されていない現状も見受けられます。



1 週間の運動量（体育の授業以外）



このような課題の解消に向けて、スポーツ教育推進拠点校を指定し、その成果を広めることで、本市のスポーツ教育を推進します。



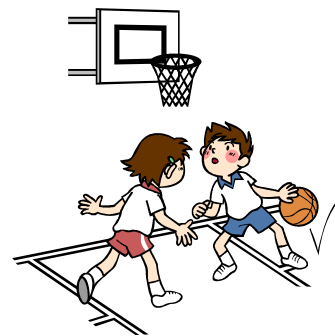
(2) スポーツ教育推進拠点校

スポーツ教育推進拠点校では、スポーツ基本法の理念(※2)を生かすとともに、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックとも関連性を持たせながら、生涯にわたって積極的に運動やスポーツに親しむ資質や能力を育てます。体育科・保健体育科の時間はもとより、関連の教科、道徳、特別活動や総合的な学習の時間のほか、学校行事の健康安全・体育的行事や、児童生徒が自発的・自主的に参加する運動部活動なども含めた、学校の教育活動全体を通じてスポーツ教育を推進します。

- ① 運動やスポーツの持つ意義を正しく理解させ、その楽しさを味わわせるとともに生活の重要な一部として積極的に取り組む児童生徒を育てます。
- ② 「適切な運動」「調和のとれた栄養」「十分な休養・睡眠」の関連を図った指導を推進し、生涯にわたって望ましい生活習慣を実践する資質を養います。
- ③ 児童生徒の体力や健康状態等を的確に把握し、家庭・地域及び関係機関等との連携を図りながら、組織力を生かした計画的・継続的な実践を推進します。

(3) 具体的内容

- ① 体育専科教員や体育主任のリーダーシップのもと、校内研修体制を確立し、体力向上や生活習慣の確立に向けた組織的な取組みを推進します。
- ② 小・中学校の連携を強化し、体力面・健康面の課題を共有するとともに、9年間の系統性を確保した指導に努めます。
- ③ 学校体育活動指導補助者を積極的に活用し、より安全で効率のよい体育授業や専門性の高い運動部活動を実施します。
- ④ 小中一貫教育校においては、小学校高学年から、中学校保健体育科教員による専門性の高い体育授業や段階的な運動部活動の導入を検討します。
- ⑤ 共同調理場や千葉医療福祉専門学校など、関係諸機関との連携を密にし、健康の保持増進のための実践力を育みます。



(4) 配置計画

- ・スポーツ教育推進拠点校を指定します。(1～2校程度)

(※1) 平成24年3月に策定された、国のスポーツ基本計画では、今後10年以内に子どもの体力が昭和60年頃の水準を上回ることを目標に掲げています。

(※2) スポーツ基本法の理念(スポーツ基本法 第二条の2)

「スポーツは、とりわけ心身の成長の過程にある青少年のスポーツが、体力を向上させ、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培う等人格の形成に大きな影響を及ぼすものであり、国民の生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎となるものであるとの認識のもとに、学校、スポーツ団体、家庭及び地域における活動の相互の連携を図りながら、推進されなければならない。」と示されています。

9 周西幼稚園の今後（幼児教育・保育のあり方）

（１） 目 標

将来を見据え、子どもたちの成長に望ましい環境のもと、効果的な教育を享受できるよう、幼児教育・保育の充実、振興を図ります。

（２） 現状と課題

幼児期は、集団活動や遊びを通して、自立や共同の精神を芽生えさせ、生きる力を育む重要な時期です。しかしながら、急激な少子化に伴い幼児人口は減少しており、幼稚園では望ましい教育的効果が期待できる集団規模の確保が課題となっています。

さらに、市立幼稚園にも３年保育や預かり保育、バス送迎の実施などが求められている現状と私立幼稚園との共存、安全・安心な教育環境の確保、障害のある子への支援のあり方を踏まえながら、就学前児童の教育・保育の振興を図る必要があります。

（３） これまでの経緯

社会情勢の変容により周西幼稚園が直面する様々な課題を踏まえ、全庁的な協議をはじめ、保護者・地元住民との意見交換や、学校再編有識者会議での意見、教育委員会会議における検討を経て、平成２９年度の園児募集の一時休止を決定し、今後、学校再編の枠組みにおいて、君津市の幼児教育・保育のあり方について、具体的な方策を検討することとしました。

（４） 再編のスケジュール

適正な教育環境の整備について、全庁的に、多角的な視点から検討を進めます。子育て部門との協議を深め、君津市に求められる幼児教育・保育のあり方について検討するとともに、保護者や市民の方々と丁寧な協議を重ねながら、具体的な実施プログラムを作成します。

Ⅳ 資料編

- 【資料 1】 君津市学校再編基本計画策定までの経過と市民参加の状況
- 【資料 2】 君津市学校再編有識者会議設置要綱
- 【資料 3】 君津市学校再編有識者会議委員名簿
- 【資料 4】 君津市学校再編有識者会議委員意見概要
- 【資料 5】 君津市小・中学校の適正規模等に関する意識調査概要
- 【資料 6】 君津市立小・中学校児童生徒数と学校数の推移
- 【資料 7】 各学校個票
- 【資料 8】 君津市内中学校部活動数
- 【資料 9】 君津市教科担任講師配置及び免許外申請にて対応している学校一覧
- 【資料10】 君津市小学校区
- 【資料11】 君津地区小学校区

君津市学校再編基本計画 策定までの経過

年度	開催日	会 議 等
25	2月17日	第1回君津市学校教育環境整備検討委員会
26	6月11日	第2回君津市学校教育環境整備検討委員会
	7月9日	第3回君津市学校教育環境整備検討委員会
	11月5日	第4回君津市学校教育環境整備検討委員会
	1月22日 ～1月30日	君津市小・中学校の適正規模等に関するアンケート調査 ①
	3月11日	第5回君津市学校教育環境整備検討委員会
	3月27日	第6回君津市学校教育環境整備検討委員会
27	5月28日	第7回君津市学校教育環境整備検討委員会
	8月26日	第1回君津市学校再編有識者会議
	9月11日	第8回君津市学校教育環境整備検討委員会
	9月18日	第2回君津市学校再編有識者会議
	10月14日	第3回君津市学校再編有識者会議
	10月27日 ～11月19日	第1回君津市学校再編地区説明会
	11月25日	第4回君津市学校再編有識者会議
	12月18日	君津市中学校合同生徒会 全体研修会 テーマ「君津市のこれからの学校について考える」
	12月21日 ～1月11日	君津市小・中学校の適正規模等に関するアンケート調査 ②
	12月22日	第5回君津市学校再編有識者会議
	1月24日 ～2月14日	第2回君津市学校再編地区説明会
	2月3日 ～3月3日	意見公募（パブリックコメント）

市民参加の状況

君津市学校再編有識者会議	開催期間：平成27年8月26日～12月22日
	開催回数：5回
第1回 君津市学校再編地区説明会	開催期間：平成27年10月27日～11月19日
	内 容：君津市学校再編基本方針について 質疑応答、意見交換
	会 場：各中学校、公民館ほか（延べ11会場）
	参加人数：811人
第2回 君津市学校再編地区説明会	開催期間：平成28年1月24日～平成28年2月14日
	内 容：君津市学校再編基本計画について 質疑応答、意見交換
	会 場：各中学校、公民館ほか（延べ11会場）
	参加人数：702人
意見公募 （パブリックコメント）	実施期間：平成28年2月3日～3月3日
	意 見 数：86件（提出者数83人）
君津市小・中学校の適正規模 等に関するアンケート調査①	調査期間：平成27年1月22日～1月30日
	調査対象：君津市立小・中学校、幼稚園、保育園 全児童生徒・園児の保護者
	調査内容：学校、学級規模等に関する質問紙調査（選択肢と 自由記述）。無記名方式。
	回収票数：4,950票
君津市小・中学校の適正規模 等に関するアンケート調査②	調査期間：平成27年12月21日～平成28年1月11日
	調査対象：君津市立小・中学校、幼稚園、保育園 全児童生徒・園児の保護者 君津市在住私立幼稚園・保育園児の保護者
	調査内容：学校、学級規模等に関する質問紙調査（選択肢と 自由記述）。無記名方式。
	回収票数：4,812票

君津市学校再編有識者会議設置要綱

(目的及び設置)

第1条 少子化により学校の過度の小規模化が懸念されている中、学校の適正規模・適正配置を目指して、学校の統合、通学区域の見直し、新しいタイプの学校への転換等を視野に入れた学校再編について意見を伺うために学校再編有識者会議（以下「会議」）を設置する。

(所掌事項)

第2条 会議は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 学校の適正規模・適正配置に関すること。
- (2) 学校の統合に関すること。
- (3) 通学区域の見直しに関すること。
- (4) 新しいタイプの学校・カリキュラムの検討に関すること。
- (5) 前号に掲げるもののほか、会議で必要と認める事項

(組織)

第3条 会議は、15名以内の委員をもって組織する。

2 委員は次に掲げる者のうちから、君津市教育委員会（以下「教育委員会」）が委嘱、または任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 地域関係者
- (3) 教育関係者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は平成28年3月31日までとする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(座長)

第5条 会議に、座長を置く。

- 2 座長は、委員の互選により定める。
- 3 座長は、会議を代表し、会議を統括する。
- 4 座長に事故あるときは、あらかじめ座長の指名する委員がその職務を代理する。

(招集及び議事)

第6条 会議は、座長が招集する。

2 座長は、会議の議長となる。

3 会議は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

4 会議は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対し、意見の陳述、説明その他の必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第7条 会議の事務局は、教育総務課及び学校教育課が共同して行う。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、会議の組織及び運営に関し必要な事項は、座長が定める。

附 則

この要綱は、平成27年8月1日から施行する。

資料 3

君津市学校再編有識者会議委員名簿

	選出 分野	団 体 名 等	名 前	性別
1	(1)	生涯学習推進協議会	原 実義	男
2	(1)	君津商工会議所 君津青年経営研究会	三幣 政紀	男
3	(2)	君津地区自治会連合協議会	舘本 良司	男
4	(2)	小糸地区自治会連絡協議会	玉川 幹雄	男
5	(2)	清和地区自治会連絡協議会	高橋 新一	男
6	(2)	小櫃地区自治会連絡協議会	長谷川 勝之	男
7	(2)	上総地区自治会連絡協議会	鵜田 邦朗	男
8	(3)	君津市校長会	藤平 智恵子	女
9	(3)	君津市教職員組合	伊藤 亮	男
10	(3)	千葉県立君津特別支援学校代表	高須 富貴子	女
11	(3)	君津市PTA連絡協議会代表	鳥海 一茂	男
12	(3)	君津市PTA連絡協議会代表	吉岡 美穂	女

選出区分 君津市学校再編有識者会議設置要綱第3条第2項

- (1) 学識経験者 2名
- (2) 地域関係者 5名
- (3) 教育関係者 5名

君津市学校再編有識者会議委員意見概要

第1回学校再編有識者会議

日時：平成27年8月26日 午後3時00分

場所：君津市生涯学習交流センター 2階 201会議室

- ・ 小さい学校のいい面もあるが、様々な問題を自力で解決する力をつけるには、ある程度の規模の学校に通わせたいという声が多くある。
- ・ 地域住民に対する丁寧な説明というのが大切であり、このように進めていこうというこの市の姿勢は大事だと考える。
- ・ 小規模校の部活動では誰もがレギュラーで市の大会に出て、あっさり負けているのが現状。学校の中で競争がないと、子どもにとって教育上よくないと思う。
- ・ 中学生は200名位が適当だと思う。上総地区でいうと、交通の面においてもいずれは亀山・久留里・小櫃・松丘の4校で統合したほうがいいのでは、と希望を含めて思う。
- ・ 貞元地区は学校までの距離が遠く、陸上大会等があると帰宅が17時過ぎになることもある。冬は暗く集団下校でも危ないと感じるので、通学距離の観点からも考えてほしい。
- ・ 中学校は人数を増やしてほしいという意見もあれば、小学校は子どもの年齢のこともありできるだけ残してほしいという意見もある。進めるにあたっては、教育現場の意見も丁寧に聞いてもらいたい。
- ・ 現在、周西南中と周西小は一小一中だが、実は貞元小の方が周西南中に近い。市街地で児童生徒が減少している学校もあるが、学区の柔軟な見直しにより対応できる部分もあるのではないかな。
- ・ 統合を行った場合、地域交通やスクールバスなども必要となり、逆に街づくりを見直すチャンスでもあると思う。
- ・ 今まで作り上げてきた学校と文化の名前が消えてしまうのが心配である。
- ・ 教育的な内容も検討するのであれば教育現場の専門的な知識を持つ教員を入れてほしい。
- ・ 下校時の久留里線がなくなったことで、1時間20分かけて帰る子がいる。学区、学校再編は、子どもの安全を守ることを基本に考えていかなければならない。
- ・ 学校は防災拠点として、地域の命を守る場所であるということも大切な視点である。
- ・ 我々自治会が先頭になって説明しなければいけないことも色々あると思うが、切磋琢磨、緊張感、クラブ活動などの面からみても、子どもたちの教育のためには、適正規模の学校がどうしても必要だと思うので、教育委員会としても大いに進めてほしい。
- ・ 適正規模以上の中学校で、ある程度部活動などの選択ができ、切磋琢磨して社会性を身に付けられるような環境で過ごさせてあげたい。
- ・ 統合して久留里線を通学に利用すれば、相乗効果により学校と地域が活性化するのでいいと思う。色々な方面から検討を加えて、丁寧な説明あるいは意見交換という時間が必要だと考える。

第2回学校再編有識者会議

日時：平成27年9月18日 午後3時00分

場所：君津市生涯学習交流センター 2階 201会議室

- ・ 基本方針は大枠を決めるものであるから、細かい例を載せすぎてしまうと、それに縛られてしまいがちになり、議論の筋がそれてしまう恐れもある。再編メニューの細かい例については、マスタープランでより詳しく精査していった方がよいのではないか。
- ・ 地元の保護者から、アンケートを取ってほしい、との意見があった。
- ・ コミュニティ・スクール、インクルーシブ教育など色々な案が示されているが、内容、形態、運営形態、柱が誰か、等、詳細な説明がないとちょっと分かりづらいと思う。
- ・ 地域住民は各論である。総論を言っても、住民や保護者の方々の目は向かないのではないか。
- ・ 保護者の方々には、人数の増えない学校の中でやってくのは厳しい、統合は当たり前だという考えの人が意外に多い。
- ・ 北子安小学校は、全部の敷地が借地という話を聞く。金銭的なことも考えてトータル的に論じていた方が、ベターではないかと思う。
- ・ 地域の優秀な子が地域で活躍するような教育も考えてほしい。
- ・ 学校再編に関し、十人十色の意見の中で、ひとつの方法をまとめていくのは困難だが、方向性をきちんと出していくという教育委員会の姿勢はとても大事だと思う。
- ・ 児童生徒が減っている中で、君津特別支援学校では昭和54年の開校以来、生徒が増え続けている。敷地が狭く、教室もとても少ないという現状を知ってほしい。
- ・ （周西幼稚園について）現状、耐震性で問題があるのなら、安全面を考えても、存続は無理なのではないか。市としては、子どもの安全をまず考えて、存続できないものはできないという方に努めていった方が良いと思う。



第3回学校再編有識者会議

日時：平成27年10月14日 午後3時00分

場所：君津市役所 5階大会議室

- ・ 学校再編を適正な規模で行うと、相当広い範囲で統合することが予想され、スクールバスなどが必要になると思う。
- ・ 学校は地域の交流の場所であることも確かだが、子どもたちに十分な教育を受けさせることが一番の目的である。十分な説明は必要だが、再編については大いに進めてもらいたい。
- ・ 現在、財政状態が大変厳しいと聞くが、子どもは地域の宝であるから、新しい学校づくりには十分な資本投下を行ってもらいたい。
- ・ 通学の負担を少しでも軽減するため、統合後の新たな教育の場は、少なくとも最寄りの交通機関から近いところに作るべきだと思う。
- ・ 上総のほうで小中一貫校にしても、単一にやっても適正な規模にならないので、小櫃・上総地区の小学校4校を集めた400人、450人規模で進めていただきたい。
- ・ 小櫃小も全棟耐震工事が終わっている。新たに学校をつくるのではなく、十分な規模の既存の学校を使って進めてもらいたい。新たにまた何かやると、借金が増えて、子どもたちの負担になる。
- ・ 単純に人数合わせでやるのではなく、地域性や子どもたちの環境等々にも配慮をしてほしい。
- ・ 財政が苦しい状況であれば、なるべくなら文化的にも金銭的にも活用ができる方法を視野に入れて計画を立てていかれたらどうかと思う。
- ・ （学校再編では）適正規模をまず満たし、また小中一貫校は一体型が一番良いと思う。既存の学校を利用できれば越したことがないが、より通学の利便性や安全性が確保できる大きい敷地等があれば、そこに全く新しいものを作って進めていくのもよいと思う。
- ・ 上総地区のほうは一体型は難しく隣接型になるかと思う。小中一貫校で9学年となると、一つのプールではなかなか授業も進められないし、一つである必要は特にないと思う。
- ・ 隣接型で小中が一緒になれば中一ギャップはなくなっていくのではないかな。
- ・ もともと人口が増え、児童数が増えて学校を増やしていった。その原点に立ち返ってみれば、たとえば北子安小ができる前は南子安小に通っていたと思うので、北子安小と南子安小の統合とか、そういうのも大いに考えてみる価値があるのではないかな。
- ・ （キャリア教育について）先日ある高校の学習発表会があり、基礎学力だけでなく、より社会に出てからの実践的なことを学んだという発表があり、自分が高校のころに経験したものと比べるとずいぶん良くなっていると感じた。それを更にもっと低学年でやっていこうというのは、非常にいいことではないかと思った。

第4回学校再編有識者会議

日時：平成27年11月25日 午後3時00分

場所：君津市生涯学習交流センター 2階 201会議室

- ・ 過日の視察で（小学校）1年生だと思うが、英語の授業を一生懸命やっていて感激した。
- ・ 地区説明会について、子育て世代の意見を聞けるように時間帯や曜日を変えたり、インターネットなど様々なかたちで色々な方からの意見を聞いていただけるとよいと思う。
- ・ 地域の活性化と学校再編の両立を十分考慮していただきたい。
- ・ 地区説明会について、あらかじめ説明会の日程や場所等を知らせていただければ、自治会連絡協議会の組織を以って、より周知することができると思う。
- ・ 小さいお子さんをお持ちの家庭、保育園などの保護者にも地区説明会の日程を知らせてほしいという声があった。もう一度、周知の方法を見直す必要があるのではないかなと思う。
- ・ 特色ある教育を進めていく中で、学校の活性化を図る。ぜひ教育委員会で、校長の意見等も聞きながら、推進していただきたい。
- ・ （基本計画案について）通学距離の目標に具体的な数字をあげてしまうと、それに縛られてしまうのではないかな。
- ・ 今後、カリキュラムの中に、ボランティア活動のようなことを積極的に取り入れていくほうが良いのではないかな。全世界的に見ても非常に重要なことであると感じるし、市の教育大綱にも「人を思いやる心」という部分がある。大きな災害等が予想される中で、小学校高学年から中学校にかけては、ぜひ、ボランティア教育を何らかの形で盛り込んでいくことが必要ではないかなと考える。
- ・ 最近、小・中・高まで統一した教育体系や、英語やスポーツに特色を持たせた学校など、教育に関するニュースがたくさん耳に入る。そういった時代の流れ、先に進んでいくことも非常に大事だと思うので、後戻りしないよう前向きな考えで進めていただきたい。
- ・ （基本計画案について）小規模校のデメリットの中で、学校行事等で卒業アルバムや修学旅行などの保護者の負担についての部分だが、大規模校でも負担金があるので、金額の多寡がどうかというのは削除したほうが良いのではないかな。
- ・ （基本計画案について）小規模校のデメリットの中で、先生方の一人あたりの校務分掌、出張回数の負担が大きいという部分については、校務分掌、出張回数の負担が大きく児童生徒の指導にあてる時間が少ない、と子どもの視点に立った表記のほうが適切ではないかな。
- ・ （この学校にはこのシステムでやっていく、という考え方はおかしい。子どもの教育は平等・公平にやってもらいたいので逆に特色を出さないでほしい、という委員からの意見に、特色を持たせる学校とは、その成果を市内の全児童生徒に対して発信していくための拠点校である、と事務局が説明したことに対して）タイトルだけを読むと、何となくその学校だけが（そのシステムでやっていく）、というようなイメージを受けるので、説明だけはしっかりとお願いしたい。

第5回学校再編有識者会議

日時：平成27年12月22日 午後3時00分

場所：君津市役所 5階大会室

- ・ 木更津や都市部と比べると、この地域は進みが遅く、常に後手に回っているのかな、と思う。調整区域のこともあり、土地はあるがなかなか住みたがる街にならない。もう少し市のほうで考えて、頑張っていただきたい。
- ・ よりよい教育環境を実現していくために、財政状況によって基本的な目標が達成できないことのないようにお願いしたい。
- ・ 英知を絞って、子どもたちに最善の教育ができるような環境をつくることが目標であり一番の方策である。そのときの状況のなかで、ベストな方策をとっていただきたい。
- ・ 通学区域について、地域で画一的に決定するのか、保護者の意向がどの程度斟酌（しんしゃく）されるのか、現実的にはそのあたりが保護者の抱える問題としても多いと思うので、慎重かつ綿密に計画をたてていただきたい。
- ・ 今後は、地域単位で協議会などを設置し、地域の人たちで理想的なあり方を検討しながら教育委員会と話を詰めていく、というようなことも必要ではないかと考える。
- ・ 特色ある学校の配置について、地区の希望や考えを整理し、提案するような手順があってもよいのではないかと。
- ・ 小櫃小も適正規模ではないので、上総・小櫃地区で4校がまとまってほしいと思う。適正規模という考えがまず一番なら、速やかに進めてほしい。
- ・ 地域ごと、色々な考えや問題もあるが、行政の立場として何度もきちんとした説明をする態度が一番大事だと思うので、よろしくをお願いしたい。



資料 5

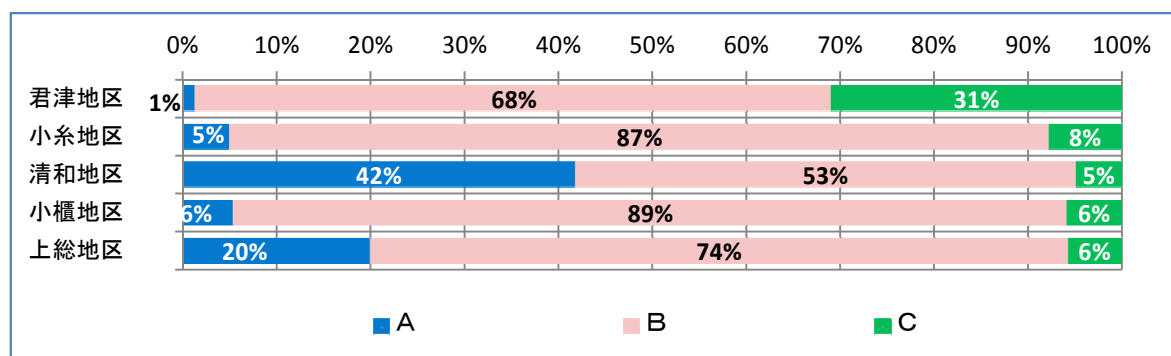
君津市小・中学校の適正規模等に関する意識調査概要

1 平成26年度 学校の適正規模等に関する保護者アンケート

【調査時期】 平成26年12月
 【調査対象】 君津市内全小・中学生の保護者及び年長園児の保護者
 【調査人数】 4,950人
 【調査方法】 マークシート方式

設問1 1学年あたりの学級数は、どの程度が望ましいと思いますか？

A…1学級 B…2～3学級 C…4～5学級

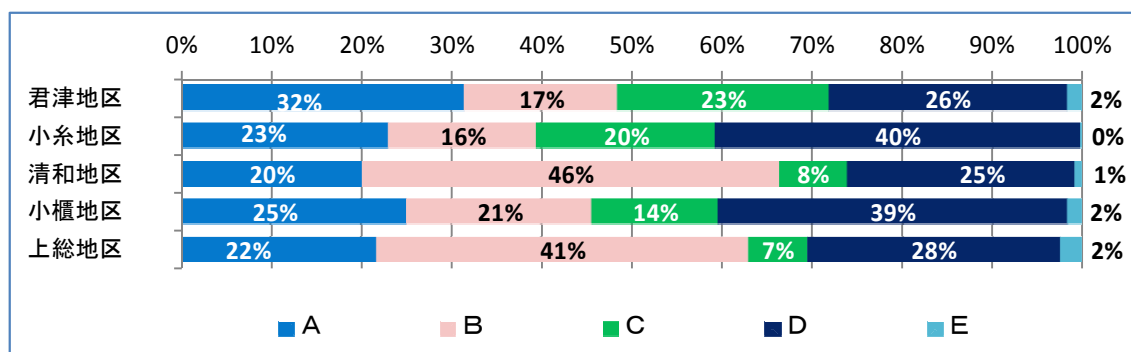


設問2 設問1で選んだ理由として、あなたの考えに近いものはどれですか？3つまで選んで○をつけてください。

- 主な理由
- クラス替えがあり、たくさんの友達ができる
 - 部活、クラブ、運動会等での種目の幅が広がる
 - 競争意識の高まりにより磨き合える
 - 幅広い人間関係づくりができる
 - 社会性・協調性を身につける機会に恵まれる
 - ゆとりのある教育が受けられる

設問3 君津市の小・中学校は、一部の学校を除き、児童生徒数が減少し、小規模化が進んでいくと考えられます。今後の対応であなたの考えに一番近いものはどれですか？

- A…全ての学校を対象に通学区の見直しや統合を検討する
 B…近隣の学校と統合を検討する
 C…通学区の変更をしながら、今までの学校配置を維持する
 D…児童生徒が減少しても、今までの学校配置を維持する
 E…その他



2 平成27年度 学校の適正規模等に関する保護者アンケート

【調査時期】平成27年12月～平成28年1月

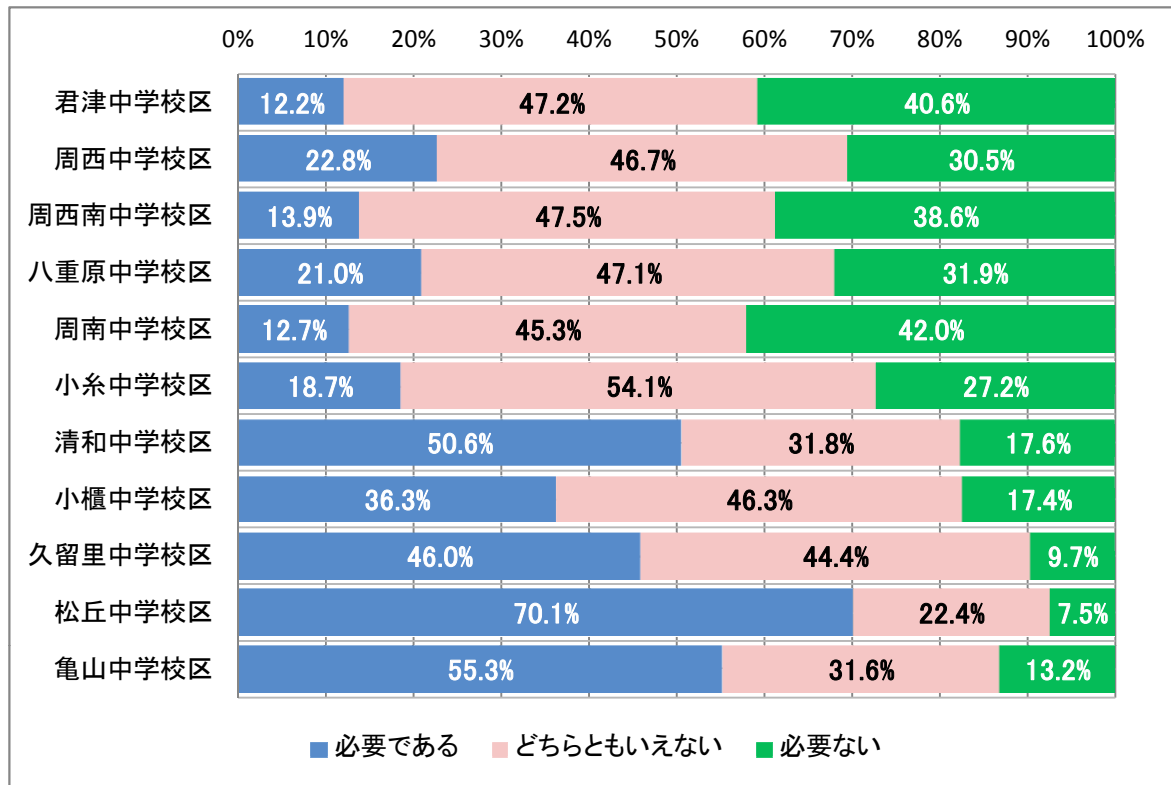
【調査対象】君津市内全小・中学生の保護者及び幼稚園・保育園児の保護者

【調査人数】4,812人

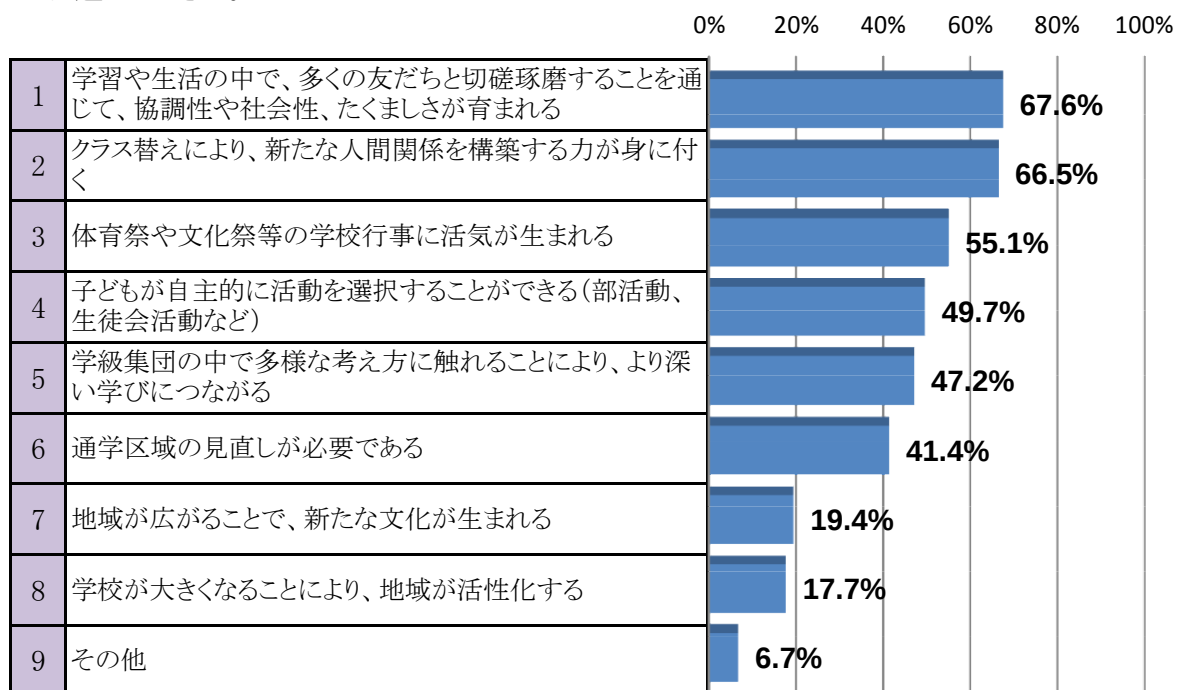
【調査方法】マークシート方式

(1) 小・中学生の保護者への質問

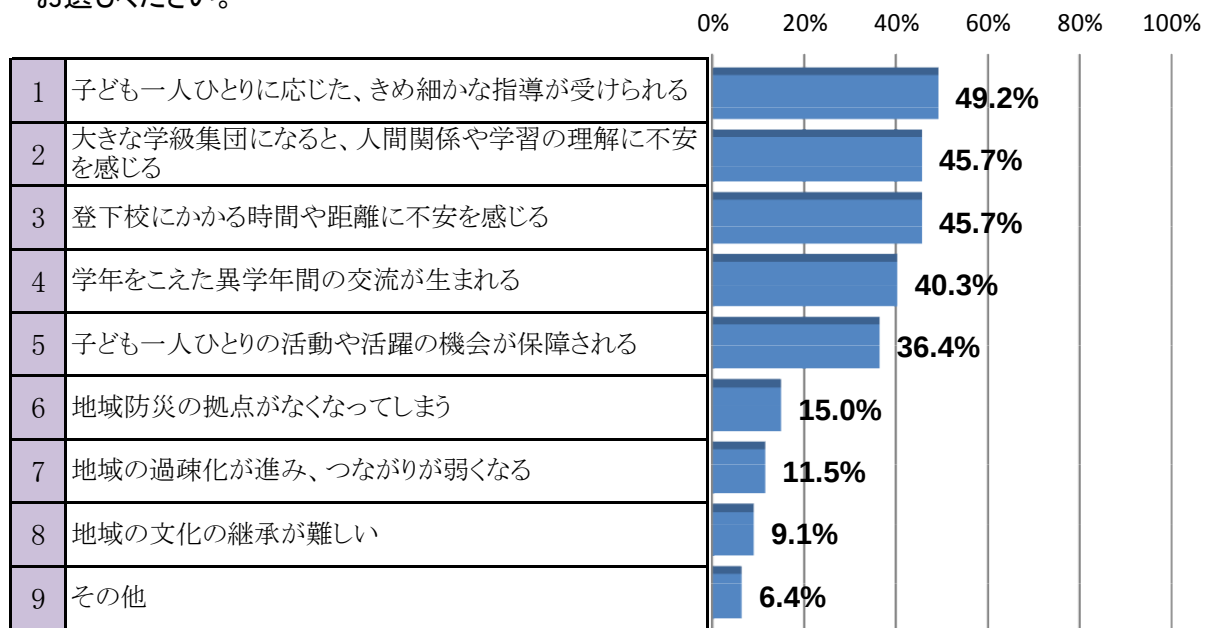
設問1 将来あなたは、お子さんが通っている学校の再編は必要だと思いますか？



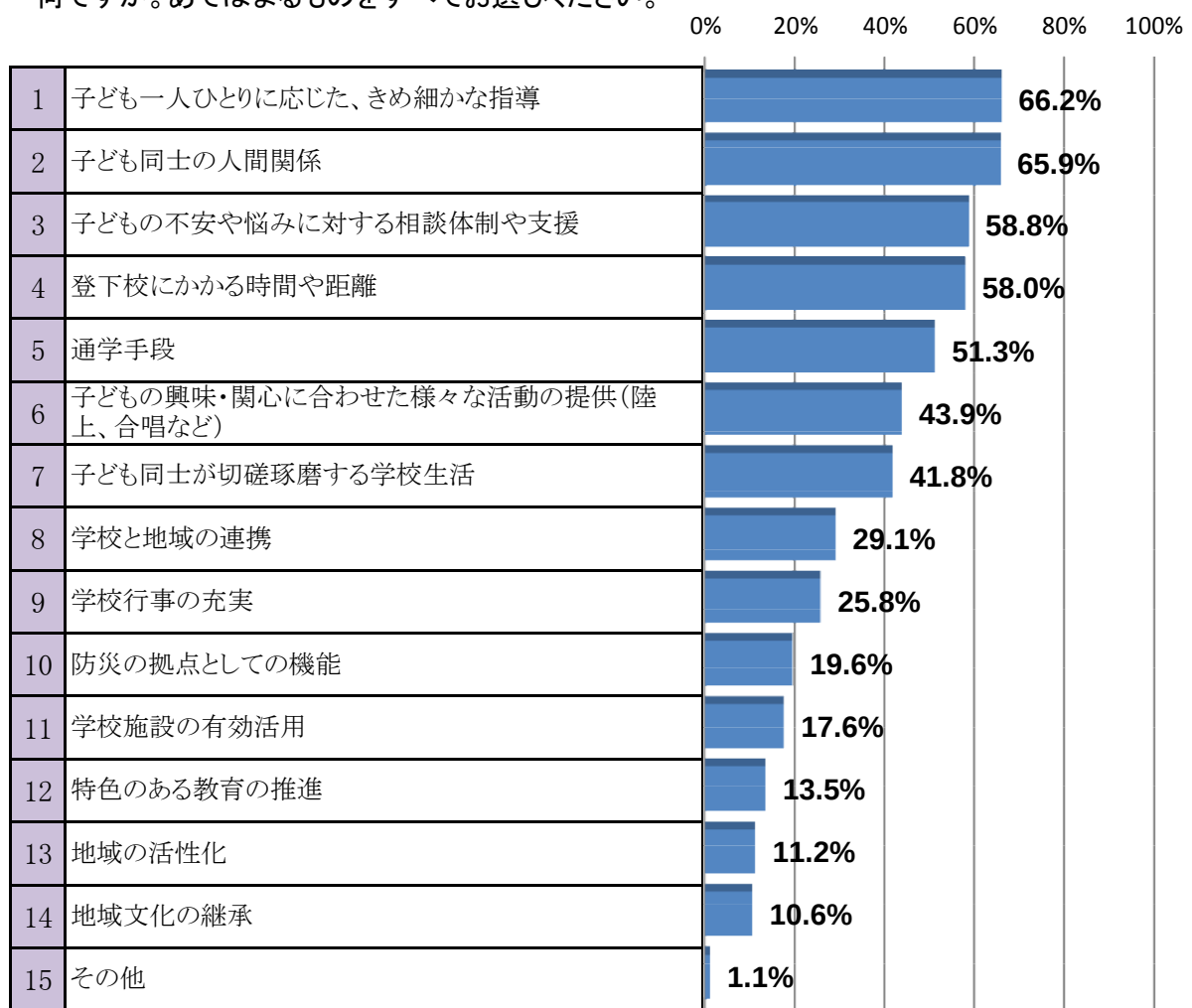
設問2 設問1で「必要である」と答えた方に質問です。選んだ理由として、あてはまるものをすべてお選びください。



設問3 設問1で「必要ない」と答えた方に質問です。選んだ理由として、あてはまるものをすべてお選びください。



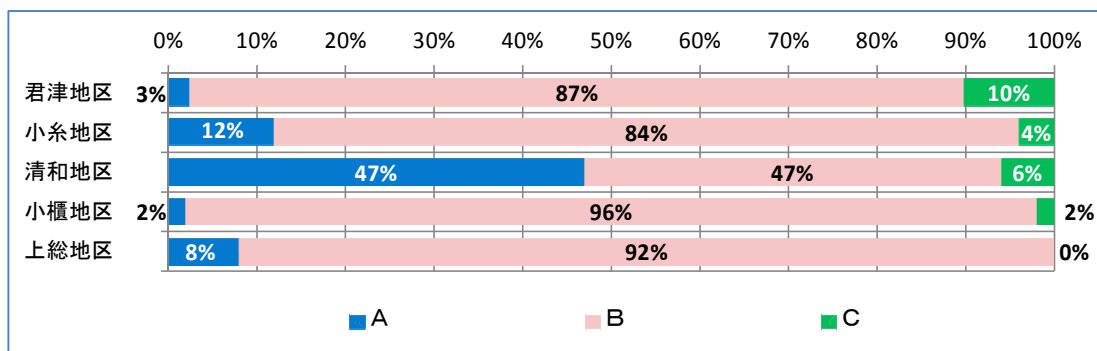
設問4 将来お子さんの通学する学校が統合することになったら、特に配慮して欲しいことは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。



(2) 幼稚園・保育園児の保護者への質問

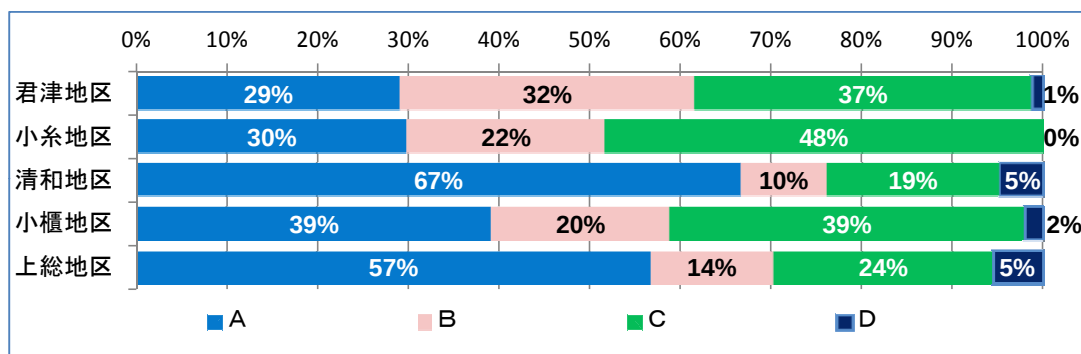
設問1 小学校の1学年あたりの学級数は、どの程度が望ましいと思いますか？

A…1学級 B…2～3学級 C…4～5学級

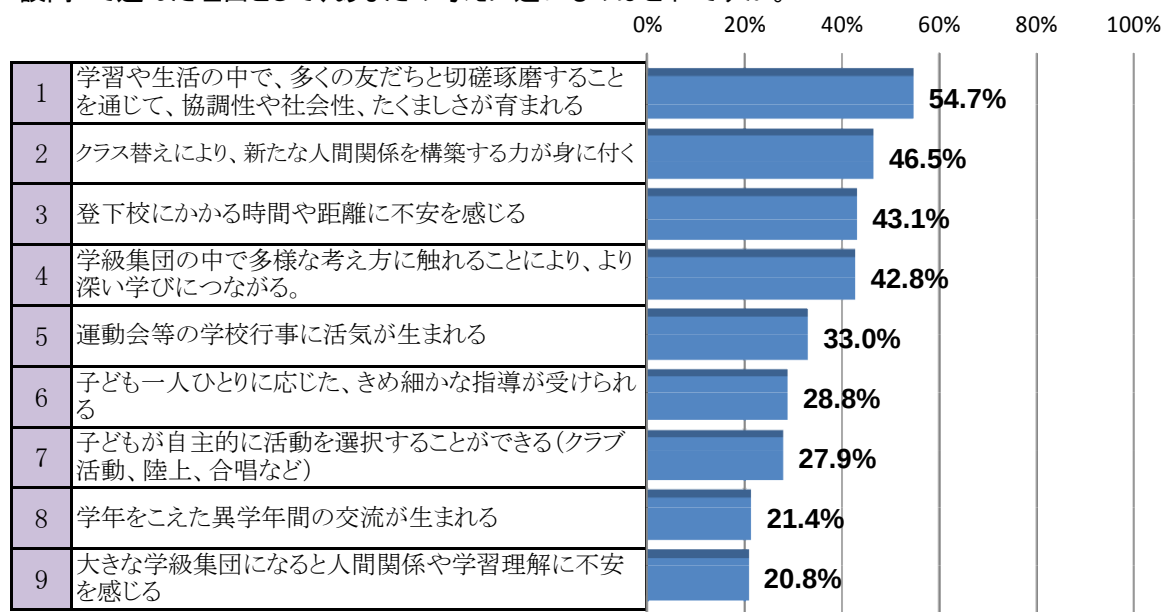


設問2 君津市の小・中学校は、一部の学級を除き、児童生徒数が減少し、小規模化が進んでいます。あなたのお子さんが入学する予定の小学校について、今後の対応であなたの考えに一番近いものは、どれですか？

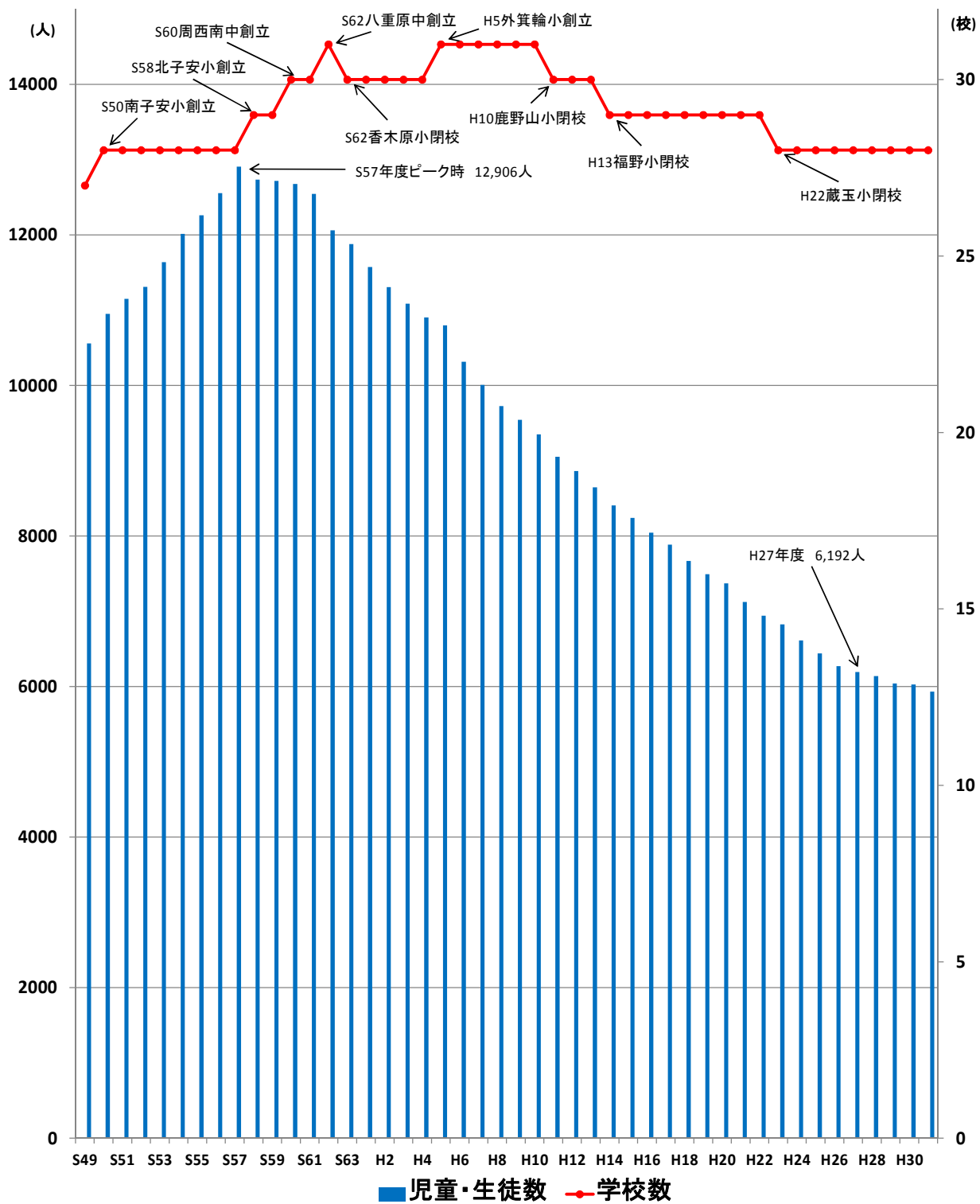
A…近隣の学校と統合する
B…通学区域を変更しながら、今までの学校を維持する
C…児童生徒数が減少しても、今までの学校を維持する
D…その他



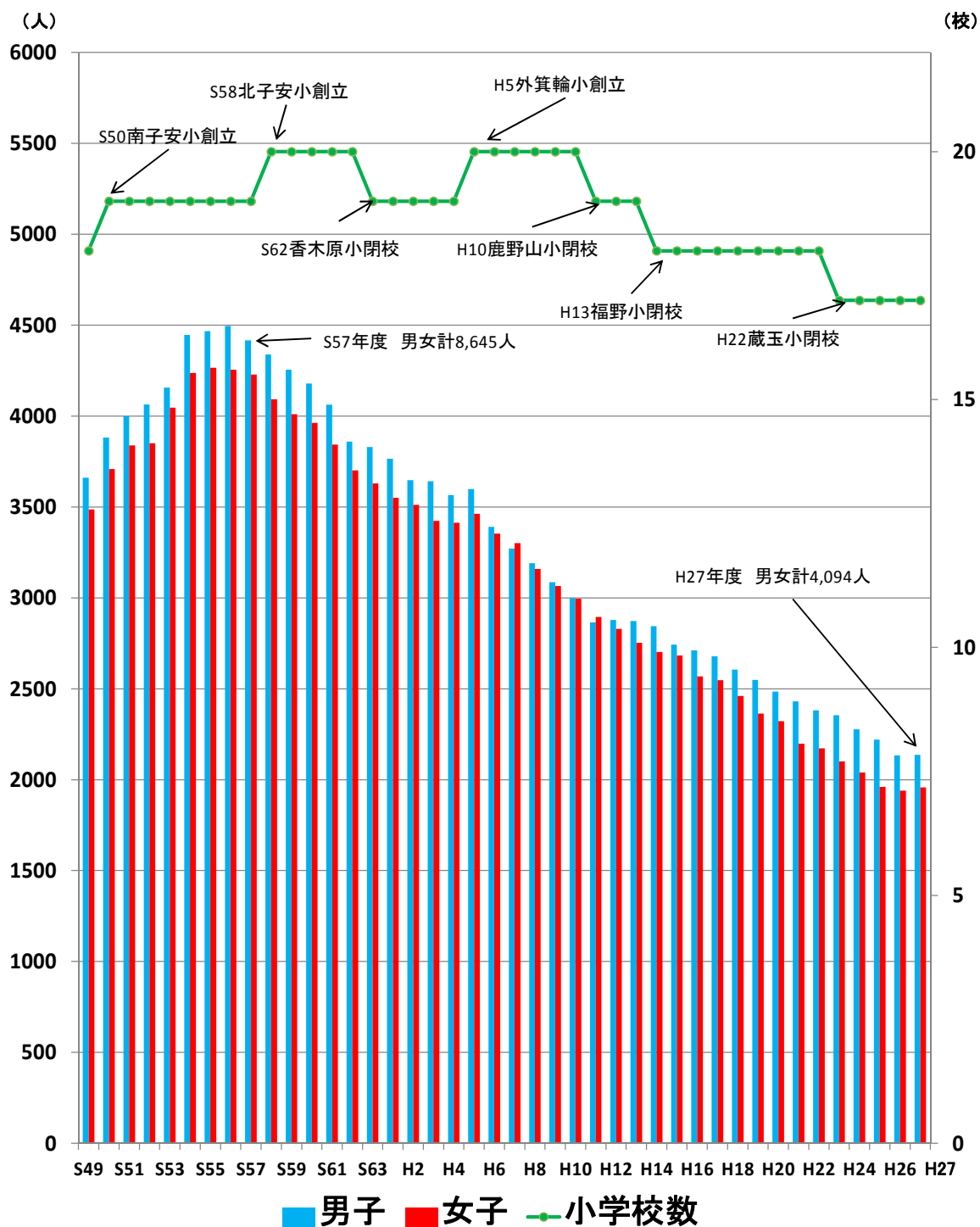
設問3 設問2で選んだ理由として、あなたの考えに近いものはどれですか。



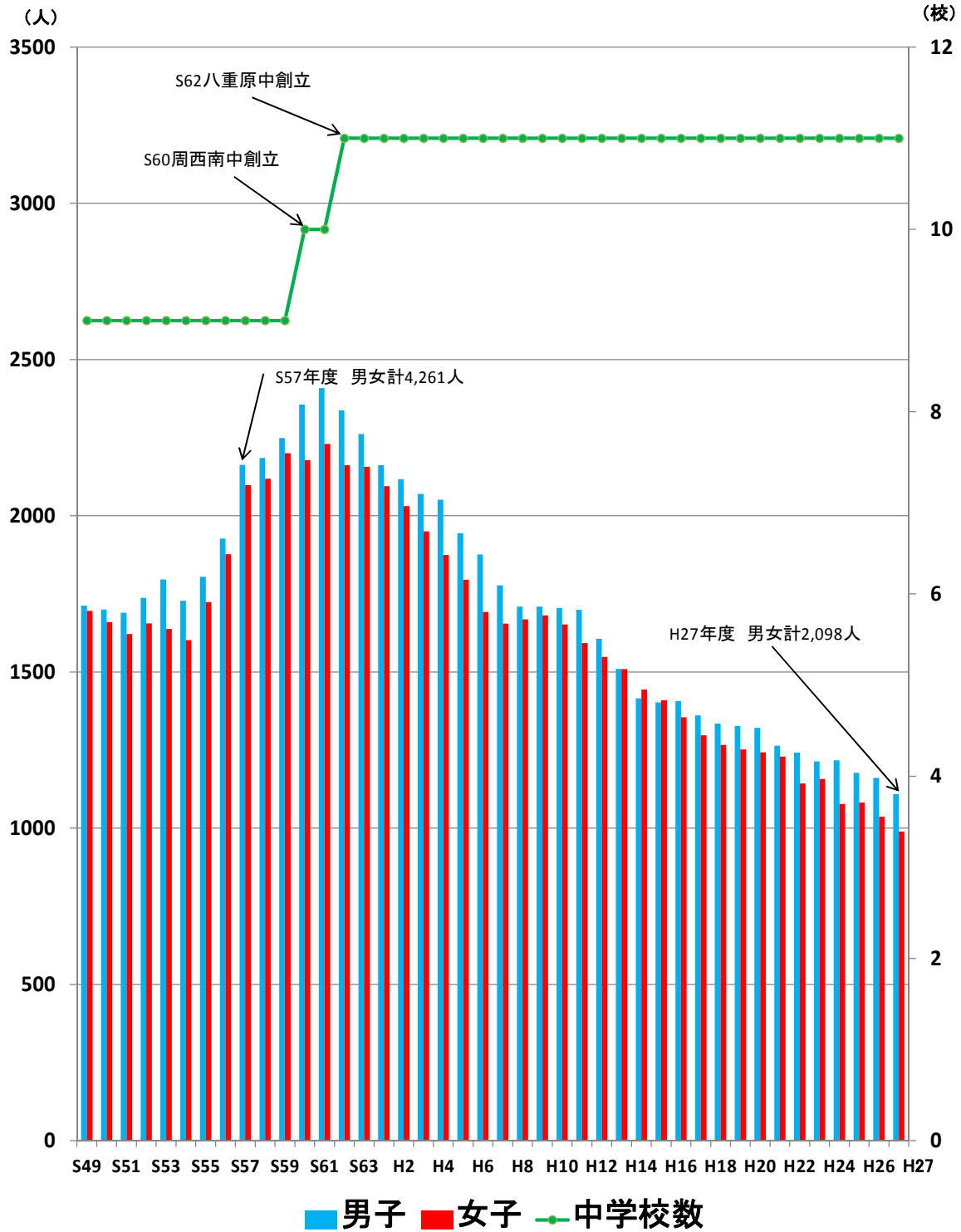
君津市立小・中学校児童生徒数と学校数の推移



君津市立小学校児童数と学校数の推移



君津市立中学校生徒数と学校数の推移



学校名	八重原小学校
所在地	君津市南子安9-17-1



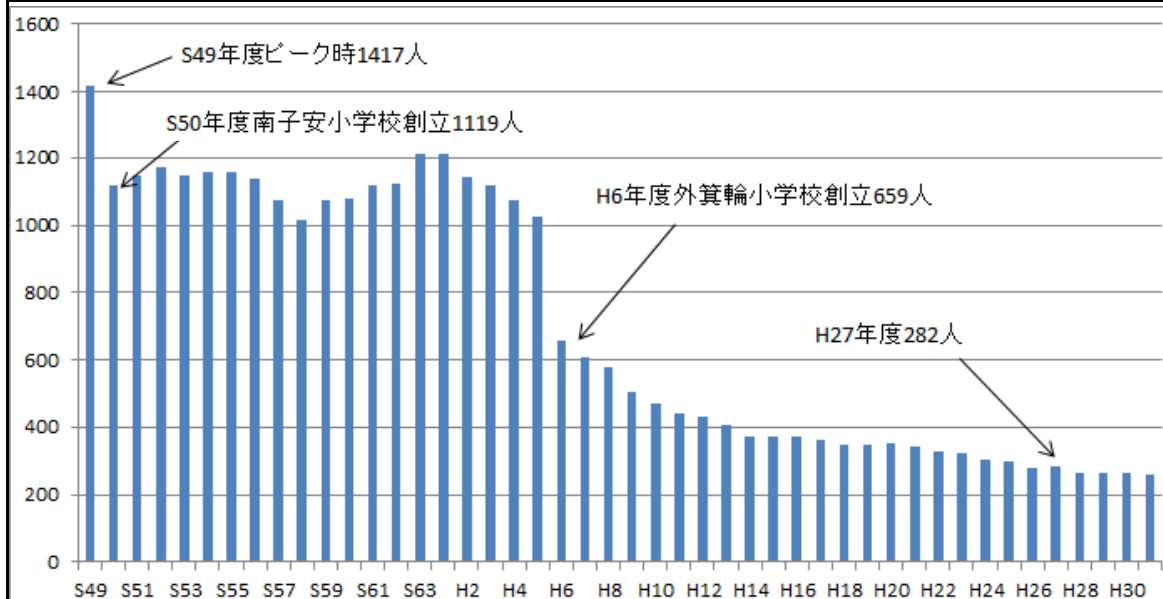
1. 概要

学校の特色 「やっぱり八重原 大好き八重原 みんなそろって八重原小」 心から大好きと言える学校へ！①職員・子ども・家庭・地域のチームによる指導「挨拶・返事」「ならぬことはならぬ」「為せば成る」の徹底指導

創立年	明治21 年	県費 教職員数	25 名	市職員の 配置状況	正規職員	1 名
					非常勤等	5 名
建設年 (代表建物)	1968 年	延床面積 (施設全体)	7,734.06 m ²	建築費又は取得費	779,490,239 円	
敷地面積	33,411.00 m ²	普通学級数	12 学級	特別支援 学級数	2 学級	

建設時の普通教室数32(うち特別支援1)	平成27年度普通教室数14(うち特別支援2)
—	平成27年度の児童数282人

年度別児童・生徒数推移

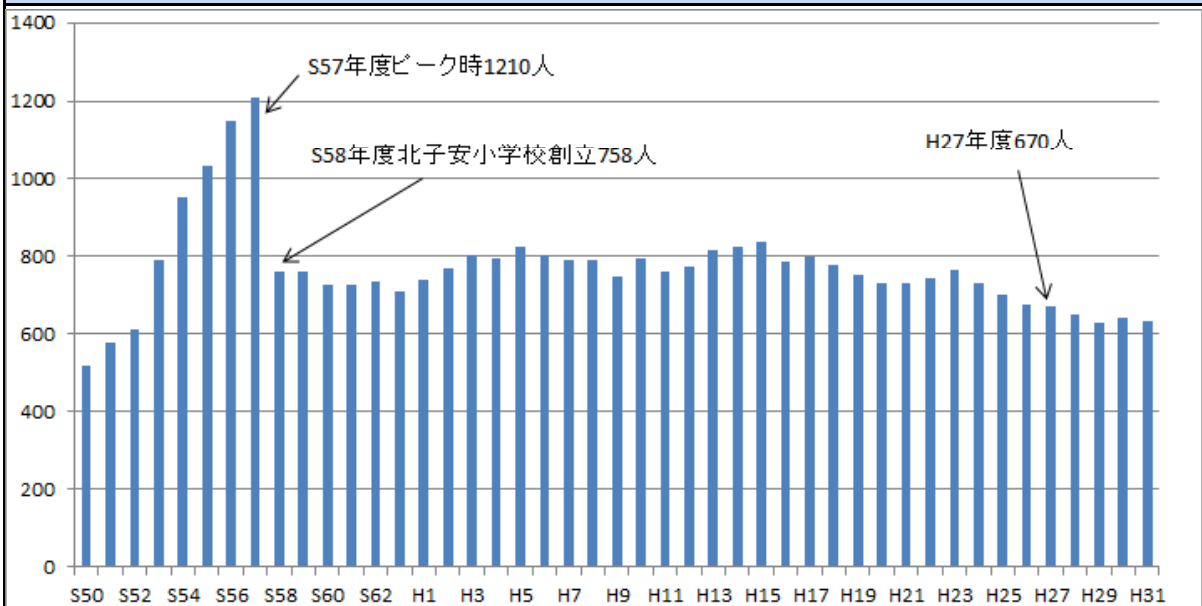


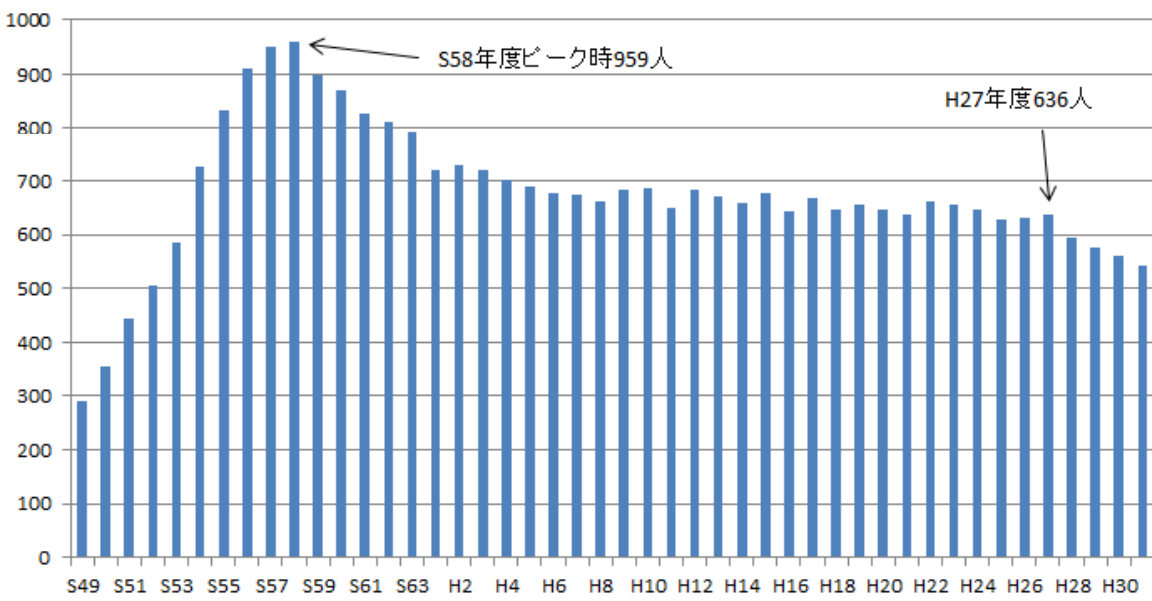
2. 運営費

H27予算額(千円)				
水道光熱費	事務費	管理委託費	用地借上	合計
4,616	2,559	575	-	7,750

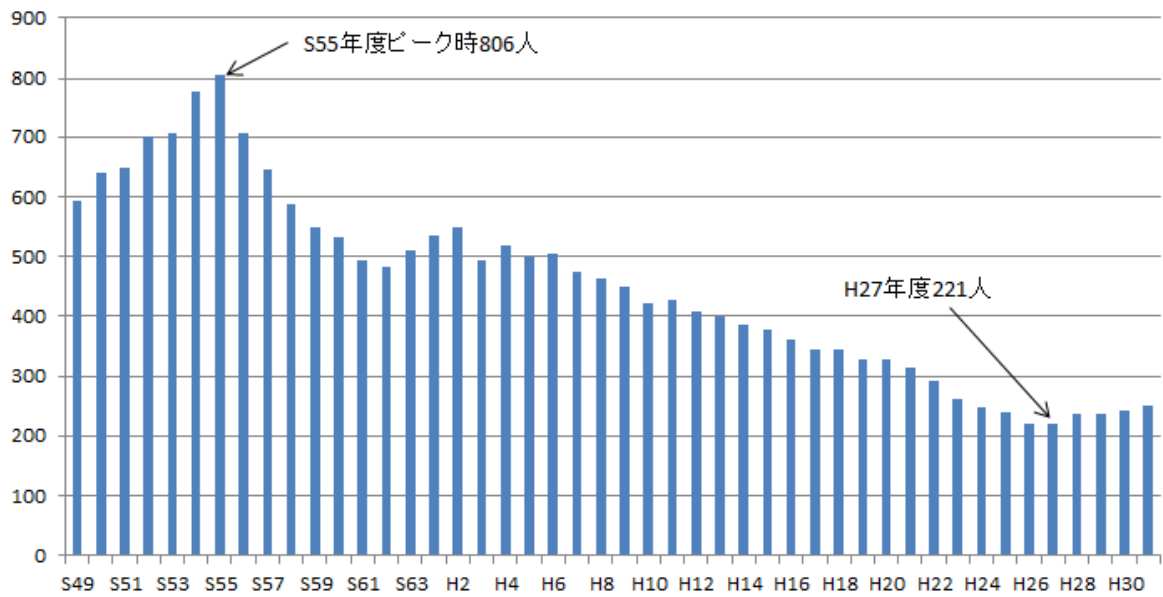
3. 施設に関する主要工事

実施年度	事業名	事業費
平成18年度	八重原小学校特別教室棟大規模改修工事	218,032,500円
施設に関する主要工事 3 件合計		286,479,330円

学校名	南子安小学校								
所在地	君津市南子安5-10-1								
1. 概要									
学校の特徴	豊かな心と健やかな体作りを目指す学校 ①体力向上に向け、「正課時体育の充実」と「清掃時体育」への取組 ②豊かな心の育成に向け、学校図書館を活用した読書活動の推進								
創立年	昭和50 年	県費 教職員数	40 名	市職員の 配置状況	正規職員	1 名			
					非常勤等	7 名			
建設年 (代表建物)	1974 年	延床面積 (施設全体)	6,673.13 m ²	建築費又は 取得費	664,609,800 円				
敷地面積	25,170.00 m ²	普通学級数	21 学級	特別支援 学級数	4 学級				
建設時の普通教室数27(うち特別支援2)			平成27年度普通教室数25(うち特別支援4)						
—			平成27年度の児童数670人						
年度別児童・生徒数推移									
									
2. 運営費									
H27予算額（千円）									
水道光熱費		事務費		管理委託費		用地借上		合計	
5,173		3,929		601		-		9,703	
3. 施設に関する主要工事									
実施年度	事業名						事業費		
平成13年度	南子安小学校普通教室棟大規模改修工事						291,270,000円		
施設に関する主要工事 3 件合計						576,511,530円			

						
学校名	周西小学校					
所在地	君津市中野3-14-1					
1. 概要						
学校の特徴	歌声響く学校 ①4つのめあて（挨拶、返事、履物揃え、椅子入れ）を中心とした躰とマナーの育成 ②年間を通した合唱への取組					
創立年	明治31 年	県費 教職員数	35 名	市職員の 配置状況	正規職員	1 名
					非常勤等	8 名
建設年 (代表建物)	1975 年	延床面積 (施設全体)	6,498.41 m ²	建築費又は 取得費	729,250,799 円	
敷地面積	21,005.00 m ²	普通学級数	19 学級	特別支援 学級数	3 学級	
建設時の普通教室数26(うち特別支援3)			平成27年度普通教室数22 (うち特別支援3)			
—			平成27年度の児童数636人			
年度別児童・生徒数推移						
						
2. 運営費						
H27予算額（千円）						
水道光熱費		事務費	管理委託費	用地借上	合計	
5,591		3,553	482	—	9,626	
3. 施設に関する主要工事						
実施年度	事業名				事業費	
平成22年度	周西小学校屋内運動場耐震補強工事				50,164,800円	
施設に関する主要工事				1 件合計	50,164,800円	

学校名	大和田小学校					
所在地	君津市大和田425					
1. 概要						
学校の特色	あふれる笑顔に、輝くひとみ、みんなそろって大和田小 ①道徳的実践力の向上のため、挨拶、返事、歌声、靴揃えの取組 ②学力向上のため、基礎基本の定着（ドリルタイムの充実）					
創立年	昭和43 年	県費 教職員数	22 名	市職員の 配置状況	正規職員	1 名
					非常勤等	5 名
建設年 (代表建物)	1969 年	延床面積 (施設全体)	9,876.00 m ²	建築費又は 取得費	374,549,911 円	
敷地面積	45,500.00 m ²	普通学級数	12 学級	特別支援 学級数	2 学級	
建設時の普通教室数30（うち特別支援1）			平成27年度普通教室数14（うち特別支援2）			
開校からのピーク時の児童数1332人（S45）			平成27年度の児童数310人			
年度別児童・生徒数推移						
</						

学校名		坂田小学校					
所在地		君津市坂田523					
1. 概要							
学校の特徴		心を磨き体を鍛える学校 ①心と体を鍛え育てる体育指導を重点として、教育活動全般に波及させる。 ②児童同士の豊かな関わり合いの場を設定し、仲間との関わり合う喜びを味わわせ、学習意欲の向上を図る。					
創立年		昭和46 年	県費 教職員数	20 名	市職員の 配置状況	正規職員 1 名 非常勤等 4 名	
建設年 (代表建物)		1972 年	延床面積 (施設全体)	6,579.13 m ²	建築費又は取得費	291,865,691 円	
敷地面積		26,662.00 m ²	普通学級数	9 学級	特別支援 学級数	2 学級	
建設時の普通教室数20				平成27年度普通教室数11（うち特別支援2）			
—				平成27年度の児童数221人			
年度別児童・生徒数推移							
							
2. 運営費							
H27予算額（千円）							
水道光熱費		事務費		管理委託費		用地借上	合計
3,796		2,363		821		-	6,980
3. 施設に関する主要工事							
実施年度		事業名					事業費
平成21年度		坂田小学校管理普通教室棟耐震補強工事					195,762,000円
施設に関する主要工事 2 件合計							280,654,500円

学校名		貞元小学校				
所在地		君津市上湯江1665				

1. 概要

学校の特色

地域と共に生きる学校づくりを
①地域の歴史や自然を取り入れた学習
②学校を核としたふれあい祭り

創立年	明治6 年	県費 教職員数	16 名	市職員の 配置状況	正規職員	0 名
					非常勤等	3 名
建設年 (代表建物)	1973 年	延床面積 (施設全体)	4,807.00 m ²	建築費又は 取得費	329,873,700 円	
敷地面積	17,117.00 m ²	普通学級数	8 学級	特別支援 学級数	2 学級	

建設時の普通教室数 10			平成27年度普通教室数10（うち特別支援2）		
—			平成27年度の児童数211人		

年度別児童・生徒数推移

S50年度ピーク時456人

H27年度211人

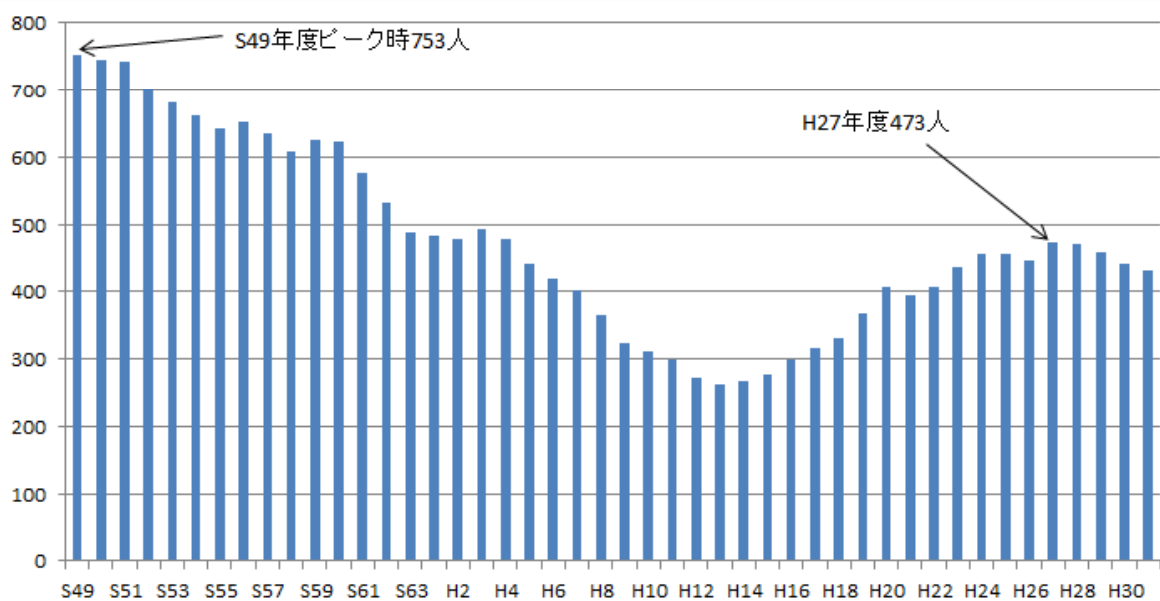
年度	児童・生徒数
S49	420
S50	456
S51	450
S52	440
S53	430
S54	420
S55	380
S56	360
S57	330
S58	320
S59	310
S60	290
S61	280
S62	260
S63	250
H2	230
H3	220
H4	210
H5	200
H6	190
H7	180
H8	170
H9	180
H10	190
H11	200
H12	190
H13	180
H14	210
H15	200
H16	190
H17	180
H18	170
H19	160
H20	140
H21	130
H22	140
H23	150
H24	160
H25	170
H26	180
H27	211
H28	230
H29	250
H30	270

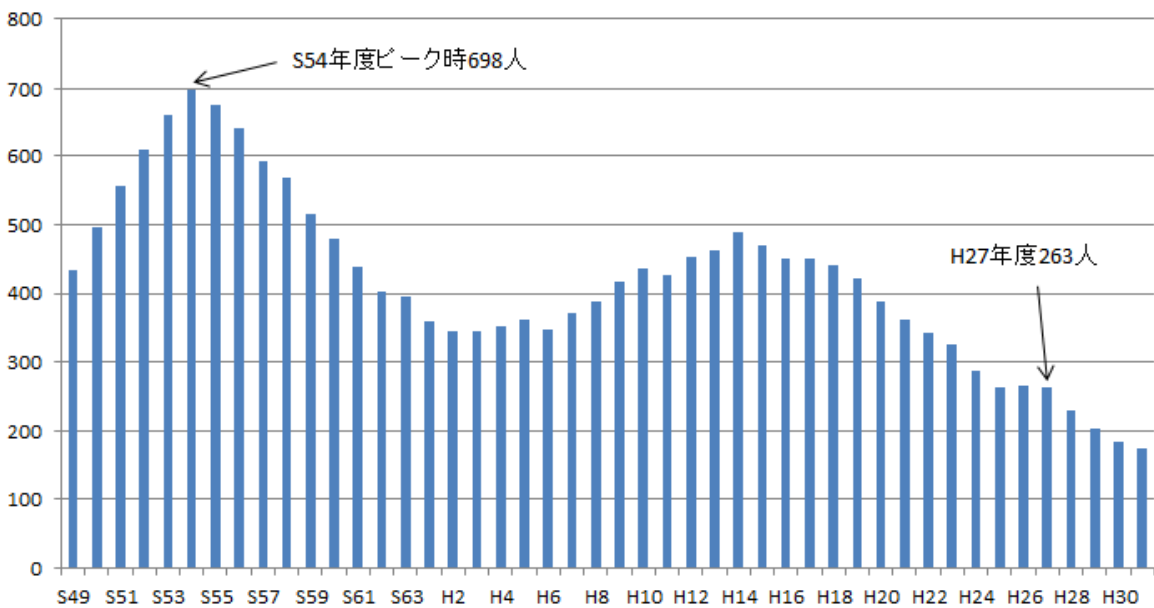
2. 運営費

H27予算額（千円）				
水道光熱費	事務費	管理委託費	用地借上	合計
3,211	1,870	838	2,411	8,330

3. 施設に関する主要工事

実施年度	事業名	事業費
平成15年度	貞元小学校普通教室棟大規模改修工事	202,088,250円
施設に関する主要工事 2 件合計		296,069,550円

													
学校名	周南小学校												
所在地	君津市宮下2-25-5												
1. 概要													
学校の特徴	小中連携を基軸にした学校づくり ①小中連携した取り組み（学力：家庭学習習慣の確立、書くことの指導 生活向上：挨拶・返事、言葉遣い、整理整頓 健康体力：投力・握力向上に向けた取り組み、合同徒歩遠足の実施） ②「周南の丘」を活用した外遊びや活動の推進												
創立年	明治11 年	県費 教職員数	29 名	市職員の 配置状況	正規職員	0 名							
					非常勤等	5 名							
建設年 (代表建物)	1977 年	延床面積 (施設全体)	4,845.00 m ²	建築費又は 取得費	622,308,400 円								
敷地面積	25,950.00 m ²	普通学級数	18 学級	特別支援 学級数	2 学級								
建設時の普通教室数21				平成27年度普通教室数20（うち特別支援2）									
開校からのピーク時の児童数779人（S48）				平成27年度の児童数473人									
年度別児童・生徒数推移													
													
2. 運営費		H27予算額（千円）											
		水道光熱費	事務費	管理委託費	用地借上	合計							
		5,489	2,808	1,561	-	9,858							
3. 施設に関する主要工事													
実施年度	事業名						事業費						
平成20年度	周南小学校管理普通教室棟大規模改修工事						232,638,000円						
施設に関する主要工事						3 件合計	402,966,150円						

						
学校名	中小学校					
所在地	君津市中島678					
1. 概要						
学校の特徴	安心安全な環境づくり 知：ねらいを明確にした授業改善・定期テスト 徳：ピンクシャツとイエローリボンいじめ根絶運動 体：相撲等対外行事への挑戦					
創立年	明治6 年	県費 教職員数	19 名	市職員の 配置状況	正規職員	1 名
					非常勤等	6 名
建設年 (代表建物)	1971 年	延床面積 (施設全体)	4,607.00 m ²	建築費又は 取得費	340,272,000 円	
敷地面積	18,469.00 m ²	普通学級数	10 学級	特別支援 学級数	2 学級	
建設時の普通教室数 19(うち特別支援1)			平成27年度普通教室数12(うち特別支援2)			
—			平成27年度の児童数263人			
年度別児童・生徒数推移						
						
2. 運営費						
H27予算額(千円)						
水道光熱費		事務費	管理委託費	用地借上	合計	
3,294		2,828	890	—	7,012	
3. 施設に関する主要工事						
実施年度	事業名					事業費
平成15年度	中小学校管理普通教室棟大規模改修工事					211,884,750円
施設に関する主要工事 2 件合計					402,354,750円	

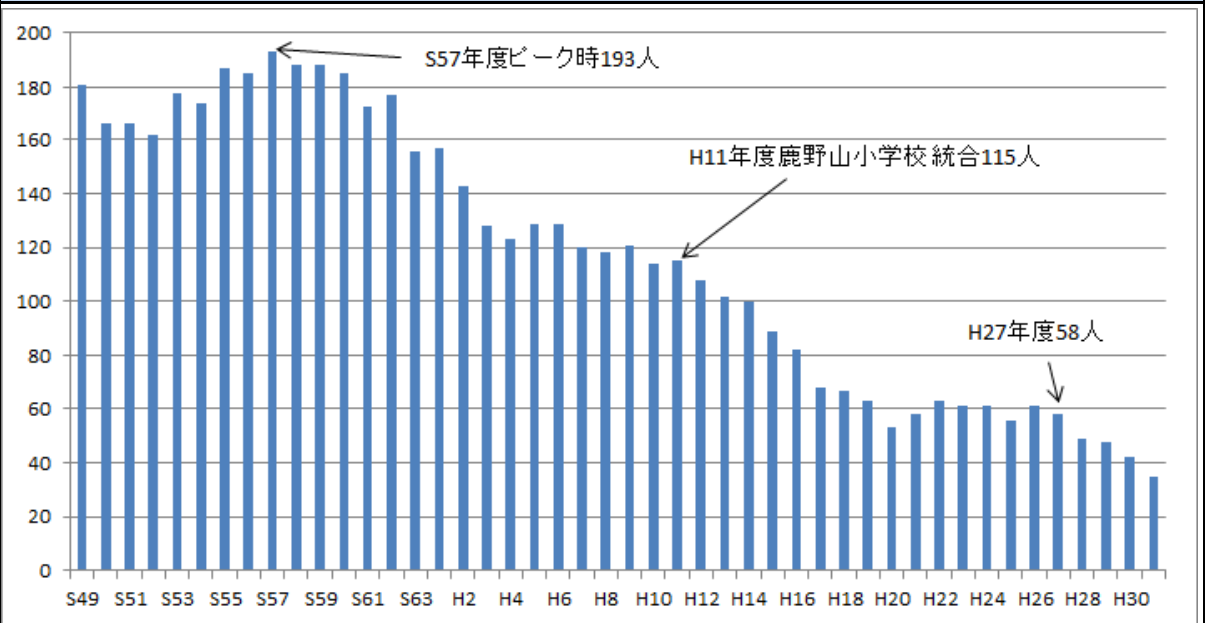
学校名	小糸小学校					
所在地	君津市大井戸1061					
1. 概要						
学校の特徴	体験活動重視の学校づくり ①夢を持たせ、その実現のために努力することに力を入れていく ②自立心を持たせるための体験活動の充実 ③セカンドスクールの実施（3泊4日）					
創立年	明治6 年	県費 教職員数	16 名	市職員の 配置状況	正規職員	0 名
					非常勤等	4 名
建設年 (代表建物)	1972 年	延床面積 (施設全体)	3,427.00 m ²	建築費又は 取得費	203,631,100 円	
敷地面積	21,014.00 m ²	普通学級数	6 学級	特別支援 学級数	2 学級	
建設時の普通教室数 9(うち特別支援1)			平成27年度普通教室数8(うち特別支援2)			
開校からのピーク時の児童数523人（S33）			平成27年度の児童数100人			
年度別児童・生徒数推移						

学校の特色	地域連携を基盤とした学校づくり ①三校一園の連携した取り組み（清和保育園、秋元小、三島小、清和中） ②地域の教育力をふんだんに盛り込んだ通学合宿 ③N I E の推進
-------	--

創立年	明治7 年	県費 教職員数	12 名	市職員の 配置状況	正規職員	0 名
					非常勤等	3 名
建設年 (代表建物)	1987 年	延床面積 (施設全体)	2,747.00 m ²	建築費又は 取得費	355,116,400 円	
敷地面積	15,475.00 m ²	普通学級数	6 学級	特別支援 学級数	2 学級	

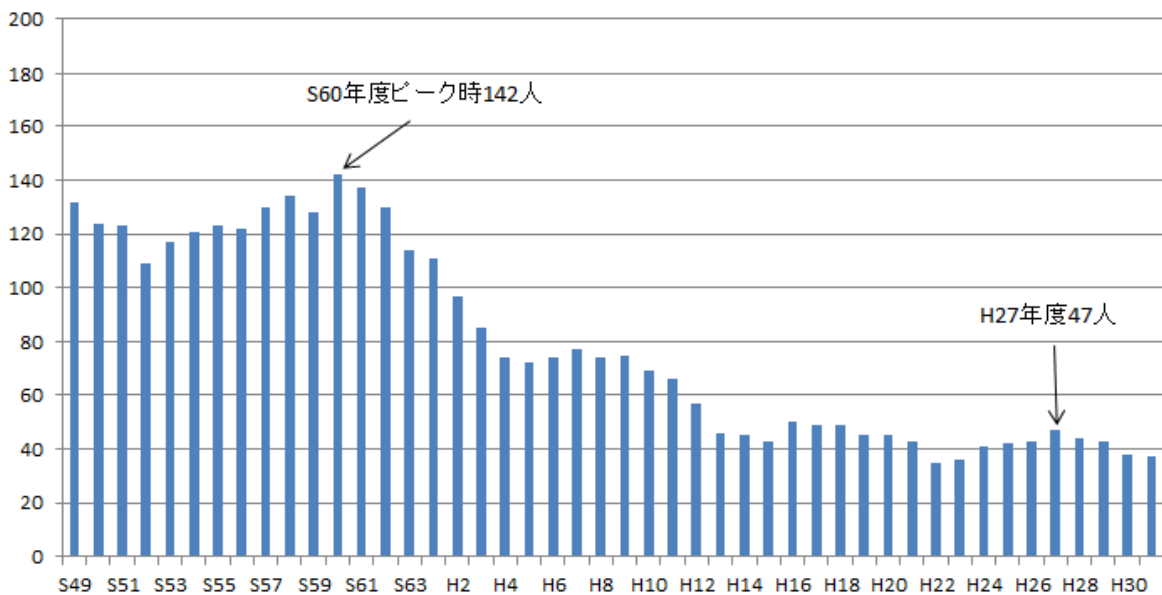
建設時の普通教室数6	平成27年度普通教室数8（うち特別支援2）
開校からのピーク時の児童数430人（S34）	平成27年度の児童数58人

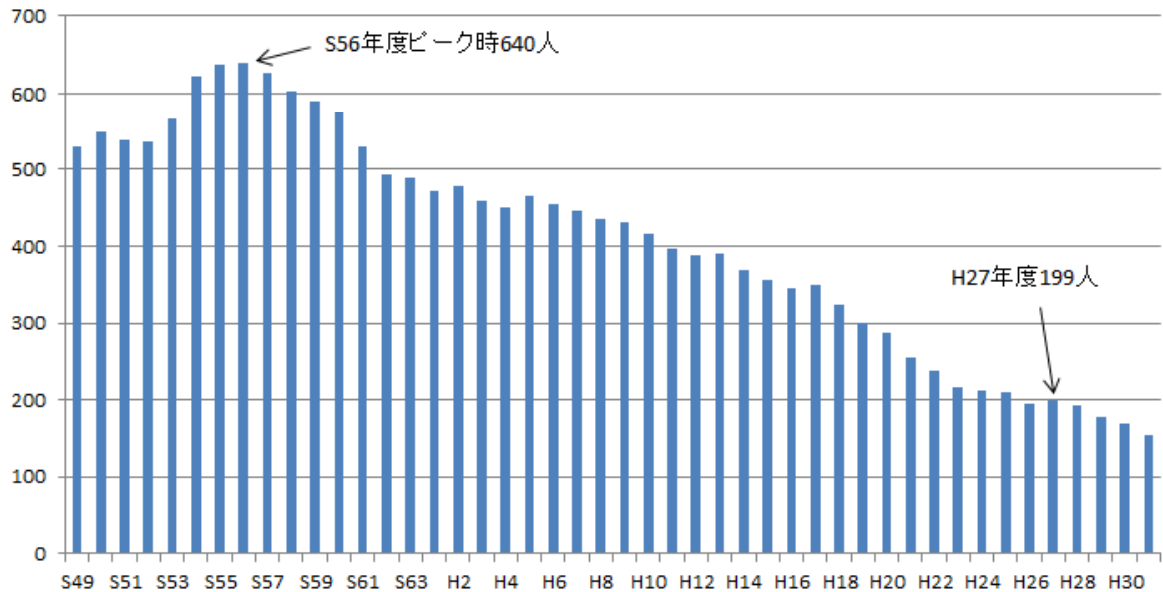
年度別児童・生徒数推移



2. 運営費	H27予算額（千円）				
	水道光熱費	事務費	管理委託費	用地借上	合計
	1, 811	1, 753	1, 266	77	4, 907

3. 施設に関する主要工事		
実施年度	事業名	事業費
平成20年度	秋元小学校屋内運動場外壁工事	2,898,000円
施設に関する主要工事 1 件合計		2,898,000円

							
学校名	三島小学校						
所在地	君津市正木149						
1. 概要							
学校の特徴	地域人材を生かした学校づくり ①三校一園の連携した取り組み（清和保育園、秋元小、三島小、清和中） ②全校通学合宿・地域の人材を活用した炭焼き体験、自然薯づくり ③県立中央博教室を活用した取り組み						
創立年	明治7 年	県費 教職員数	9 名	市職員の 配置状況	正規職員	0 名	
					非常勤等	2 名	
建設年 (代表建物)	1986 年	延床面積 (施設全体)	2,361.00 m ²	建築費又は 取得費	251,533,200 円		
敷地面積	21,609.00 m ²	普通学級数	5 学級	特別支援 学級数	0 学級		
建設時の普通教室数6			平成27年度普通教室数5				
開校からのピーク時の児童数343人（S34）			平成27年度の児童数47人				
年度別児童・生徒数推移							
							
2. 運営費							
H27予算額（千円）							
水道光熱費		事務費		管理委託費		用地借上	合計
1,698		1,822		583		-	4,103
3. 施設に関する主要工事							
実施年度	事業名						事業費
平成22年度	三島小学校体育館電灯分電盤改修						452,685円
施設に関する主要工事 1 件合計						452,685円	

													
学校名	小櫃小学校												
所在地	君津市俵田1416												
1. 概要													
学校の特徴	地域との関わりを重視した学校づくり ①小櫃の子を元気にする会を中心とした保・小・中・高との連携 ②体力の向上、豊かな心の育成 ③合鴨農法等を通して生命尊重の精神や郷土愛の育成												
創立年	明治6 年	県費 教職員数	17 名	市職員の 配置状況	正規職員	0 名							
					非常勤等	4 名							
建設年 (代表建物)	1982 年	延床面積 (施設全体)	5,052.00 m ²	建築費又は 取得費	552,139,150 円								
敷地面積	24,590.00 m ²	普通学級数	7 学級	特別支援 学級数	2 学級								
建設時の普通教室数17（うち特別支援1）				平成27年度普通教室数9（うち特別支援2）									
開校からのピーク時の児童数1139人（S28）				平成27年度の児童数199人									
年度別児童・生徒数推移													
													
2. 運営費		H27予算額（千円）											
		水道光熱費	事務費	管理委託費	用地借上	合計							
		4,512	2,581	837	-	7,930							
3. 施設に関する主要工事													
実施年度	事業名						事業費						
平成26年度	小櫃小学校特別教室棟・屋内運動場耐震補強工事						125,247,600円						
施設に関する主要工事						1 件合計	125,247,600円						

学校名	久留里小学校					
所在地	君津市久留里474					

1. 概要

学校の特徴

①知・・・指導目標を明確にした授業実践（算数科の指導を中心に）
②徳・・・「挨拶・返事・靴揃え」の徹底
③体・・・汗をかく体育の実践、食に関する指導（青葉高校との連携）
④久留里を知り、久留里を語る地域人材の活用

創立年

明治6 年

県費
教職員数

17 名

市職員の
配置状況

正規職員

0 名

非常勤等

3 名

建設年
(代表建物)

1961 年

延床面積
(施設全体)

3,211.00 m²

建築費又は
取得費

125,454,200 円

敷地面積

20,268.00 m²

普通学級数

6 学級

特別支援
学級数

2 学級

建設時の普通教室数13（うち特別支援1）

平成27年度普通教室数8（うち特別支援2）

開校からのピーク時の児童数893人（S33）

平成27年度の児童数106人

年度別児童・生徒数推移

500

450

400

350

300

250

200

150

100

50

0

S49

S51

S53

S55

S57

S59

S61

S63

H2

H4

H6

H8

H10

H12

H14

H16

H18

H20

H22

H24

H26

H28

H30

S58年度ピーク時403人

H14年度福野小学校統合 217人

H27年度106人

2. 運営費

H27予算額（千円）

水道光熱費

事務費

管理委託費

用地借上

合計

2,238

1,868

1,702

-

5,808

3. 施設に関する主要工事

実施年度

事業名

事業費

平成26年度

久留里小学校管理教室棟耐震補強工事

23,738,400円

施設に関する主要工事

1 件合計

47,228,400円

学校名	松丘小学校					
所在地	君津市広岡1000					

1. 概要

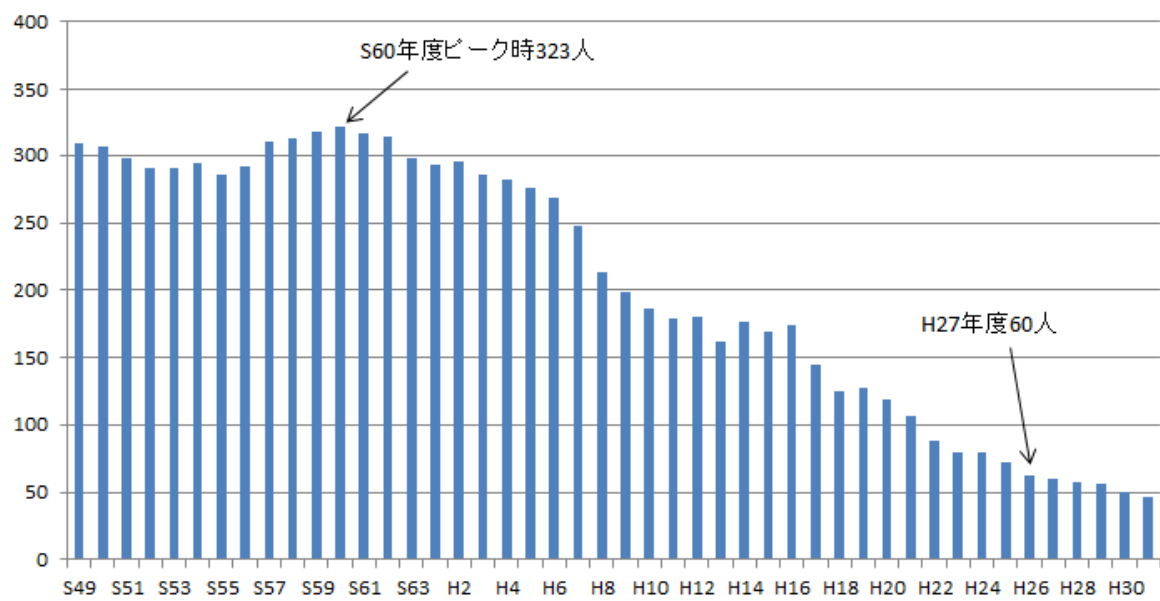
学校の特色

○小さな学校でしかできない利点を生かした学校
・「いえべん」（学習習慣）・松丘トライアスロン（体力づくり）
・全校会議（全校ディスカッション）・小中連携による共通実施

創立年	明治7 年	県費 教職員数	14 名	市職員の 配置状況	正規職員	0 名
					非常勤等	4 名
建設年 (代表建物)	1974 年	延床面積 (施設全体)	3,760.00 m ²	建築費又は 取得費	265,371,400 円	
敷地面積	17,873.00 m ²	普通学級数	6 学級	特別支援 学級数	1 学級	

建設時の普通教室数12（うち特別支援1）	平成27年度普通教室数7（うち特別支援1）
開校からのピーク時の児童数808人（S33）	平成27年度の児童数60人

年度別児童・生徒数推移



2. 運営費

H27予算額（千円）				
水道光熱費	事務費	管理委託費	用地借上	合計
3,015	1,955	545	-	5,515

3. 施設に関する主要工事

実施年度	事業名	事業費
平成1年度	松丘小学校普通教室棟大規模改修工事	71,245,000円
施設に関する主要工事 3 件合計		182,948,200円

学校名	坂畑小学校						
所在地	君津市坂畑223-2						

1. 概要

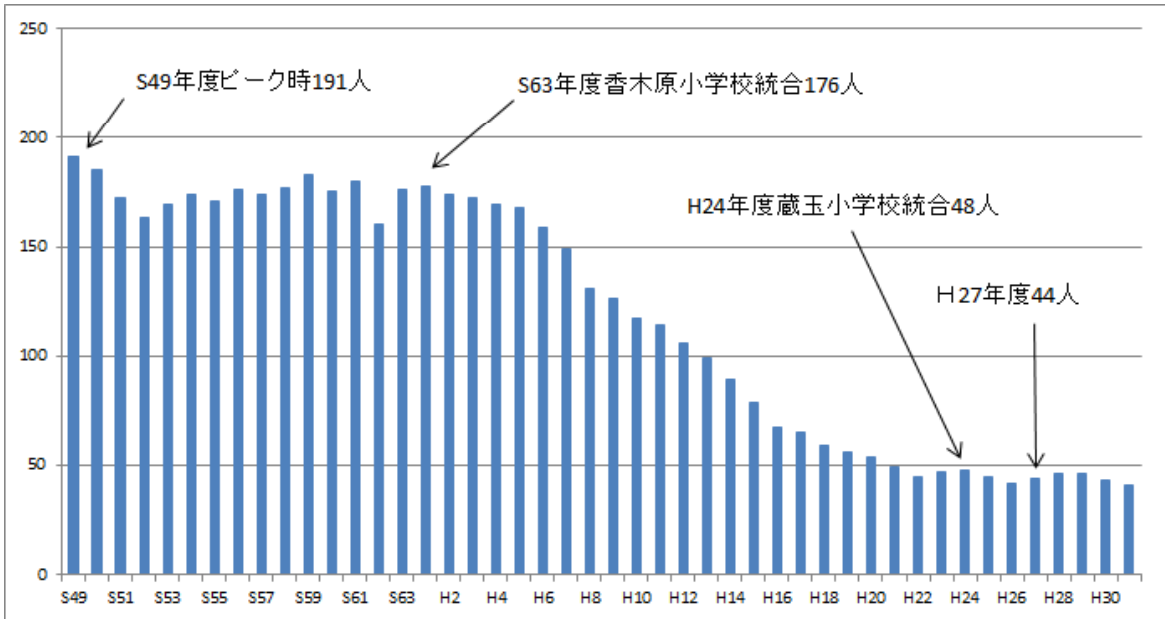
学校の特徴

道徳教育の充実（体験を通じた実践活動）
①道徳の時間を中心に道徳教育の充実と、豊かな心の育成
②心を耕す体験活動の推進による、気持ちの良い「あいさつ」「返事」ができ、やさしく思いやりのある児童の育成

創立年	明治7 年	県費 教職員数	11 名	市職員の 配置状況	正規職員	0 名
					非常勤等	1.5 名
建設年 (代表建物)	1989 年	延床面積 (施設全体)	2,709.00 m ²	建築費又は 取得費	421,711,600 円	
敷地面積	7,658.00 m ²	普通学級数	5 学級	特別支援 学級数	2 学級	

建設時の普通教室数7（うち特別支援 2）	平成27年度普通教室数6
開校からのピーク時の児童数485人（S33）	平成27年度の児童数44人

年度別児童・生徒数推移

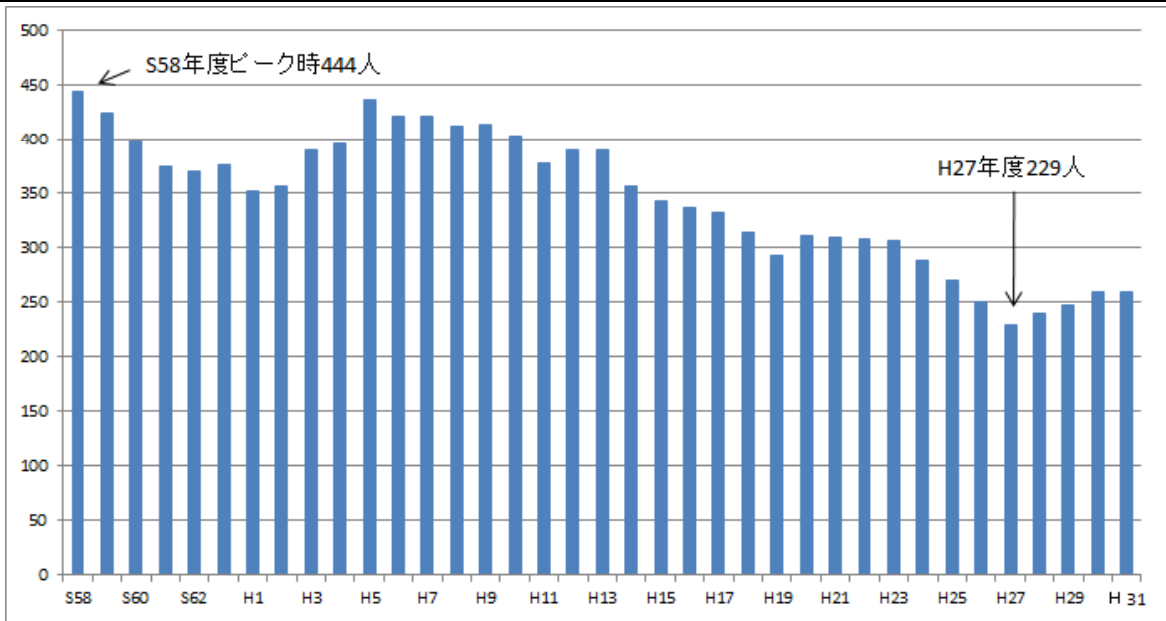


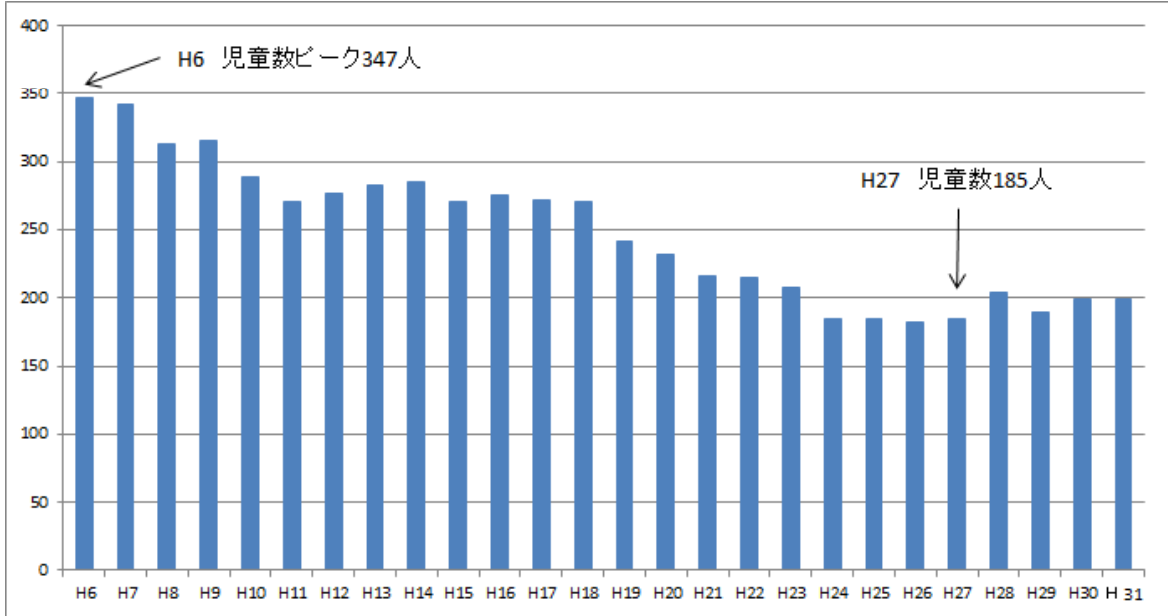
2. 運営費

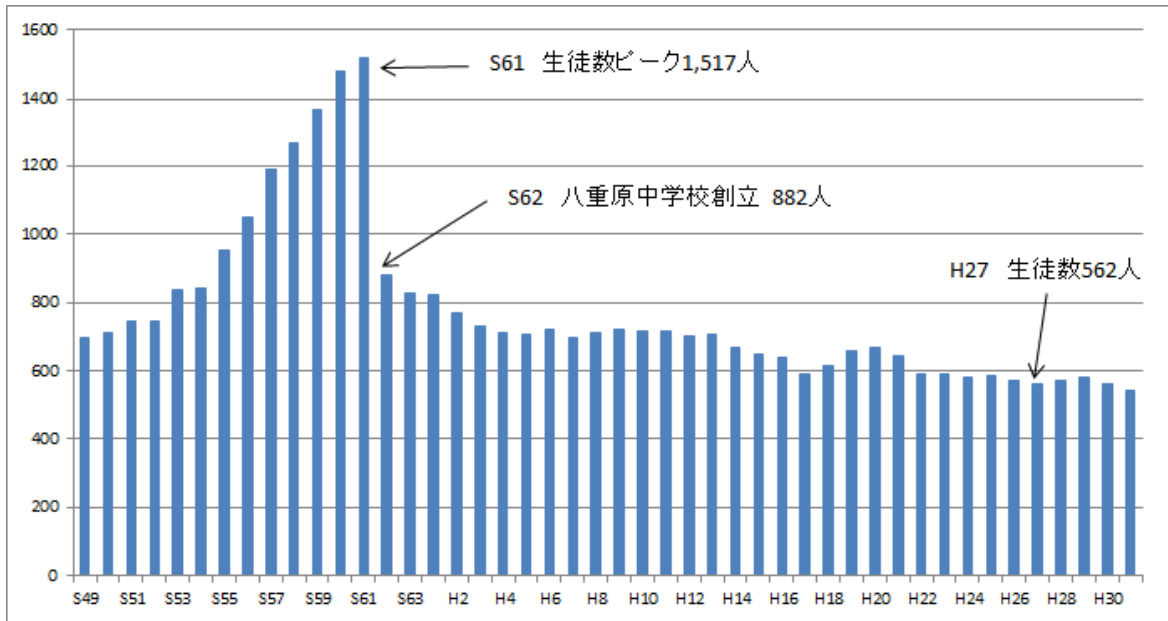
H27予算額（千円）				
水道光熱費	事務費	管理委託費	用地借上	合計
2,128	1,583	1,174	-	4,885

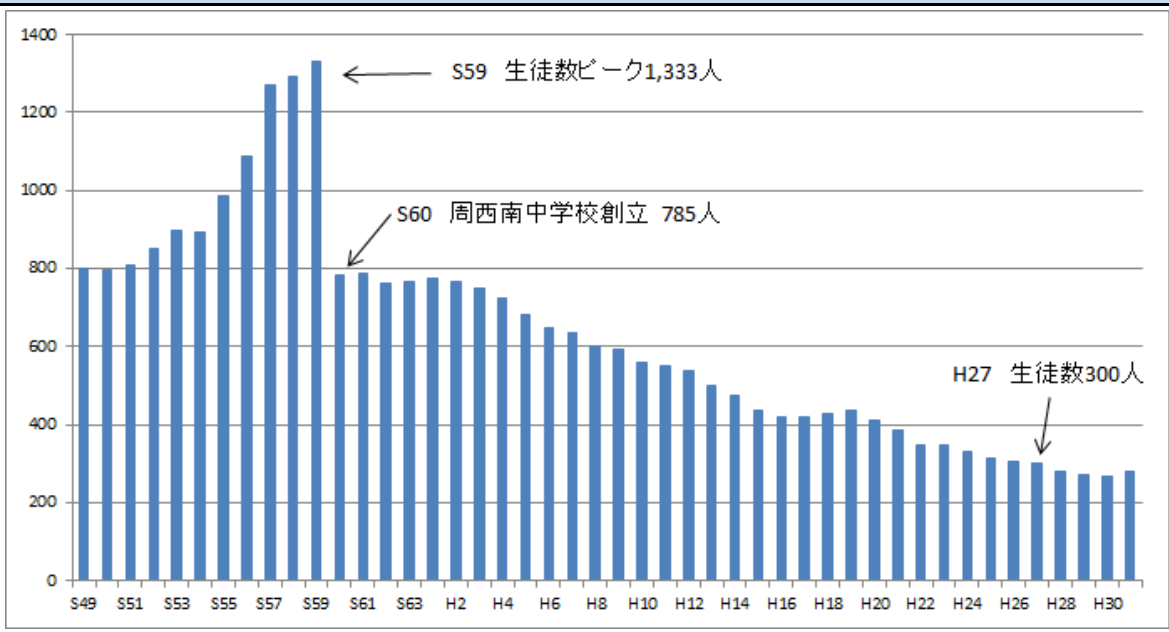
3. 施設に関する主要工事

実施年度	事業名	事業費
平成26年度	坂畑小学校屋内運動場耐震補強工事	23,116,520円
施設に関する主要工事 2 件合計		33,984,020円

学校名		北子安小学校							
所在地		君津市北子安853							
1. 概要									
学校の特徴		地域連携を密にした学校づくり ①地域とともに進める教育活動の推進（田・畑・昔遊び・環境整備等） ②環境教育の推進・エコスクールの充実・地域環境の充実							
創立年	昭和58 年	県費 教職員数	17 名	市職員の 配置状況	正規職員	1 名			
					非常勤等	6 名			
建設年 (代表建物)	1983 年	延床面積 (施設全体)	4,660.60 m ²	建築費又は 取得費	659,932,500 円				
敷地面積	35,138.00 m ²	普通学級数	8 学級	特別支援 学級数	2 学級				
建設時の普通教室数12			平成27年度普通教室数10（うち特別支援 2）						
—			平成27年度の児童数229人						
年度別児童・生徒数推移									
									
2. 運営費									
H27予算額（千円）									
水道光熱費		事務費		管理委託費		用地借上		合計	
4,228		2,469		490		16,148		23,335	
3. 施設に関する主要工事									
実施年度		事業名					事業費		
平成21年度		北子安小学校普通教室床改修工事					5,226,000円		
施設に関する主要工事					1 件合計		5,226,000円		

														
学校名		外箕輪小学校												
所在地		君津市外箕輪1-34-1												
1. 概要														
学校の特徴		特別支援教育の推進（コミュニケーション能力の向上）に力点を果たした教育の推進 ①コミュニケーション能力を育むために、縦割り班や合同体育等、異学年交流の取組 ②学校・地域の連携を一層推進するため、さわやかあいさつ運動や交通安全運動（見守り）の取組み強化 ③千葉盲学校との連携（サテライト教室開催）												
創立年		平成6 年		県費 教職員数		16 名		市職員の 配置状況		正規職員		1 名		
										非常勤等		4 名		
建設年 （代表建物）		1994 年		延床面積 （施設全体）		6,377.00 m ²		建築費又は 取得費		1,941,655,600 円				
敷地面積		27,410.00 m ²		普通学級数		6 学級		特別支援 学級数		2 学級				
建設時の普通教室数12						平成27年度普通教室数8（うち特別支援2）								
—						平成27年度の児童数185人								
年度別児童・生徒数推移														
														
2. 運営費														
H27予算額（千円）														
水道光熱費			事務費			管理委託費			用地借上			合計		
3,445			2,383			549			-			6,377		
3. 施設に関する主要工事														
実施年度		事業名									事業費			
平成23年度		外箕輪小学校高圧気中開閉器交換修理									689,850円			
施設に関する主要工事									1 件合計		689,850円			

							
学校名	君津中学校						
所在地	君津市空師1-10-1						
1. 概要							
学校の特色	「文武両道・豊かな心 ～前へ君津中～」 「学び」「心」「体」の3つのプロジェクトを掲げ、知・徳・体のバランスの良い生徒の育成 ①各種部活動県大会参加（H25年度駅伝全国体に出場）						
創立年	昭和22 年	県費 教職員数	40 名	市職員の 配置状況	正規職員	1 名	
					非常勤等	4 名	
建設年 (代表建物)	1992 年	延床面積 (施設全体)	7,553.00 m ²	建築費又は取得費	1,449,341,000 円		
敷地面積	35,336.00 m ²	普通学級数	18 学級	特別支援学級数	2 学級		
建設時の普通教室数21			平成27年度普通教室数20（うち特別支援2）				
—			平成27年度の生徒数562人				
年度別児童・生徒数推移							
							
2. 運営費							
H27予算額（千円）							
水道光熱費		事務費		管理委託費		用地借上	合計
7,922		4,014		659		-	12,595
3. 施設に関する主要工事							
実施年度	事業名						事業費
平成27年度	君津中学校屋内運動場改築工事						512,991,360円
施設に関する主要工事 3 件合計						522,682,860円	

						
学校名	周西中学校					
所在地	君津市坂田560					
1. 概要						
学校の特徴	校訓「らしく」の伝統と基盤にした教育の展開 ①「人間らしく」「中学生らしく」「周西中の生徒らしく」の「らしく」の習得に励む生徒の育成 ②校長のこだわり『健康・自立・貢献』 ③健康教育の推進を主題とした校内研修への取り組み（H27・28）					
創立年	昭和43 年	県費 教職員数	27 名	市職員の 配置状況	正規職員	1 名
					非常勤等	2 名
建設年 (代表建物)	1969 年	延床面積 (施設全体)	9,121.00 m ²	建築費又は 取得費	342,264,000 円	
敷地面積	48,395.00 m ²	普通学級数	9 学級	特別支援 学級数	2 学級	
建設時の普通教室数20（うち特別支援1）			平成27年度普通教室数11（うち特別支援2）			
—			平成27年度の生徒数300人			
年度別児童・生徒数推移						
						
2. 運営費		H27予算額（千円）				
		水道光熱費	事務費	管理委託費	用地借上	合計
		4,714	2,953	1,065	-	8,732
3. 施設に関する主要工事						
実施年度	事業名					事業費
平成19年度	周西中学校特別教室棟大規模改修工事					422,780,400円
施設に関する主要工事 2 件合計					680,977,499円	

学校名	周南中学校				
所在地	君津市宮下1-4-1				

1. 概要

学校の特徴

「にもかかわらず」の精神を胸に秘めた諸活動への取組
①N I E教育を取り入れた学びタイムの実施

創立年	昭和22 年	県費 教職員数	24 名	市職員の 配置状況	正規職員	0 名
					非常勤等	3 名
建設年 (代表建物)	1972 年	延床面積 (施設全体)	7,219.00 m ²	建築費又は取得費	412,542,250 円	
敷地面積	32,875.00 m ²	普通学級数	8 学級	特別支援 学級数	2 学級	

建設時の普通教室数10（うち特別支援1）	平成27年度普通教室数10（うち特別支援2）
—	平成27年度の生徒数210人

年度別児童・生徒数推移

S49 生徒数ピーク445人

H27 生徒数210人

年度	生徒数
S49	445
S50	435
S51	385
S52	395
S53	375
S54	345
S55	335
S56	325
S57	365
S58	355
S59	350
S60	320
S61	315
S62	325
S63	325
H2	290
H3	265
H4	255
H5	240
H6	225
H7	225
H8	225
H9	230
H10	210
H11	190
H12	175
H13	180
H14	165
H15	155
H16	135
H17	135
H18	135
H19	135
H20	135
H21	140
H22	150
H23	165
H24	170
H25	195
H26	215
H27	210
H28	205
H29	215
H30	240

2. 運営費

H27予算額（千円）				
水道光熱費	事務費	管理委託費	用地借上	合計
4,848	2,131	469	—	7,448

3. 施設に関する主要工事

実施年度	事業名	事業費
平成23年度	周南中学校特別教室棟耐震補強工事	276,339,000円
施設に関する主要工事 3 件合計		483,197,700円

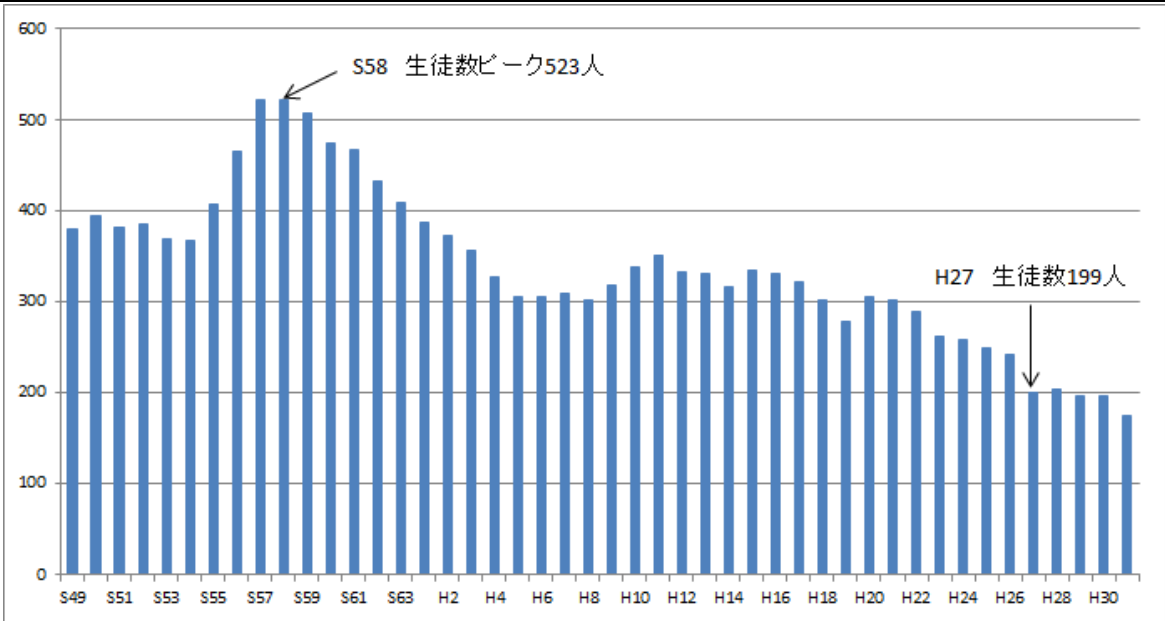
学校名	小糸中学校					
所在地	君津市塚原120					



1. 概要

学校の特徴	中規模校の特質を生かした学校づくり（学びの共同体） ①生徒の心の居場所づくりへの取組 ②学力向上をめざすための、生徒同士の学び合いの場の設定					
	創立年	昭和37 年	県費 教職員数	23 名	市職員の 配置状況	正規職員 1 名 非常勤等 1 名
建設年 (代表建物)	1963 年	延床面積 (施設全体)	4,983.00 m ²	建築費又は 取得費	654,130,800 円	
敷地面積	24,491.00 m ²	普通学級数	6 学級	特別支援 学級数	2 学級	
建設時の普通教室数12（うち特別支援1）			平成27年度普通教室数8（うち特別支援2）			
—			平成27年度の生徒数199人			

年度別児童・生徒数推移

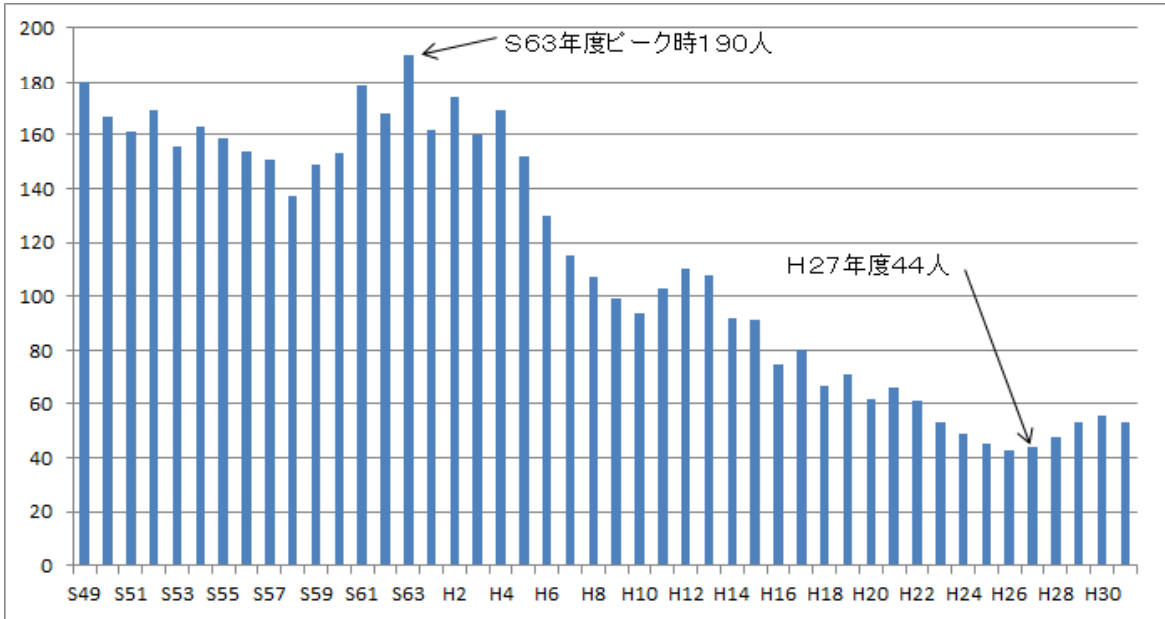


2. 運営費

H27予算額（千円）				
水道光熱費	事務費	管理委託費	用地借上	合計
3,516	2,400	1,017	722	7,655

3. 施設に関する主要工事

実施年度	事業名	事業費
平成19年度	小糸中学校屋内運動場改築工事	354,459,000円
施設に関する主要工事 5 件合計		610,591,725円

							
学校名	清和中学校						
所在地	君津市東日笠522						
1. 概要							
学校の特徴	小中一貫教育を視野に入れた「地域連携を深める清和学」の実施 ①清和保育園、秋元小、三島小、清和中の三校一園で連携した清和地区の教育の推進 ②「鍛えられているから美しい」を合言葉に、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成への取組 ③「清和学」を推進しての地域学習への取組						
創立年	昭和45 年	県費 教職員数	16 名	市職員の 配置状況	正規職員	0 名	
					非常勤等	3 名	
建設年 (代表建物)	1971 年	延床面積 (施設全体)	4,507.48 m ²	建築費又は 取得費	198,659,000 円		
敷地面積	29,386.00 m ²	普通学級数	3 学級	特別支援 学級数	2 学級		
建設時の普通教室数8（うち特別支援1）			平成27年度普通教室数5（うち特別支援2）				
開校からのピーク時の生徒数232人（S46）			平成27年度の生徒数44人				
年度別児童・生徒数推移							
							
2. 運営費							
H27予算額（千円）							
水道光熱費		事務費		管理委託費		用地借上	合計
3,121		1,592		1,669		-	6,382
3. 施設に関する主要工事							
実施年度	事業名						事業費
平成16年度	清和中学校管理普通教室棟大規模改造工事						247,485,000円
施設に関する主要工事 3 件合計						370,919,850円	

学校名	小櫃中学校					
所在地	君津市俵田1110					

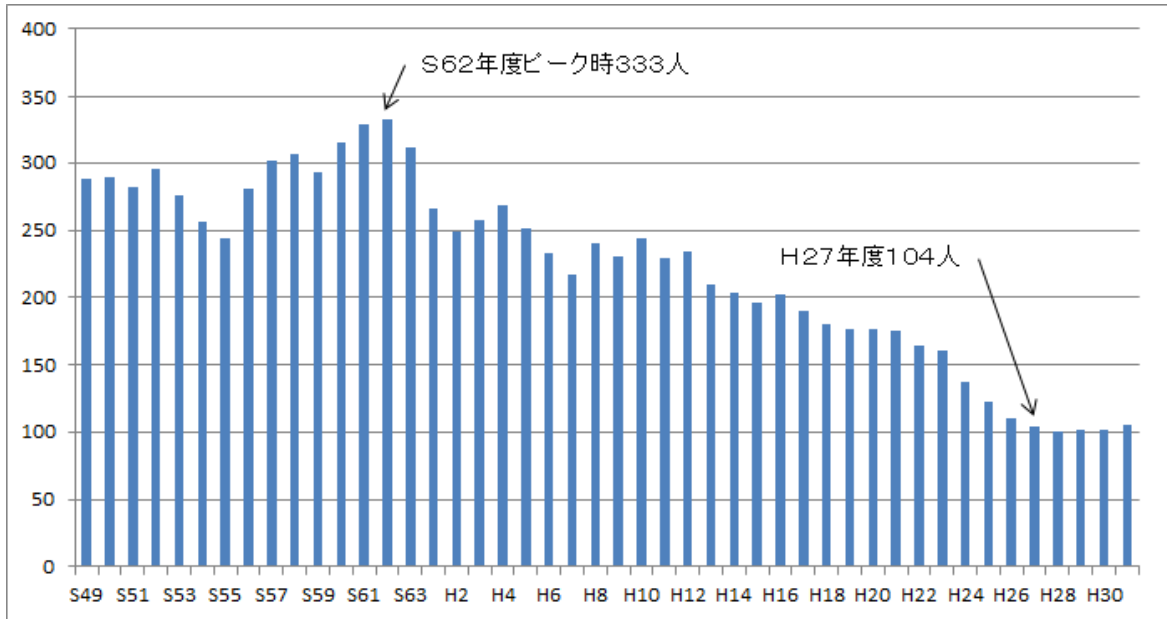


1. 概要

学校の特徴	①地域連携の推進：保・小・中・高の学校種を超えた連携 「小櫃の元気な子を育てる会」の協力による地域ぐるみでの子育て活動の推進 ②国際理解教育の推進：ブラジルの姉妹校との交流42周年 隔年の訪伯使節団の派遣、および訪日使節団を受け入れて交流					
	創立年	昭和22 年	県費 教職員数	16 名	市職員の 配置状況	正規職員 0 名 非常勤等 2 名
建設年 (代表建物)	1969 年	延床面積 (施設全体)	3,969.00 m ²	建築費又は取得費	500,980,200 円	
敷地面積	29,458.00 m ²	普通学級数	4 学級	特別支援 学級数	1 学級	

建設時の普通教室数12（うち特別支援1）	平成27年度普通教室数4（うち特別支援1）
開校からのピーク時の生徒数603人（S36）	平成27年度の生徒数104人

年度別児童・生徒数推移

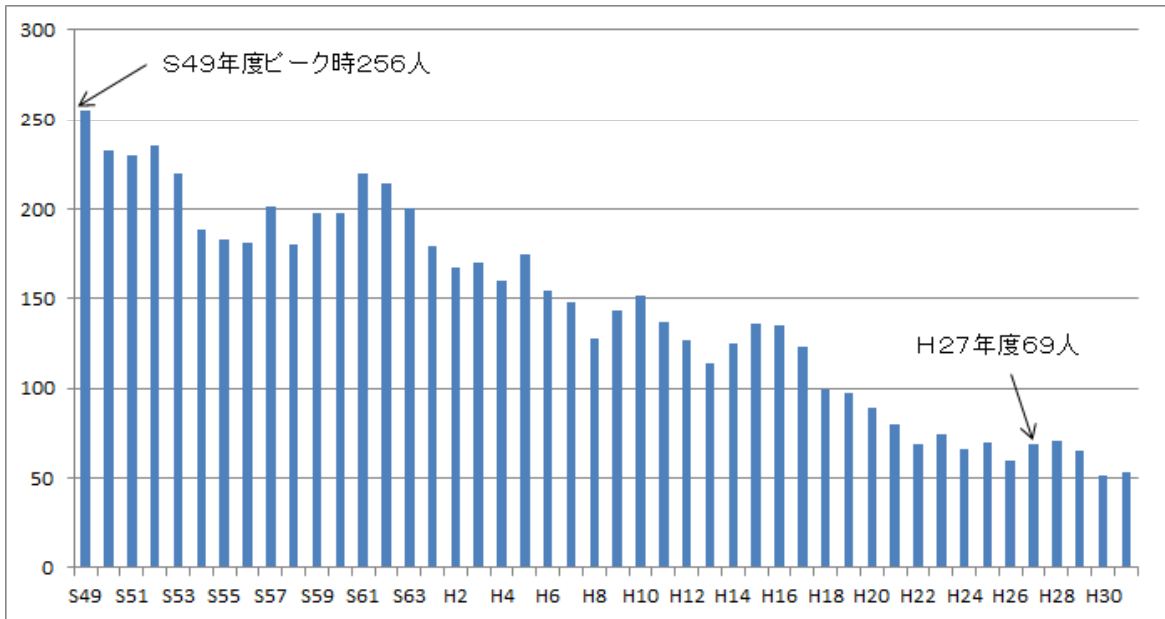


2. 運営費

H27予算額（千円）				
水道光熱費	事務費	管理委託費	用地借上	合計
3,157	2,119	859	-	6,135

3. 施設に関する主要工事

実施年度	事業名	事業費
平成12年度	小櫃中学校管理普通教室棟大規模改修工事	75,915,000円
施設に関する主要工事 1 件合計		75,915,000円

学校名		久留里中学校											
所在地		君津市久留里474											
1. 概要													
学校の特徴		小中連携を視野に入れた学校教育の推進 ①地域の特色を生かした、小中高連携による教育活動の取組 ②縦割り活動・生徒会活動による自治能力の育成 ③安心・安全な学校を目指した、関係諸機関との連携											
創立年		昭和22 年		県費 教職員数		17 名		市職員の 配置状況		正規職員		0 名	
										非常勤等		2 名	
建設年 (代表建物)		1973 年		延床面積 (施設全体)		3,991.00 m ²		建築費又は 取得費		236,079,000 円			
敷地面積		43,010.00 m ²		普通学級数		3 学級		特別支援 学級数		2 学級			
建設時の普通教室数9（うち特別支援1）						平成27年度普通教室数5（うち特別支援2）							
開校からのピーク時の生徒数488人（S36）						平成27年度の生徒数69人							
年度別児童・生徒数推移													
													
2. 運営費													
H27予算額（千円）													
水道光熱費		事務費		管理委託費		用地借上		合計					
2,876		1,748		1,735		-		6,359					
3. 施設に関する主要工事													
実施年度		事業名										事業費	
平成16年度		久留里中学校管理特別教室棟大規模改修工事										194,775,000円	
施設に関する主要工事										3 件合計		264,566,000円	

学校名	松丘中学校				
所在地	君津市広岡994				

1. 概要

学校の特徴

豊かな心の育成を目指す学校
①心の教育ができてこそ学力・体力の向上が図れるという理念の徹底
「心為して、知力・体力為す」
②小中連携における共通実践 ・3つの（あ）・家庭学習・体力の向上
（H25毎日カップ体力づくり全国1位）

創立年	昭和22 年	県費 教職員数	14 名	市職員の 配置状況	正規職員	0 名
					非常勤等	2 名
建設年 (代表建物)	1972 年	延床面積 (施設全体)	3,509.00 m ²	建築費又は 取得費	132,260,150 円	
敷地面積	32,636.00 m ²	普通学級数	3 学級	特別支援 学級数	0 学級	

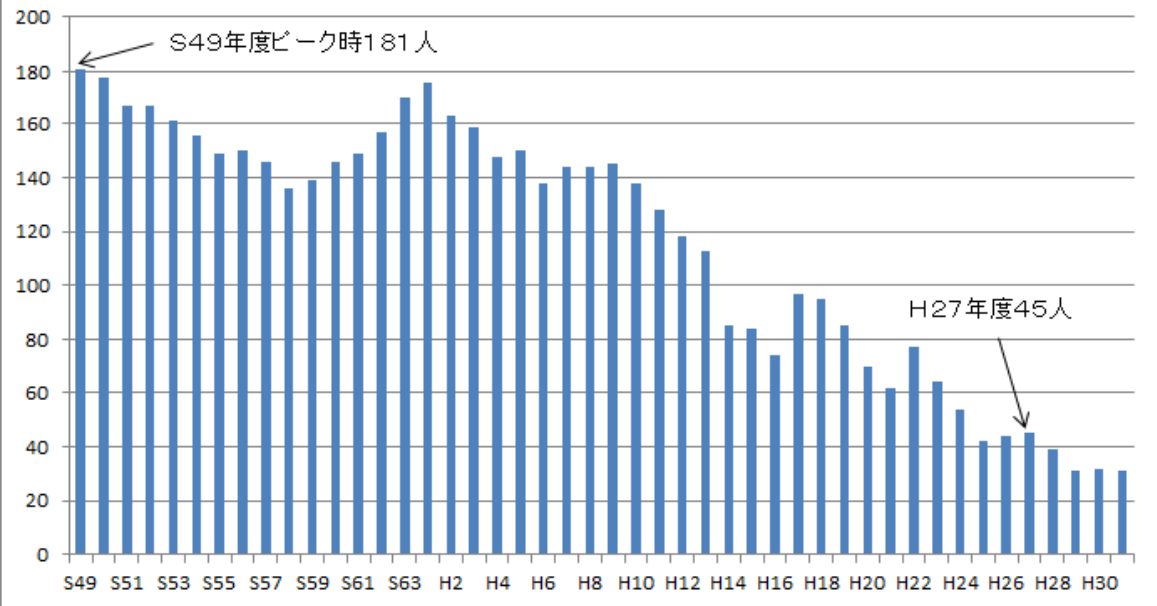
建設時の普通教室数11

平成27年度普通教室数3

開校からのピーク時の生徒数427人（S38）

平成27年度の生徒数45人

年度別児童・生徒数推移



2. 運営費	H27予算額（千円）				
	水道光熱費	事務費	管理委託費	用地借上	合計
	1,170	1,916	579	-	3,665

3. 施設に関する主要工事

実施年度	事業名	事業費
平成19年度	松丘中学校音楽室外壁塗装改修工事	1,648,500円
施設に関する主要工事 2 件合計		8,788,500円

学校名	亀山中学校					
所在地	君津市坂畑223-1					

1. 概要

学校の特色

おらが学校 亀山中 ～小さな学校から 大きな生徒を～
①地域とともに歩む学校として、小中合同運動会・亀山湖上祭ソーラン参加・亀山地区文化祭合同開催・月1回ゲートボール教室開催等、地域との連携を特色とした学校経営

創立年

昭和22 年

県費
教職員数

15 名

市職員の
配置状況

正規職員

0 名

非常勤等

1.5 名

建設年
(代表建物)

1997 年

延床面積
(施設全体)

3,463.00 m²

建築費又は
取得費

785,307,900 円

敷地面積

20,279.00 m²

普通学級数

3 学級

特別支援
学級数

1 学級

建設時の普通教室数4

平成27年度普通教室数4（うち特別支援1）

開校からのピーク時の生徒数371人（S37）

平成27年度の生徒数23人

年度別児童・生徒数推移

200

180

160

140

120

100

80

60

40

20

0

S49

S51

S53

S55

S57

S59

S61

S63

H2

H4

H6

H8

H10

H12

H14

H16

H18

H20

H22

H24

H26

H28

H30

S49年度ピーク時184人

H27年度23人

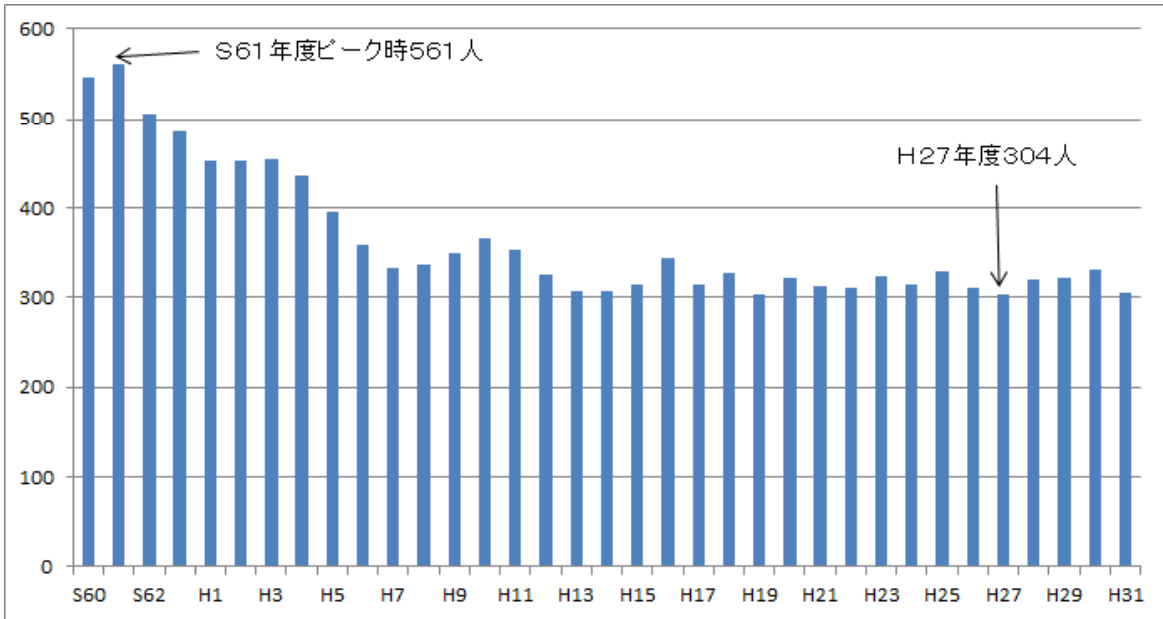
2. 運営費

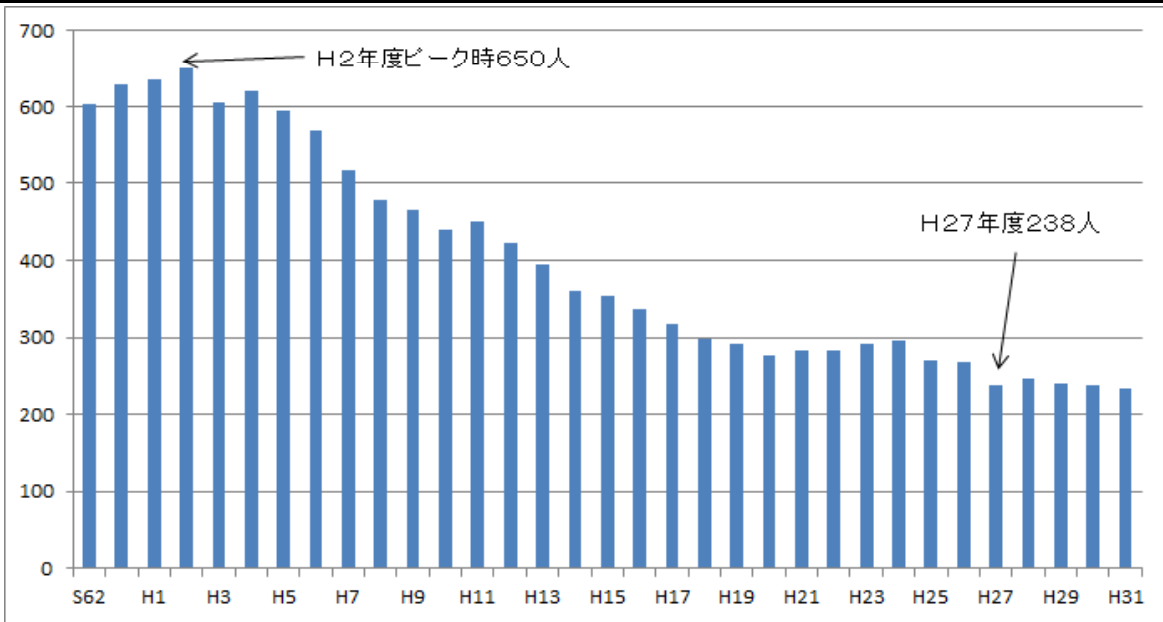
H27予算額（千円）

水道光熱費	事務費	管理委託費	用地借上	合計
2,024	1,468	1,891	-	5,383

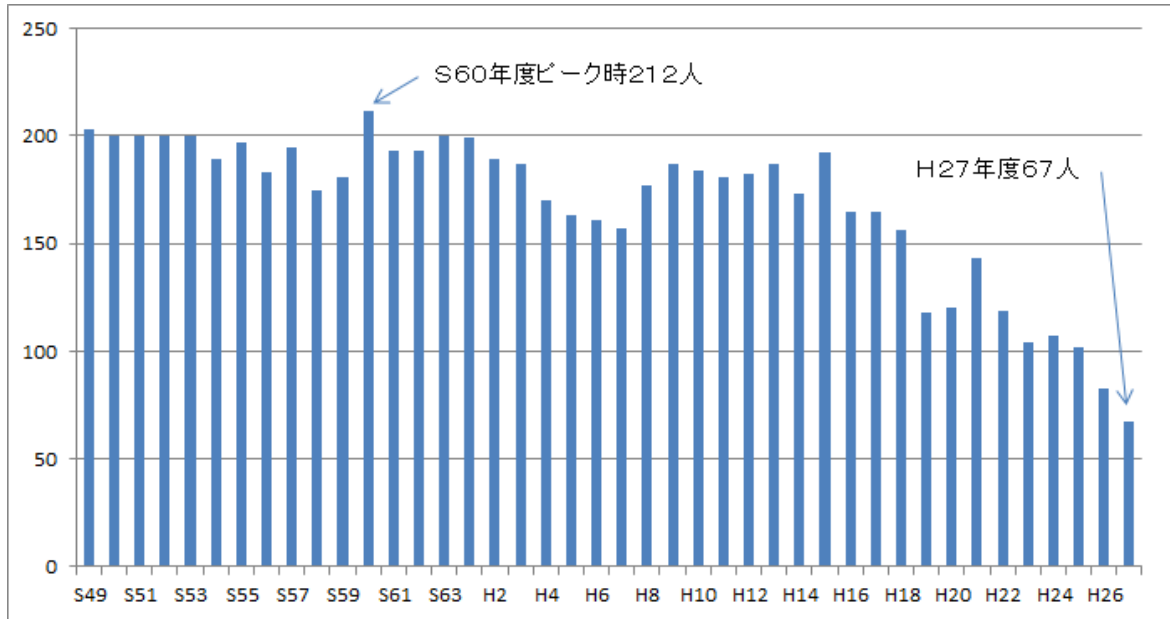
3. 施設に関する主要工事

実施年度	事業名	事業費
平成23年度	亀山中学校体育館トイレ改修	1,743,000円
施設に関する主要工事 1 件合計		1,743,000円

学校名		周西南中学校																																																																													
所在地		君津市中野 2－30－1																																																																													
1. 概要																																																																															
学校の特徴		いじめをしない思いやりある生徒の育成 生徒会が主催する人権教育の一環としての「心と絆宣言集会」の実施																																																																													
創立年		昭和60 年	県費 教職員数		26 名	市職員の 配置状況		正規職員	1 名																																																																						
								非常勤等	2 名																																																																						
建設年 (代表建物)		1985 年	延床面積 (施設全体)		6,029.00 m ²	建築費又は 取得費		1,184,361,900 円																																																																							
敷地面積		25,178.00 m ²	普通学級数		9 学級	特別支援 学級数		2 学級																																																																							
建設時の普通教室数15					平成27年度普通教室数11（うち特別支援2）																																																																										
—					平成27年度の生徒数304人																																																																										
年度別児童・生徒数推移																																																																															
 <table><caption>年度別児童・生徒数推移（推定値）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>S60</td><td>540</td></tr><tr><td>S61</td><td>561</td></tr><tr><td>S62</td><td>500</td></tr><tr><td>H1</td><td>480</td></tr><tr><td>H2</td><td>450</td></tr><tr><td>H3</td><td>450</td></tr><tr><td>H4</td><td>450</td></tr><tr><td>H5</td><td>430</td></tr><tr><td>H6</td><td>390</td></tr><tr><td>H7</td><td>360</td></tr><tr><td>H8</td><td>330</td></tr><tr><td>H9</td><td>340</td></tr><tr><td>H10</td><td>360</td></tr><tr><td>H11</td><td>350</td></tr><tr><td>H12</td><td>320</td></tr><tr><td>H13</td><td>300</td></tr><tr><td>H14</td><td>300</td></tr><tr><td>H15</td><td>310</td></tr><tr><td>H16</td><td>340</td></tr><tr><td>H17</td><td>310</td></tr><tr><td>H18</td><td>320</td></tr><tr><td>H19</td><td>300</td></tr><tr><td>H20</td><td>320</td></tr><tr><td>H21</td><td>310</td></tr><tr><td>H22</td><td>310</td></tr><tr><td>H23</td><td>320</td></tr><tr><td>H24</td><td>310</td></tr><tr><td>H25</td><td>320</td></tr><tr><td>H26</td><td>310</td></tr><tr><td>H27</td><td>304</td></tr><tr><td>H28</td><td>320</td></tr><tr><td>H29</td><td>320</td></tr><tr><td>H30</td><td>330</td></tr><tr><td>H31</td><td>300</td></tr></tbody></table>										年度	人数	S60	540	S61	561	S62	500	H1	480	H2	450	H3	450	H4	450	H5	430	H6	390	H7	360	H8	330	H9	340	H10	360	H11	350	H12	320	H13	300	H14	300	H15	310	H16	340	H17	310	H18	320	H19	300	H20	320	H21	310	H22	310	H23	320	H24	310	H25	320	H26	310	H27	304	H28	320	H29	320	H30	330	H31	300
年度	人数																																																																														
S60	540																																																																														
S61	561																																																																														
S62	500																																																																														
H1	480																																																																														
H2	450																																																																														
H3	450																																																																														
H4	450																																																																														
H5	430																																																																														
H6	390																																																																														
H7	360																																																																														
H8	330																																																																														
H9	340																																																																														
H10	360																																																																														
H11	350																																																																														
H12	320																																																																														
H13	300																																																																														
H14	300																																																																														
H15	310																																																																														
H16	340																																																																														
H17	310																																																																														
H18	320																																																																														
H19	300																																																																														
H20	320																																																																														
H21	310																																																																														
H22	310																																																																														
H23	320																																																																														
H24	310																																																																														
H25	320																																																																														
H26	310																																																																														
H27	304																																																																														
H28	320																																																																														
H29	320																																																																														
H30	330																																																																														
H31	300																																																																														
2. 運営費		H27予算額（千円）																																																																													
		水道光熱費		事務費		管理委託費		用地借上		合計																																																																					
		6,932		2,739		569		－		10,240																																																																					
3. 施設に関する主要工事																																																																															
実施年度		事業名								事業費																																																																					
平成22年度		周西南中学校特別教室棟増築事業								121,418,000円																																																																					
施設に関する主要工事								2 件合計		230,050,000円																																																																					

学校名	八重原中学校								
所在地	君津市三直1305								
1. 概要									
学校の特徴	小中連携を意図した学校づくり ①学習や体力向上に向け、小中3校連携での検定学習や体育活動等への取組（八重原中学校区三校連携協議会活動） ②各種集会や部活動、学校行事の充実を図る中、感動体験や成功体験をもとに、生徒の自己表現力と礼儀の鍛錬（生徒会活動の充実、リハーサル、準備の徹底、部活動の保護者との連携と協力、挨拶運動の充実）								
創立年	昭和62 年	県費 教職員数	22 名	市職員の 配置状況	正規職員	1 名			
					非常勤等	2 名			
建設年 (代表建物)	1987 年	延床面積 (施設全体)	5,942.00 m ²	建築費又は 取得費	947,011,800 円				
敷地面積	32,175.00 m ²	普通学級数	9 学級	特別支援 学級数	2 学級				
建設時の普通教室数15			平成27年度普通教室数11（うち特別支援2）						
—			平成27年度の生徒数238人						
年度別児童・生徒数推移									
									
2. 運営費									
H27予算額（千円）									
水道光熱費		事務費		管理委託費		用地借上		合計	
4,115		2,541		1,171		-		7,827	
3. 施設に関する主要工事									
実施年度	事業名						事業費		
平成24年度	八重原中学校自動給水ポンプ装置改修						2,546,250円		
施設に関する主要工事						1 件合計	2,546,250円		

- 84 -

学校名	周西幼稚園								
所在地	君津市人見 1－5－4 7								
1. 概要									
学校の特徴	わくわく どきどき きらきら かがやくすさいっ子（幼児）の育成 ・心も体も元気な子！ ・みんな仲良しやさしい子！ ・なんでもチャレンジ考える子！								
創立年	昭和41 年	県費 教職員数	0 人	市職員の 配置状況	正規職員	6 名			
					非常勤等	6 名			
建設年 （代表建物）	1973 年	延床面積 （施設全体）	1,139.00 m ²	建築費又は 取得費	49,180,000 円				
敷地面積	7,498.00 m ²	普通学級数	4 学級	特別支援 学級数	— 学級				
ピーク時の園児数212人 （S60）				平成27年度の園児数67人					
年度別園児数推移									
									
2. 運営費									
H27予算額（千円）									
水道光熱費		事務費		管理委託費		用地借上		合計	
1,356		64		177		－		1,597	
3. 施設に関する主要工事									
実施年度		事業名						事業費	
平成26年度		周西幼稚園テラス鉄骨塗装工事（東側）						496,800円	
施設に関する主要工事				1 件合計		496,800円			

君津市内中学校部活動数

平成27年9月 調査

	各種目合計	君津	周西	周南	小糸	清和	小櫃	久留里	松丘	亀山	周西南	八重原
野球	11	○	○	○	○	●(周西南)	●(松丘)	●(亀山)	●(小櫃)	●(久留里)	●(清和)	○
サッカー	6	○	○	○	○						○	○
バスケット男	5	○	○	○	○						○	
バスケット女	7	○	○	○	○		○				○	○
バレー男	2										○	○
バレー女	11	○	○	○	○	○	○	●(亀山)	○	●(久留里)	○	○
卓球男	10	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
卓球女	10	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
バドミントン男	2	○	○									
バドミントン女	4	○	○								○	○
陸上男	2	○					○					
陸上女	2	○					○					
剣道男	5	○	○	○	○							○
剣道女	4	○	○	○	○							
柔道男	2	○	○									
柔道女	2	○	○									
ソフトテニス男	5	○	○	○			○					○
ソフトテニス女	8	○	○	○	○		○	○			○	○
ソフトボール	2	○			○							
CP	1		○									
美術	4	○	○								○	○
音楽	2	○	○									
吹奏楽	4	○			○						○	○
家庭	2	○			○							
文化活動	1						○					
囲碁・将棋	1	○										
合計		23	18	10	12	4	10	5	4	4	12	13

●・・・合同チーム

君津市教科担任講師配置及び免許外申請にて 対応している学校一覧

平成27年10月末現在

	学校名	国	社	数	理	英	音	美	技	家	体
1	君津中							△			
2	周西中									△	
3	周南中							○	△	○	
4	小糸中						○	○	△		
5	清和中								△	○	
6	小櫃中							○	△	○	
7	久留里中							○	△		
8	松丘中							△	△	○	○
9	亀山中						○	○			
10	周西南中							○			
11	八重原中								△		

【凡例】 ○印＝教科担任講師配置校
△印＝免許外申請にて対応校
無印＝免許所有者にて対応校

君津市 中学校教科別教員数

平成27年10月末現在

	学校名	国	社	数	理	英	音	美	技	家	体
1	君津中	4	4	4	4	4	2	1 ①	2	1	3
2	周西中	3	2	4	3	3	1	1	1	1 ①	2
3	周南中	3	2	2	2	3	1	(1)	①	(1)	2
4	小糸中	2	2	3	2	2	1 (1)	(1)	①	1	2
5	清和中	1	1	1	1	1	1	1	①	(1)	1
6	小櫃中	2	1	1	1	1	1	(1)	①	(1)	2
7	久留里中	1	1	1	1	1	1	(1)	①	1	2
8	松丘中	1	1	1	1	1	1	①	①	(1)	1 (1)
9	亀山中	1	1	1	1	1	(1)	(1)		1	1
10	周西南中	2	1	3	4	3	1	(1)	1	1	2
11	八重原中	2	2	3	2	3	1	1	①	1	1

※ 校長、教頭を除いた数

※ () 内数字は、教科担任講師配置（免許を持った講師）

※ ○内数字は、免許外申請で対応（専門外の教諭）

君津市小学校区

